

第五次小千谷市総合計画 後期基本計画 進行管理シート

【令和6年度実績】



目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.
1	人を育み文化の香るまちづくり (教育、文化、スポーツ)	1	学校教育の充実	1	幼児教育の充実	1
				2	小・中学校教育の充実	2
				3	特別支援教育の充実	3
				4	教育環境の整備	4
				5	育英事業の推進	5
		2	生涯学習の推進	1	生涯学習事業の推進	6
				2	青少年の健全育成	7
		3	文化の振興	1	文化・芸術の振興	8
				2	文化財等の保存と活用	9
		4	スポーツの振興	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興	10
				2	体育施設の整備	11
2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり (福祉、健康、医療)	1	子育て環境の充実	1	子どもを産み育てやすい環境の整備	12
				2	子育て支援の充実	13
		2	健康づくりの推進	1	健やかな体づくりの推進	14
				2	健康長寿の推進	15
				3	心の健康づくりの推進	16
		3	医療体制の充実	1	地域医療の充実	17
				2	障がい者福祉の充実	18
		4	支えあう福祉社会づくり	2	生活困窮者への支援	19
				3	高齢者福祉の充実	20
				3	高年齢者福祉の充実	20
3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり (産業)	1	商工業の振興	1	商業の振興	21
				2	基幹産業の強化	22
				3	企業立地の推進	23
		2	農林業の振興	1	担い手の育成と経営の安定	24
				2	農業生産基盤整備の推進	25
				3	農村の振興	26
				4	森林の維持	27
		3	地域特性を活かした産業の育成	1	独創性・創造性豊かな産業の育成	28
				2	錦鯉産業の振興	29
		4	就業機会の確保	1	就業支援の強化と人材育成	30
				2	労働環境の整備	31
4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり (都市基盤)	1	都市空間の創出	1	中心市街地の活性化	32
				2	地域公共交通の充実	33
				3	居住環境の向上	34
		2	快適な生活基盤の整備	1	道路網の整備と維持管理	35
				2	自然と調和し災害に強い河川の整備	36
				3	都市ガスの安定供給	37
				4	上水道の安定供給	38
				5	下水道施設の維持管理の推進	39
		3	土地利用の推進	1	都市計画の推進	40
				2	国土調査の推進	41
5	自然を活かした調和と安心のまちづくり (防災、環境、克雪)	1	安全な市民生活の確保	1	危機管理体制の強化	42
				2	消防・救急体制の充実	43
				3	交通安全と防犯の推進	44
		2	自然と共生する循環型社会の推進	1	自然環境との共生	45
				2	資源リサイクルの推進	46
				3	再生可能エネルギーの推進	47
		3	暮らしやすい雪国生活の推進	1	冬期間交通の確保	48
				2	雪国生活の充実	49
6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり (交流、市民参加)	1	交流・移住・定住の推進	1	移住・定住人口の拡大	50
				2	都市間交流の推進と関係人口の拡大	51
				3	国際交流の促進	52
		2	市民協働と地域づくり	1	市民協働のまちづくりの推進	53
				2	地域力を活かした市民活動の推進	54
		3	観光資源の活用と誘客推進	1	観光資源の整備と活用	55
				2	祭りやイベントによる誘客推進	56
7	計画推進のために	1	持続可能な行財政運営			57
		2	効果的な広域連携			58
		3	人口減少対策			59
		4	男女共同参画と人権の尊重			60

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	01
総合計画ページ		P.8	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	1	幼児教育の充実
施策の基本方針		■ 子どもと保護者で学ぶ機会の提供 ■ 子ども読書活動の推進 ■ 認定こども園への支援 ■ 相談体制の充実

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
(掲載項目なし)									

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
家庭教育地域交流振興事業 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・2園、8小中学校、2団体における親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し、講座の充実を図った。 ・家庭でのお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。 ・SNS等を活用し、広く情報を周知した。	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及や振興を図ることができている。 【R5年度】 講座支援数:23回、参加者数:1,399名 講座開催数:7回、参加者数:40名 【R6年度】 講座支援数:20回、参加者数:1,455名 講座開催数:5回、参加者数:6名	・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。 ・SNSやアプリ等を利用した周知を行うことで広く情報を届け、より多くの支援ができるように努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業 【健康・子育て応援課】	親子体操などの子育て講座、すこやか子育て教室の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
■ すこやか子育て教室 ・0歳児 45組 79人 ・1歳児 31組 63人 ・2歳児 37組 79人 ■ 子育て講座 ・16講座 125組 226人	・すこやか子育て教室は、未就園児とその保護者を対象としているが、就園低年齢化により、参加者数は減少傾向にある。 ・子育て講座は、開催数を増やしたことで参加者数も増加した。 ・情報化社会でインターネットなどから多くの子育て情報を得ることができるため、発達の遅れなどの不安を抱える親も多く、今後も子育てについて学ぶ機会を提供する必要がある。	すこやか子育て教室や子育て講座を開催し、親子の関わり方を実践的に学ぶ機会を提供することで、愛着形成段階をサポートする。 ・保護者間交流を図りながら、不安な気持ちに寄り添った情報提供を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業 【にぎわい交流課】	家庭での読み聞かせの啓発、ブックスタート事業、保育園やわんパークなどと連携した図書館サービスの実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・「ホントカ。」では、こどもとしょかんや屋内広場などを中心に、館内に約2万冊の子供向けの本を配架した。 ・ブックスタート事業の読み聞かせを12回実施し、延べ130人が参加した。 ・ブックトークなど、読書に親しむための取組を行った(R6年度:1園1校実施_すみれ保育園、吉谷小学校)。 ・市内小学校、支援学校を対象とする「ホントカ。」施設見学会を31回開催し、延べ1,318人が参加した。参加した学校のなかには、授業で「ホントカ。」の魅力や活用方法等をまとめ、その成果品を「ホントカ。」フロートエリアに展示した学校もあった。	・保育園、小学校など、施設ごとに100冊単位で貸出を行っている。 ・小・中学校図書館において、マンパワーや専門知識を持つ人員が不足している。 ・新着図書の入入れ等が滞ることがある。 ・「ホントカ。」における情報環境構築ツールのひとつである「コトノハ」の活用により、誰もが自由に小千谷の文化を学び、知を発信できるように整備を進めているが、運用面での課題がある。	学校の地域探求授業と連携し、図書や情報メディア等を活用した学習を促すなど、児童生徒が読書を通じて物事に対する新たな関心をもつきっかけづくりを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業 【教育・保育課】	運営費補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。 ・特別保育事業補助金 7件 ・保育対策総合支援補助金 4件 ・特定教育・保育施設健康管理費補助金 3件 ・認定こども園設備整備事業費補助金 1件	国や県の補助金を有効活用すると共に、私立認定こども園との情報共有を行い、安定的な運営を継続することが必要である。	・施設整備や運営に係り、国や県の補助制度を有効活用できるように、引き続き情報提供を行う。 ・国、県及び市による認定こども園への運営費補助を行い、安定的な運営を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
就学前児童の相談事業 【教育・保育課】	就学前児童の相談体制の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・R5年度から特別教育支援指導主事を配置し、より専門的な指導助言を行うことができるようになり、各園との連携が強化された。 ・各園への巡回訪問により、就学前から就学相談などに対する助言を行った。 ・園における特別支援教育の窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会を実施することで早期段階から就学相談を進めることができた。 ・発達支援コーディネーターと小学校の先生との情報交換を年度当初に行うことで円滑な就学相談の実施につながった。	・H29年度から実施している巡回訪問の実施や各園へ発達支援コーディネーターを配置することにより、就学前児童に対する早期からの就学相談の実施が定着してきている。 ・特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、就学相談を余裕をもって進めるためにも、子どもの困り感について保護者との情報共有が必要である。	・引き続き、特別教育支援指導主事を中心に巡回訪問や発達支援コーディネーター配置による早期からの就学相談を実施し、就学相談体制の充実を図る。 ・発達支援コーディネーターの更なる専門性向上を図るため、研修内容を検討し、研修会を開催する。

※困り感…困っていると感じているその様子

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	02
総合計画ページ		P.10	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	2	小・中学校教育の充実
施策の基本方針		■ 学校の創意を活かす教育の推進 ■ 情報活用能力の育成 ■ 教職員の指導力向上 ■ ふるさと教育・キャリア教育の推進 ■ 震災体験を活かした防災教育の推進 ■ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進 ■ 読書活動の推進 ■ 英語教育・国際理解教育の充実 ■ 非核平和教育の推進 ■ 食育の推進 ■ 学校給食の運営

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校)	%	83.0	82.9	85.5	82.7	83.0	85.0	97.6	教育・保育課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校)	%	68.1	67.5	65.4	62.1	62.0	75.0	82.7	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(小学校)	%	80.0	81.1	84.8	71.5	72.0	85.0	84.7	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(中学校)	%	49.1	55.3	55.1	56.8	57.0	60.0	95.0	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(小学校)	%	97.8	99.3	98.5	99.1	99.0	100	99.0	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(中学校)	%	95.1	94.7	98.3	94.9	96.0	100	96.0	教育・保育課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
教職員研修支援事業【教育・保育課】	小千谷市教育研究会が実施する研修への支援・補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
校内研修や市教育研究会の専門部による研修を対面形式やリモート形式によって柔軟に設定した。教育課題に応じた内容を取り入れ、充実した事業となった。	教職員の問題意識(教職員の課題やニーズ、適時性)に基づき、主体的で創意あふれる研修が実施されている。	小千谷市教育研究会が実施する研修への支援や補助により、教職員の指導力向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT教育の推進【教育・保育課】	ICT機器やデジタル教材を活用した学習活動の充実、ICT活用能力向上のための教職員研修の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・ICT活用授業実践を集合研修形式で3回実施し、19名の教職員が受講した。 ・情報教育補助者による出張対応を実施し、計300件の相談を受けた。	・ICT機器やデジタル教材が充実し、基盤整備も進んでいるが、出張対応件数が263件から300件に増加しており、整備した資機材への対応支援が必要となっている。	ハード面の整備を進める一方で、ソフト面である教職員の技術力との間に差が出ているため、全体の底上げを図るべく、定期訪問や出張対応を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと教育・キャリア教育・人権同和教育推進事業【教育・保育課】	ふるさと教育パンフレットの改訂、社会科副読本の作成・改訂、自然体験活動や地域産業を知る活動の推進、職場体験活動、人権同和教育の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・地域貢献活動や中学2年生職場体験活動を実施し、地域への愛着と将来への夢や希望を育んだ。 ・副読本「生きるシリーズ」を活用した授業を実践した。 ・職員研修において、人権教育や同和教育にかかわる研修を年2回実施した。	・おちやっ子教育プランに、ふるさと教育・キャリア教育を位置づけ、重要な教育施策として、各校が取り組んでいる。 ・若手教員が多くなり、繰り返し人権・同和教育の研修を実施していく必要がある。	・市内関係者との連携を図り、「職場体験活動」及び「おちやしごと未来塾」への参加を促進する。 ・人権・同和教育に関わる職員を対象とする研修を、講師を招いたり現地で実施したりしながら、引き続き実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
おちやしごと未来塾の開催 【企画政策課/教育・保育課】	中学生などを対象とした地元企業を知るためのキャリア教育の機会の提供	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【企画政策課】 ・市内中学校1年生、総合支援学校中学部生及び市内高校生を対象に企業ブース見学を実施し、地元企業について学んだ。 ・企業ブースには市内企業46社が出展した。 ・過去の意見等を踏まえ、企業ブースの見学時間を1ブース当たり10分から15分に見直した。 【教育・保育課】 ・市内の企業や高等学校等の協力を得て実施でき、将来の見通しを持つことができた。	【企画政策課】 ・企業ブースを見学した中学生の97%が、事業に参加したことで小千谷市の企業を「よく理解できた」「理解できた」とアンケートで評価している。 ・見学する企業ブースは事務局で割り振っているが、生徒から見学したい企業を事前に聞き取ることで事業成果の向上に繋がる。 【教育・保育課】 ・企業や大学等との連携を続けていくとともに、各学校への訪問など更に深まりのある関係づくりを求めていく必要がある。 ・終了後の参加企業からのアンケートでは、時間配分に関する意見が多く、説明時間や全体のスケジュールについて見直しが必要である。	【企画政策課】 ・キャリア教育機会の提供によって地元就職に結び付くように、引き続き事業を推進する。 ・見学する企業ブースの希望調査実施を検討する。 【教育・保育課】 ・参加した生徒からはおおむね好評であり、未来塾をきっかけに市内に就職した生徒もあり、成果が出ている。 ・参加生徒数も年々減少しているため、班編制の工夫等による時間配分の見直しを行いながら、引き続き実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
防災教育推進事業【教育・保育課】	震災等の教訓の継承、防災に関する学習資料やおちや震災ミュージアム「そなえ館」などを活用した防災教育の推進、中越大震災の日給食の実施、防災教育講演会(中学3年生対象)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
「そなえ館」での防災学習の実践、非常食をテーマにした震災の日の給食、防災意識を高める防災講演会の実施を通じて、中越大震災を風化させることなく、災害対応の意識を高めることができています。	市の取組だけでなく、各校で中越大震災の日の講話など震災を風化させない取組を企画していく必要がある。	引き続き、「そなえ館」での防災学習、震災の日の非常食給食、防災教育講演会を実施する。事前事後指導の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
教育相談事業【教育・保育課】	教育相談員の配置、教育相談体制の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
教育センターにおける保護者との相談に加え、各小中学校へ訪問相談に出向いた。 相談延べ件数:353件(教育センター156件、学校訪問165件、家庭訪問32件)	児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査など、多岐にわたって学校を支援しており、無くてはならない存在である。	引き続き、児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査の結果の活用や特別支援コーディネーターとの連携など、多岐にわたる学校支援を進める。

※WISC検査...児童用ウェクスラー式知能検査:全体的な知能能力や処理能力を測る検査

事業名【担当課】	事業概要	
適応指導教室事業【教育・保育課】	適応指導教室の運営	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進めた。通級生には学校復帰に向けて力を高めるために学習支援や活動支援を行った。	学校や関係諸機関、家庭との連携を通じ有効な取組を行っている。通級生への様々な支援を行い、学校復帰に向けた力を高める場として一定の役割を果たしている。	引き続き、学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進める。通級生には学校復帰や進学に向けた力を高めるための学習支援や活動支援を個々の状況に合わせて行う。

※通級...学校生活に適応できない児童生徒が、心の安定や生活全般の立て直しと自立を図りながら、集団への適応力を高めて学校生活に復帰できるよう、学習や集団生活への適応指導、体験活動などを受けること。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	小中学校図書館担当者連絡会議、学習読書活動支援事業(ブックトーク・おはなし会等)、団体貸出	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・「ホントカ。」では、こどもとしょかんや屋内広場などを中心に、館内に約2万冊の子供向けの本を配架した。 ・ブックスタート事業の読み聞かせを12回実施し、延べ130人が参加した。 ・ブックトークなど、読書に親しむための取組を行った(R6年度:1園1校実施_すみれ保育園、吉谷小学校)。 ・市内小学校、支援学校を対象とする「ホントカ。」施設見学会を31回開催し、延べ1,318人が参加した。参加した学校のなかには、授業で「ホントカ。」の魅力や活用方法等をまとめ、その成果品を「ホントカ。」フロアエリアに展示した学校もあった。	・保育園、小学校など、施設ごとに100冊単位で貸出を行っている。 ・小・中学校図書館において、マンパワーや専門知識を持つ人員が不足している。 ・新着図書の入入れ等が滞ることがある。 ・「ホントカ。」における情報環境構築ツールのひとつである「コトノハ」を活用することで、誰もが自由に小千谷の文化を学び、知を発信することができている。	学校の地域探求授業と連携し、図書や情報メディア等を活用した学習を促すなど、児童生徒が読書を通じて物事に対する新たな関心をもつきっかけづくりを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
英語教育推進事業【教育・保育課】	外国語指導助手の配置、ウィンターイングリッシュキャンプ	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・外国語指導助手4名を、市内全小中に配置した。 ・イングリッシュキャンプは半日の開催となったが、参加者は外国の方とのコミュニケーションの機会を得ることができ、満足度が高い内容だった。	・小学校では外国語指導助手と英語専科教員がTT授業を実施している。外国語への関心が高まり、充実した活動となっている。	・外国語指導助手4名の配置を継続する。 ・外国の方とよりコミュニケーションを図るイングリッシュキャンプの内容を充実させる。

事業名【担当課】	事業概要	
非核平和推進事業【企画政策課】	原爆記録写真展の開催、平和学習研修の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・非核平和推進事業の一環として、以下4事業を実施した。 ①6/26～7/29平和を願う折り鶴募集 市民に折り鶴の募集を行い、約3万5千羽が寄せられた。広島平和記念公園と長崎の平和公園に捧げた。 ②7/10被爆体験伝承講話会(市民会館) 被爆体験伝承者である檜原 泰一氏から講話いただき、市内中学3年生など計330人が聴講した。 ③7/27～8/15企画展「戦争と小千谷 ～平和への思いと祈りを千羽鶴にこめて～」(サンプラザ) にぎわい交流課と連携して実施し、非核平和ポスターの展示を行った。 ④8/4～8/6非核平和推進研修(広島市) 市内中学校代表生徒12名を広島へ派遣し、広島平和記念資料館・平和記念公園の見学や被爆体験伝承講話の聴講、平和記念式典への参列等を行った。	・被爆者の高齢化が進み、被爆体験を話される方が少なくなっている中、次世代を担う子どもたちが平和の尊さと核兵器の廃絶について考える機会を、引き続き設けていく必要がある。 ・非核平和推進研修では、連日、最高気温が35℃を超える猛暑の中での研修となり、厳しい暑さで具合が悪くなる生徒もいるため、熱中症対策等を徹底する必要がある。	・R6年度の取組を継続して実施する。 ・R7年は被爆80周年の節目の年であり、本市においても非核平和への取組をより一層推進するべく、企画展における展示内容や非核平和推進研修の行程の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【教育・保育課】	食に関する指導の充実、小千谷産コシヒカリによる米飯給食や地産地消の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・小千谷産コシヒカリを学校給食に提供することについて、市とJAで協議を重ね、生産者に発生していた負担分をR5年度から市とJA両方で負担することで覚書を締結し、学校給食米を安定的に提供した。 ・地元納入業者(けやきばーく)及び生産農家と意見交換の場を設け、小千谷産農産物の納入による地産地消の推進を図った。	・R6年2月に魚沼地区の4JA(JA越後おぢや、JA北魚沼、JA十日町、JA津南町)が合併した。合併した市町村間で学校給食米の経費負担状況が異なっており、今後、JAから負担割合の統一化に向けて方針が示されることが想定される。しかし、各市町村で学校給食米が提供された経緯が異なるため、統一することが難しいという状況にある。 ・地場産物の学校給食納入が可能な市内業者はけやきばーくに限られており(一部施設のみ他の業者から地場産物の納入あり)、小千谷産農産物の継続的な提供のための検討が必要である。	・事業を継続して実施することで、学校給食米の安定的な確保を図る。 ・地元納入業者や生産農家等と協議を継続することで、安定的に小千谷産農産物を提供する仕組みづくりを推進する。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食運営事業【教育・保育課】	安全・安心な学校給食の提供	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・急激な物価高騰が続くなか、保護者負担を軽減し、栄養バランスや量を保った安定的な学校給食の提供を行うため、R4年度から開始した学校給食費補助を単価を増額しながら継続的に実施した。	・様々な社会情勢の影響から食材料費全体の高騰が続く、今後も給食費への影響が避けられない状況である。 ・国会において学校給食費の無償化を実施する方向で議論が進んでいるため、国の動向を注視する必要がある。	・給食費の補助単価を増額し、引き続きバランスの良い給食の提供と、給食費の保護者負担の軽減を図る。 ・小・中学校に在籍する児童生徒を3人以上養育している保護者に対して、3人目以降の給食費を全額助成する。 ・今後も学校や給食センターと連携を図りながら適切な食事を提供し、事故のない安心安全な学校給食を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	03
総合計画ページ		P.15	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	3	特別支援教育の充実
施策の基本方針		■ 就学相談体制の充実 ■ 特別支援教育の充実 ■ 総合支援学校の運営 ■ 生徒への就労支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
特別支援教育研修講座開催回数(市立総合支援学校主催)	回	5	5	5	9	6	5	120.0	教育・保育課
特別支援教育研修講座延べ参加人数(市立総合支援学校主催)	人	291	294	293	297	244	320	76.3	教育・保育課
各種特別支援教育研修開催回数(教育委員会主催)	回	5	6	6	6	6	6	100.0	教育・保育課
各種特別支援教育研修延べ参加人数(教育委員会主催)	人	123	121	132	135	180	150	120.0	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
就学相談事業【教育・保育課】	就学相談体制の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・R5年度から特別教育支援指導主事を配置し、より専門的な指導助言を行うことができるようになり、各園や各学校との連携が強化された。 ・園から小学校への入学や小学校から中学校への進学に係る就学相談について、年度初めに情報交換の場を設けた。 ・園や小中学校の連携のあり方を研修会で学ぶことで、円滑な就学相談の実施につながった。	情報交換の場を年度当初に設けることで、円滑な就学相談の実施につながっている。専門相談員が交代することもあるため、就学相談に係る事務手続及び特別支援教育に係る情報提供並びに専門性向上のための研修実施が必要である。	引き続き、円滑な就学相談の実施のため、年度当初に園や小中学校の情報交換の場を設け、指導主事を中心に特別支援教育に関する情報提供を行うとともに、就学相談に係る事務手続について周知をする。

事業名【担当課】	事業概要	
特別支援教育推進事業【教育・保育課】	総合支援学校の中核的機能を活用した、小・中学校の特別支援教育の充実(運営や研修の充実)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・総合支援地域担当者による保育園や幼稚園、小学校への訪問指導を実施した。 ・総合支援学校主催の市立学校職員対象の講座を開設した。 ・総合支援学校と小中学校との円滑な連携を図った。	通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加している。それに対応できるよう、教職員の資質を向上させる研修の充実が必要である。	・総合支援地域担当者と特別支援教育指導主事の役割分担を明確にし、より一層の連携を図る。 ・特別支援教育指導主事が窓口となり、学校のニーズに応える指導支援や研修の充実に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
総合支援学校運営事業【教育・保育課】	総合支援学校の運営	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・円滑な通学を目指した通学バスの運行計画を策定した。 ・駐車場の拡張工事を実施し、駐車場が確保された。 ・職員室等の増築工事を実施し、手狭な職員室の環境が改善された。	体育用品や椅子等の保管場所が少なく、体育館の一角をアコーディオンカーテンで仕切って保管しているため、体育館が手狭になっている。	通学バスの円滑かつ安全な運行に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
就労支援事業【教育・保育課】	企業及び障がい者就労施設等関係機関と連携した就労支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
高等部1年生から3年生まで前期3週間、後期3週間の職場実習を実施した(下学年は校内実習含む。)。	高等部の生徒数が増えており、職場体験先の確保が課題である。	体験先の確保を図り、校内実習及び職場実習の充実を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	04
総合計画ページ		P.17	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	4	教育環境の整備
施策の基本方針	■ 学校施設の整備 ■ 学校給食施設の整備 ■ ICT環境の整備	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
小・中学校の施設整備数(校数・累計)	校	2	0	1	1	1	2	50.0	教育・保育課
小・中学校の施設整備数(棟数・累計)	棟	2	0	1	1	1	3	33.3	教育・保育課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

校外施設を利用した水泳授業の検討を行い、R6年度から市民プールを利用した水泳授業を市内3校で実施した。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
学校施設整備事業【教育・保育課】	小・中・総合支援学校の大規模改修	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷中学校の管理・普通教室棟の長寿命化改良工事を実施し、校舎の耐久性向上と生徒の学習環境改善を行った。	児童生徒数の減少や社会情勢の変化により、校舎の規模や用途に関する検討が必要となっている。	課題を踏まえ、適正な用途を検討したうえで効率的な投資を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食施設整備事業【教育・保育課】	学校給食施設の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・給食センターの防水工事と雪庇防止フェンス設置工事を実施した。 ・老朽化したプレハブ冷蔵庫と冷凍庫の更新工事を実施した。	給食施設の老朽化により、給食センター機械設備や学校の給食用エレベーター等、入れ替えや改修が必要な箇所が増えている。	当初整備した時期が重なることもあり、劣化の進み具合も同程度となっている。優先順位をつけ、経費の平準化を図りつつ、給食の安定供給に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT環境の整備【教育・保育課】	ICT教育の推進のためのハード面やソフト面での環境整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
小中学校の学習用ネットワークの健全性を調査した。	ハード面は計画的に整備が進んでいる。ソフト面は学校によってICTの活用状況に差がある。学習用ソフト活用実践の提案を進め、効果について検証していく必要がある。	ソフト面ではGIGAパソコン※の持ち帰りや学校に対するICT教育支援を進める。ハード面ではGIGAパソコン更新に向けた情報収集や検討を進める。

※GIGAパソコン...児童生徒が使用する学習用ノートパソコン。R3年4月から1人につき1台貸し出している。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	05
総合計画ページ		P.18	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	5	育英事業の推進
施策の基本方針	■ 育英事業に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
奨学資金貸与者	人/年	21	16	14	14	20	30	66.7	教育・保育課
小千谷学生寮入寮者	人/年	24	13	13	20	20	25	80.0	教育・保育課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
育英事業支援【教育・保育課】	奨学金事業、小千谷学生寮運営事業の継続支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・奨学金事業や小千谷学生寮の利用促進に向けた周知を行った。 ・奨学金の貸与者増加のため、R5年度から開始した市内及び近隣の高等学校へのチラシやポスターの配布、周知活動を継続して行った。	・奨学金の貸与者増加のため、今後は貸与額の増加や基準の見直し等について検討する必要がある。 ・学生寮では女子9室が満室となり、入寮者数は横ばいとなっている。	・引き続き、奨学金の周知活動を行う。 ・物価高騰による実質貸金減少等の影響により、奨学金貸与の需要が高まっていることから、貸与額の増加や基準の見直し等について検討する。 ・学生寮は女子が満室となったため、今後の募集等に向けた検討を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	06
総合計画ページ		P.19	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習事業の推進
施策の基本方針		■ 学習機会の拡充 ■ 自主活動グループの活動支援 ■ 公民館活動の充実 ■ 障がいのある人の生涯学習の推進 ■ 図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用 ■ 人材育成の推進 ■ 情報サービスの充実 ■ 子ども読書活動の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
市民会館利用者数	人	52,781	40,279	51,616	52,801	71,967	51,200	140.6	文化スポーツ課
図書館来館者数	人	67,447	50,262	49,616	48,601	-	-	-	にぎわい交流課
複合施設来館者数	人	-	-	-	-	198,480	168,000	118.1	にぎわい交流課
市民の家「おちゃ〜る」利用者数	人	15,084	5,698	6,349	8,199	8,523	21,000	40.6	にぎわい交流課
勤労青少年ホーム「ホットプラザ」利用者数	人	20,173	8,948	13,459	14,323	14,666	19,300	76.0	文化スポーツ課
市民学習センター「楽集館」利用者数	人	35,089	22,693	24,935	27,759	27,489	34,000	80.9	文化スポーツ課
公民館学級・講座等開設数(合計)		42	103	92	120	98	53	184.9	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		8	32	27	34	7	11	63.6	
(内訳) 成人対象		4	31	17	23	28	6	466.7	
(内訳) 中高年対象		1	2	1	1	0	2	0.0	
(内訳) 高齢者対象		7	14	22	32	38	7	542.9	
(内訳) 家庭教育		22	24	25	30	25	22	113.6	
公民館学級・講座等延参加人数(合計)	人	5,064	5,982	5,653	8,258	8,390	5,210	161.0	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		236	744	688	924	267	240	111.3	
(内訳) 成人対象		309	1,469	592	829	1,281	370	346.2	
(内訳) 中高年対象		73	117	611	923	0	100	0.0	
(内訳) 高齢者対象		2,573	2,409	2,566	4,141	5,381	2,600	207.0	
(内訳) 家庭教育		1,873	1,243	1,196	1,441	1,461	1,900	76.9	
分館事業開催事業数(合計)		1,900	855	1,211	1,262	1,545	1,900	81.3	文化スポーツ課
(内訳) 講習会・講演会・実習等		32	14	23	24	37	25	148.0	
(内訳) 定期講座		144	52	58	55	59	140	42.1	
(内訳) 文化・芸術事業等		617	193	300	318	466	640	72.8	
(内訳) 体育・スポーツ事業		524	300	397	407	468	650	72.0	
(内訳) レク・娯楽活動		83	29	57	76	104	75	138.7	
(内訳) 会議		343	172	250	251	265	270	98.1	
(内訳) その他		157	95	126	131	146	100	146.0	

分館事業参加人数(合計)		38,861	11,009	15,663	21,969	28,244	37,680	75.0	文化スポーツ課
(内訳)講習会・講演会・実習等		681	203	418	570	809	680	119.0	
(内訳)定期講座		1,495	920	771	737	689	1,400	49.2	
(内訳)文化・芸術事業等		11,378	1,598	3,671	5,786	7,357	11,300	65.1	
(内訳)体育・スポーツ事業		12,152	4,250	4,415	5,745	8,158	12,500	65.3	
(内訳)レク・娯楽活動		6,881	1,034	3,011	5,313	7,187	6,800	105.7	
(内訳)会議		3,882	1,501	2,183	2,467	2,497	3,300	75.7	
(内訳)その他		2,392	1,503	1,194	1,351	1,547	1,880	82.3	

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習支援事業【文化スポーツ課】	学級・講座の開設、Webを活用した学習形式の実施、障がいの有無に関係ない学習活動の実施、講演会の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・障がい者の学習機会の充実を図るため、事業所が実施する活動の講師謝礼補助を行った。(4事業所 計6件) ・スマホ教室を開催し、延べ32人が参加した。 ・市政に関する学習機会の提供として、市職員による出前講座を44回開催し、延べ1,108人が参加した。 ・小千谷いきいきガイドや各種講座のチラシについてSNS等により効率的な周知を行った。	・障がい者の生涯学習は、集合型の参加者が少ない。 ・スマホ教室は、スマホの機能を使えなかった高齢者に好評であり、スマホを使った学習機会の提供につながっている。	・障がい者の生涯学習について、派遣型の充実に向けて各事業者と協議を行う。 ・スマホ教室については、高齢者のみならず分館事業でもスマホを上手に活用するための教室を検討し、スマホにより学習の幅を広げる。

事業名【担当課】	事業概要	
人材育成事業【文化スポーツ課】	市内企業と連携した人材活用・育成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度に実施したアンケートの結果を参考に、受講時間等の見直しを行い、6月から10月までの間、計9回開催し、計17名が参加した。	参加数が伸び悩んでいる。	受講者や企業の意見を参考に、各企業から求められる事業を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 ・講師に関する情報提供や事業内容の相談に応じた。	・分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 ・多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。	引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
旧小千谷総合病院跡地整備事業 【にぎわい交流課】	図書館を核とした複合施設の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・9月28日にオープンした「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」は、オープン2日間で延べ10,000人の来館者があった。 ・毎月第1日曜日には、「ホントカ。市」を開催し、市民の賑わいと交流の場を創り出している。 ・3月上旬には、当初の年間来館者目標である16.8万人を突破した。 ・フロートエリアは、「ホントカ。市」や講演会、郷土資料の展示に活用され、市民の集いの場となっている。	・オープンから半年で、市や市民等が主催する事業の件数が20回、出店団体数(個人含む)が300団体を超え、このうち、市外からの事業出店者は6割であった。新たな小千谷市の賑わいの拠点に、市内外から人が集まり始めている。 ・駐車場数が限られており、イベント開催時の駐車場整理や誘導に課題がある。 ・にぎわいエリアと図書を楽しむエリアの差別化を望む声を始め、様々な市民の声が寄せられている。	・引き続き、リビングラボを活用し、施設プログラムや市民プロジェクトを展開していく。 ・「ホントカ。市」の出店やワークショップ開催等により、市民の主体的な参画を促し、市民の多様な活動を創出していく。

事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習施設整備事業 【文化スポーツ課】	市民会館設備改修、市民学習センター設備改修	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【市民会館】 ・ガスヒートポンプエアコン(5、7、8号機)更新 ・冷温水発生機修繕工事	施設の老朽化が進行していることから、計画的に適切な施設整備が必要である。	【市民会館】 ・非常照明用蓄電池交換工事を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
図書館事業【にぎわい交流課】	読書環境の整備、図書資料の充実、情報活用支援事業	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・施設開館にあわせて、約6千冊の図書を購入し、約15万冊配架した。子ども向けの図書も約2万冊配架した。 ・R8年度における電子書籍の導入を目指し、新潟県主導で検討を行った。 ・子ども向けの読書支援を行った。	・「ホントカ。」は、従来の図書館とは違った魅力もある一方で、従来どおりの図書館を求める声もある。 ・より魅力的な施設にするため、限られた予算内で、どのように図書を充実させるかが課題である。	・図書収集方針に則り、図書を購入する。 ・複合施設としての利点を十分活かした読書環境の整備を行っていく。 ・「プレイリーダー」である地域おこし協力隊を中心に、「ホントカ。」内の屋内広場やこどもとしょかん等において、市民・民間事業者・学校等と連携した子ども向けの読書支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	ブックスタート事業、学校読書活動支援事業、ボランティアによる読み聞かせ活動	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・「ホントカ。」では、こどもとしょかんや屋内広場などを中心に、館内に約2万冊の子供向けの本を配架した。 ・ブックスタート事業の読み聞かせを12回実施し、延べ130人が参加した。 ・ブックトークなど、読書に親しむための取組を行った(R6年度:1園1校実施_すみれ保育園、吉谷小学校)。 ・市内小学校、支援学校を対象とする「ホントカ。」施設見学会を31回開催し、1,318人が参加した。参加した学校のなかには、授業で「ホントカ。」の魅力や活用方法等をまとめ、その成果品を「ホントカ。」フロートエリアに展示した学校もあった。	・保育園、小学校など、施設ごとに100冊単位で貸出を行っている。 ・小・中学校図書館において、マンパワーや専門知識を持つ人員が不足している。 ・新着図書の受入れ等が滞ることがある。 ・「ホントカ。」における情報環境構築ツールのひとつである「コトノハ」の活用により、誰もが自由に小千谷の文化を学び、知を発信できるように整備を進めているが、運用面での課題がある。	学校の地域探求授業と連携し、図書や情報メディア等を活用した学習を促すなど、児童生徒が読書を通じて物事に対する新たな関心をもつきっかけづくりを行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	07
総合計画ページ		P.23	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	2	青少年の健全育成
施策の基本方針		■ 青少年への相談支援 ■ 青少年育成指導体制の確保 ■ 家庭教育に対する支援 ■ 地域ボランティアへの活動支援 ■ 勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
青少年体験学習講座開催回数	回	9	11	14	20	24	15	160.0	文化スポーツ課
青少年体験学習講座参加人数	人	342	377	473	601	433	500	86.6	文化スポーツ課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
青少年育成事業【文化スポーツ課】	悩み相談、声かけ運動、青少年体験学習の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・青少年育成キャンプ 1回(小学生19名、中学生ボランティア2名) ・手づくり教室への派遣 11回(271名) ・体験活動 12回(141名) ・体験学習の参加者数の増加を促すために、科学研究に関する相談会を3回(参加者4名)実施し、青少年が対象となるイベントへ青少年育成指導委員を3名派遣した。(参加者95名)	R5年度から講座開催数が4回増加したが、参加者数が168名減少した。	・手づくり教室や体験学習の内容の拡充を図る。 ・体験活動を促す事業を行い、体験学習や体験活動の参加者数を増加させる。

事業名【担当課】	事業概要	
家庭教育地域交流振興事業(再掲) 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・2園、8小中学校、2団体において、親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座の開催を支援し、講座の充実を図った。 ・家庭におけるお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。 ・SNS等を活用し、広く情報を周知した。	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及や振興を図ることができている。 【R5年度】 講座支援数:23回、参加者数:1,399名 講座開催数:7回、参加者数:40名 【R6年度】 講座支援数:20回、参加者数:1,455名 講座開催数:5回、参加者数:6名	・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。 ・SNSやアプリ等を利用した周知を行うことで広く情報を届け、より多くの支援ができるように努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子どもはぐみ事業 【教育・保育課】	放課後子ども教室の実施、学校支援地域本部の設置、放課後児童クラブとの連携	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・5小学校で計132回放課後子ども教室を実施した。参加延べ人数は児童2,487人、ボランティア584人であった。 ・各小学校のボランティアに保険をかけ、地域住民の学校ボランティアとしての活動を支援した。	・子どもたちの放課後の居場所の確保とボランティアがいきがいを感じる場づくりを行っている。 ・ボランティアの高齢化とボランティア数の確保が課題である。 ・実施会場等の関係から、放課後児童クラブと連携が進んでいないのが現状である。	・地域の多くの方からボランティアとして関わっていただけるよう、周知を行う。また、放課後子ども教室のボランティアの資質向上を図るため、研修会を開催する。 ・子どもたちに魅力ある企画の実施を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年への活動支援 【文化スポーツ課】	趣味・教養・キャリア形成等の講座開設・運営、自主活動支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
勤労青少年ホームでの講座や教室を全18講座(延べ82回)開催した。	・勤労青少年の利用者が減少している。 ・社会情勢の変化により、今後のあり方について検討が必要である。	・勤労青少年の利用者を増やすため、引き続き、SNS等を活用して広報や周知を行う。 ・近隣に新たに整備する(仮称)防災センターの機能を考慮しながら、今後のあり方を検討する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	08
総合計画ページ	P.25		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	1	文化・芸術の振興
施策の基本方針	■ 芸術鑑賞の機会の拡充 ■ 文化団体などの育成支援の継続	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
芸術文化振興事業参加者数	人	6,725	5,903	8,388	8,712	8,331	7,000	119.0	文化スポーツ課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
芸術文化振興事業【文化スポーツ課】	市美術展、市民音楽祭、市民芸能まつり、文芸のつどい、芸術鑑賞会、市民オペラの開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・市美術展は自主サークル団体などの活動や市内高等学校の協力があつたものの、来場者が昨年度より280名減少した。 ・昨年度からの出演団体の増加数は市民音楽祭が1団体、市民芸能まつりの2団体であった。 ・文芸のつどいの出品数はほぼ横ばい傾向である。 ・鼓動交流公演2024を新潟県との共催事業で開催(観覧者:469名) ・宝くじ文化公演『TEAMパフォーマンスラボ×ガチャピン・ムックのサーカスエコロジカル』の開催(観覧者:471名) ・舞台芸術公演「おちやファミリーコンサート〜がんばれパパゲノ!〜」の開催(参加者:出演者56名、舞台補助18名、観覧者:342名)	・市美術展の出品者数は減少した。 ・市民音楽祭、市民芸能まつりともに参加団体が近年少しずつ増加傾向にある。 ・文芸のつどいの周知・開催方法を検討する必要がある。 ・世界的に活躍する団体や人気キャラクターとサイエンスショー等を交えながら学習する公演は、幅広い年代に非常に好評であった。 ・舞台芸術公演では市内で活動する伝統芸能や舞台舞踊団体等が出演したところ、市民から好評であった。	・市美術展については引き続き、初心者者の美術教室や高校生の育成事業を実施し、芸術・文化活動に親しむきっかけを作り、市展出品者数の増加につなげる。 ・市民音楽祭、市民芸能まつりの参加団体数の微増が継続するような工夫を検討する。 ・文芸のつどいのあり方について、検討を重ねていく。 ・引き続き、主に市内で活動する文化芸術関係団体と連携し、舞台芸術公演を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
文化振興基金事業【文化スポーツ課】	文化団体などへの活動支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
子どもたちの情操教育活動事業補助 ・小千谷市教育研究会 「TEAMパフォーマンスラボのミラクルイリュージョンサーカス」 音楽・演劇・伝統工芸・美術等の公開活動事業補助 ・小千谷ちちみ音楽祭実行委員会 ・コラボフェス実行委員会 ・おちや落語を楽しむ会 ・小千谷コミュニティオペラ実行委員会 ・ジャズコンサートインおちや実行委員会 ・西脇順三郎を偲ぶ会	市民を対象として文化事業を行う団体の活動を支援している。	引き続き、文化事業を行う団体の活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	09
総合計画ページ		P.27	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	2	文化財等の保存と活用
施策の基本方針		■ 埋蔵文化財の調査・保存 ■ (仮)郷土資料館の整備 ■ 文化財の普及啓発・活用 ■ 後継者の育成

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
小千谷縮布製作技術習得人数	人	18	23	26	28	33	28	117.9	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【にぎわい交流課】 ■ 地域アーカイブ活動の推進 地域で文化の継承に取り組む人材との意見交換や活動の記録を行う。 地域に眠る文化財や記録類を、聞き書きにより保存を行い、まちあるきや各種講座で公開・活用を行った。 ■ 「ホントカ。」における文化財を横断した常設展・特別展 【冬期特別展示7,384人】これまで楽集館企画展等においては、単一の文化財のテーマを中心に展示を行ってきたが、「雛人形群と小千谷縮・伝統芸能」「浮世絵と民具・民話」等関連資料を横断的に用い公開することで観覧者から好評をいただいた。 また、保存団体等関係者と協働した企画展運用に努めている。
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
埋蔵文化財調査事業【にぎわい交流課】	遺跡の把握、諸開発との調整、発掘調査	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
11件の試掘確認調査を行い、上の開農遺跡において縄文時代の集落跡(竪穴住居、土坑、縄文土器)、朝日山古戦場において戊辰戦争で両軍が放ったと考えるエンフィールド銃の銃弾と戦場の痕跡を確認した。その他、小規模な遺跡を新たに発見した。	・朝日山古戦場の成果については、各種展示等にて活用する。 ・確認した遺跡は、本発掘調査の要否について開発事業者と協議が必要となる。また、調査成果について広く周知し、保存に努める必要がある。	・開発事業者へ広く周知し、試掘確認調査の協力を求めるとともに、遺跡の保存に努める。 ・上片貝大明神遺跡において発掘調査を行う。 ・調査成果について発信を行うことで、埋蔵文化財の普及啓発へつなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
図書館等複合施設整備事業 【にぎわい交流課】	図書館を核とした(仮)郷土資料館を含む複合施設の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・常設展示「小千谷のまちに息づくDNAと千の宝」を開催し、「ホントカ。」を訪れる多くの方から観覧いただいた。 ・特別展示「小千谷のひなまつり～道具から見る交流・自治・利他」を開催し、7,384名が来場した。 ・小千谷市郷土資料館として、博物館に相当する施設として指定されるよう申請を行った。	市内において未発見資料の確認を行う必要があるが、既存の保有・収集資料の確認作業に時間を要し、未発見資料まで手がつけられない状態である。	・市内における既存の保有・収集資料の確認作業を保存団体等と協働して行う。 ・古いモノクロ写真など、市民の関心が高い資料の整理作業を協働で行うことで、市民による主体的な歴史保存へつなげる ・小千谷市郷土資料館及びおぢやWebミュージアムでの展示・公開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
文化財普及啓発事業【にぎわい交流課】	文化財関連の市民団体などへの支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・収集・調査を行った文化財資料の特別展示の観覧者をはじめ、多くの方々に展示を観覧いただいた。 ・市民学芸員体験講座等の市民向け講座を実施し、歴史に関わる講座・調査ワークショップなど文化財の普及啓発を行った。延べ約1,500人が参加した。	参加者や観覧者アンケートにより満足の声をもらっている。一方で、主体的に事業へ参画する市民等の増加に努める必要がある。	市民ニーズの高い発掘調査や史跡整備に関わる体験講座を行うことで、参加者が次回以降の講師や補助員を務めてくれるような仕組みを構築する。

事業名【担当課】	事業概要	
伝統民俗芸能伝承事業 【にぎわい交流課】	郷土芸能団体などへの支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市独自の補助制度を活用し、神楽面の修繕費及び市外発表会に伴う移動経費の補助を行ったほか、巫女翁人形操りの動画記録を行い、伝統民俗芸能の市民への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症拡大以降、披露等活動の機会を失っており、発表の場を創出する必要がある。	市内外で行われている発表会への参加を促進し、保存活動の場を創出する。また、連絡会議を開催し情報共有を行うことで、保存活動における課題解決の機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷縮布技術伝承者養成事業 【にぎわい交流課】	技術伝承者養成講習会などへの支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・講座: 紉作り、いざり機、仕上げ【7日間】10名参加 うち3名は講習へ ・講習会: 苧績み、紉作り、いざり機【100日間】10名参加 うち1名が織講習修了	活動周知により小千谷縮の歴史的重要性について、市内外へ共有する必要がある。また、県内外へ発信を行い、関係人口の増加と幅広い保存活用に努める必要がある。	・積極的な情報発信による活動周知を行い、小千谷縮の保存・活用意義等について、市内外へ共有を図る。 ・講座・講習会等の参加者が今後の活動における関係人口につながるよう、意向確認や活動参画を求める機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
文化・歴史・産業遺産保存活用事業 【にぎわい交流課】	歴史的建造物や景観などの文化財としての指定・保存・活用	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市に寄贈を受けた国登録文化財「習静菴」について、民間事業者と対話しながらサウナ事業を継続的に展開し、保存・公開・活用の新たな方法の実践例とした。	調査が完了した10件の建造物について、所有者へ意向確認を行い、保存・活用を推進していく必要がある。	・調査が完了した10件の建造物について、国有有形文化財登録に向けた所有者の意向確認を行う。 ・登録済の建造物について、活用を促進できるよう相談機会を設ける。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	10
総合計画ページ		P. 29	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興
施策の基本方針		■ 生涯スポーツの推進 ■ 競技スポーツの推進 ■ 障がい者スポーツの普及 ■ 団体支援、人材育成 ■ 健康・体力づくりの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
週1回以上運動する人の割合	%	31.5	34.9	34.6	-	-	60.0	-	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
スポーツ振興事業【文化スポーツ課】	選手の活動支援、各種大会やイベントの開催、ジュニア選手育成強化、関係団体との連携	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・関係団体と連携して大会やイベントを開催した。 ・アスリートサポート事業や報奨金制度を活用して、ジュニア選手育成に取り組んだ。	・日常的に運動をしない層にスポーツ参加を促す工夫が必要である。 ・ジュニア選手の底辺拡大や強化方法の充実が課題である。	・イベントへの参加者を増加させるために、イベント内容や情報発信の充実を図る。 ・各種団体と連携して、ジュニア選手育成の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
指導者、支援者養成事業【文化スポーツ課】	スポーツ・レクリエーション指導者やボランティア養成講座の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
次の専門種目の講習会のほか、全般的な指導者講習会を実施し、延べ760人から参加があった。 ・食育講習会24人 ・野球教室・野球指導者講習会155人 ・スポーツリズムトレーニング160人 ・コーディネーショントレーニング340人 ・クロスカントリースキーセミナー23人 ・XCワキシングセミナー34人 ・スポーツ指導者研修会(ケガ予防・SAQトレーニング)24人	・指導者を含めて、スポーツに関わる層が高齢化している。 ・若年層も含め、多くの人が参加しやすいように講習内容を充実する必要がある。	指導者全般に関わる講習内容の充実と、人材発掘を含めた指導者の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
健康づくり事業 【健康・子育て応援課/文化スポーツ課】	関係団体や機関と連携し、運動の継続を図る事業の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・健康こいこいポイント事業は、運動習慣のほかに健診受診などの健康行動の習慣化に向けた内容を盛り込んで実施した。 ・行動変容のきっかけとして実施している体力測定会では、測定結果にもとづいた運動・生活指導を強化した。 ・働く世代の参加を増やすため、県の「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」との連携体制を整えた。	・参加者は、本事業がきっかけとなり健康意識が高まり、運動量・歩数の変化が見られたが、向上心の維持が課題である。 ・事業のさらなる周知が必要である。	・測定会場の見直しや保健推進員活動との連携を行い、周知や取組への意欲向上に向けたアプローチを行っていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	11
総合計画ページ		P.31	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	2	体育施設の整備
施策の基本方針	■ 体育施設の整備・充実 ■ 屋外運動公園の改修・設備更新	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
体育施設利用者数(合計)	人	274,496	205,701	252,323	267,473	259,518	268,400	96.7	文化スポーツ課
(内訳)総合体育館	人	183,033	144,797	169,482	187,069	186,966	177,500	105.3	
(内訳)市民プール	人	14,148	7,589	9,883	14,337	13,923	13,700	101.6	
(内訳)東小千谷体育センター	人	20,178	12,023	15,567	18,662	15,635	19,500	80.2	
(内訳)白山運動公園(野球場)	人	3,384	2,937	4,265	2,463	3,016	3,300	91.4	
(内訳)白山運動公園(庭球場)	人	10,623	7,169	11,025	10,623	10,661	10,300	103.5	
(内訳)白山運動公園(陸上競技場)	人	4,617	2,715	4,360	3,661	3,105	4,300	72.2	
(内訳)白山運動公園(多目的広場)	人	7,849	6,656	8,214	7,993	6,930	7,600	91.2	
(内訳)白山運動公園(グリーンヒル白山)	人	9,501	5,303	8,171	7,235	6,067	9,200	65.9	
(内訳)信濃川河川公園(野球場)	人	1,071	1,429	2,023	1,728	1,233	2,100	58.7	
(内訳)信濃川河川公園(多目的グラウンド)	人	2,827	2,950	5,553	3,663	2,600	3,400	76.5	
(内訳)千谷運動公園(野球場)	人	2,074	1,057	1,448	1,096	1,489	2,000	74.5	
(内訳)千谷運動公園(庭球場)	人	4,568	3,200	2,577	3,240	1,040	4,500	23.1	
(内訳)千谷運動公園(多目的広場)	人	2,780	1,764	2,241	535	440	2,700	16.3	
(内訳)南部スポーツ広場	人	3,890	2,862	3,857	2,805	3,465	3,800	91.2	
(内訳)片貝スポーツ広場	人	4,592	3,250	3,657	2,363	2,948	4,500	65.5	

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
総合体育館整備事業 【文化スポーツ課】	設備更新・修繕	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・総合体育館:館内LED化改修や防災監視盤更新、発電機部品交換、冷温水機発生機部品交換等を実施した。 ・市民プール:50mプールろ過ポンプ更新やウォータープレイシステム塗装及びポンプ、制御盤の更新工事を実施した。	建築から25年以上が経過して、老朽化が進み、今後も計画的な改修が必要である。	・総合体育館:メインアリーナ床金具基礎交換工事や中央監視装置更新、冷却塔足場交換工事を実施する。 ・市民プール:ヘアキャッチャー交換工事や非煙装置等取替修繕を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
屋外体育施設整備事業 【文化スポーツ課】	整備方針策定・設備改修	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
白山運動公園の第三庭球場のライン修繕と受電設備接地抵抗改修を実施した。	施設の老朽化や競技人口の減少等のため、整備方針に基づいた整備を進める。	・屋外体育施設整備方針に基づく整備計画を精査する。 ・白山運動公園の野球場内野整備工事や受水槽更新工事等を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	12
総合計画ページ		P.34	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	1	子どもを産み育てやすい環境の整備
施策の基本方針		■ 安心して妊娠・出産・子育てができる支援環境の充実 ■ 子どもの遊び場の充実 ■ 医療費助成事業の推進 ■ ベビー・ファースト運動の推進 ■ 母子健康事業の充実 ■ 地域子育て支援拠点事業の充実 ■ ファミリー・サポート・センター事業の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
産後(退院後1か月間)に助産師や保健師等から十分な指導やケアを受けることができたと思う人の割合	%	95.0	87.9	91.6	92.8	93.2	97.0	96.1	健康・子育て応援課
今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	95.0	93.9	93.3	94.3	93.9	97.0	96.8	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
医療費助成事業【健康・子育て応援課】	子ども医療費助成、不妊治療費助成、妊産婦医療費助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
子ども医療費助成や妊産婦医療費助成において、無償化を実施した。 ・子ども医療費助成 助成額 105,418千円 延べ利用件数 47,249件 ・妊産婦医療費助成 助成額 6,888千円 延べ利用件数 1,237件 ・不妊不育治療費助成 延べ助成件数 47件 約6割において妊娠が成立	・子ども医療費助成について、受診件数が14件、助成額が13,676千円増加した。 ・妊産婦医療費助成について、利用件数が大幅に伸び(616件増加)、助成額は4,230千円増加し、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療の促進及び妊娠期から産後の経済的負担の軽減につながった。 ・不妊治療及び不育治療は、検査も含めて高額な自己負担が生じるため、引き続き、経済的負担の軽減を図る必要がある。	子ども医療費助成及び妊産婦医療費助成は継続して実施する。不妊不育治療費助成も制度の周知を行いながら継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
母子保健事業【健康・子育て応援課】	妊婦健康診査・歯科検診、うぶごえ教室の開催、妊産婦・新生児訪問指導、乳幼児健康診査、養育支援訪問事業、産後ケア事業、産前産後サポート事業	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠届出時にマタニティ面談を全妊婦に対して実施したほか、妊産婦・新生児訪問などを通して、妊娠期から産後の状況の把握を行い、各種保健事業の情報提供を行った。 ・家庭訪問のほか、うぶごえ教室やBPプログラム、子育てサロン、産後ケア事業を実施し、妊娠中から産後の切れ目ない支援を提供した。 ・母子の健康管理のために、産婦健康診査の費用助成を行ったほか、新たに新生児聴覚検査及び1か月児健診の費用助成を開始した。	・妊娠届出時のマタニティ面談や各保健事業、関係機関との連携等により、妊産婦の健康状態や育児不安等を把握し、支援することで産後うつや虐待の予防に取り組んだ。 ・産後うつの早期発見や産婦の孤立防止、育児不安軽減のためにサポート体制を充実させ、支援につながりやすい仕組みを構築する必要がある。 ・健やかに子どもを産み育てるために、妊娠中から子育て期における母親と子どもの健康の保持増進に努める必要がある。	・引き続き、子どもや母親が心身ともに健康に過ごせるよう、各種母子保健事業を実施する。 ・新生児期から乳幼児期にかけての健康保持増進を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
ベビー・ファースト運動【健康・子育て応援課】	ベビー・ファースト運動の啓発、駐車場マタニティマーク設置費補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・妊娠届出時にマタニティキーホルダーとマタニティエコバッグを配布した。 ・広報誌でベビー・ファースト運動を周知した。 ・日本青年会議所が提唱するベビーファースト運動にも参画した。	地域全体で子育てを支える意識を高めるために、ベビー・ファースト運動の啓発や妊婦へのマタニティマークの活用推進を継続する必要がある。	・広報誌やポスターを活用して、ベビー・ファースト運動の啓発や駐車場マタニティマーク設置費補助の周知を行う。 ・引き続き、妊娠届出時のマタニティキーホルダーやマタニティエコバッグの配付を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業【健康・子育て応援課】	地域子育て支援拠点事業の運営、子育て教室の開催、子育てなんでも相談の実施、SNSの活用による子育て情報の発信及び相談	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・すこやか子育て教室 3講座 113組 221人 ・子育て講座 16講座 125組 226人 ・子育てなんでも相談 12回 23人 ・子育て相談 920件 (来館時790件 予約20件 電話110件) ・親子ふれあいあそびの動画、わんパークのイベント情報の配信 123回	子育ての孤立化を予防するために、保護者間交流や相談の場、親子ふれあい遊びを提供してきた。SNSのイベント情報配信からの参加も多い。相談件数は増加しており、情報社会でインターネットなどから多くの情報を得ることができるがゆえに不安を抱える親も多く、今後も子育ての孤立化や不安を軽減するために、相談しやすい環境作りが求められる。	引き続き、親子の遊びと相談の場を提供するほか、SNSによるわんパークのイベント情報等の発信を行い、子育て家庭を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
ファミリー・サポート・センター事業【健康・子育て応援課】	提供会員養成講座の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
提供会員養成講座を6月、10月に開催した。 ・修了者 12人 ・提供会員 147人(両方会員含む) ・活動件数 186件	・R6年度の活動件数は前年度に比べて減少している。 ・多様化する依頼内容に対応できる提供会員の養成が必要である。	育児援助の依頼者のニーズは多様化しており、今後もニーズに合った提供体制を確保するため、事業の周知と提供会員養成講座の開催を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
図書館等複合施設整備事業 【にぎわい交流課】	子どもが安全で安心して遊ぶことができる屋内施設の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・9月28日にオープンした「ホントカ。」内の屋内広場では、誕生祭期間である10月13日から21日までの土日祝日9日間で延べ3,000人の利用者があった。 ・冬期間の平日は、午前中には子育て世代の利用者が多く見受けられ、夕方には学校終わりの小学生の遊びが多く見受けられた。	安心安全な設備環境を保持しつつ、創造的な遊びや学びが行える環境を提供するための運営方法を確立する必要がある。	「プレイリーダー」である地域おこし協力隊を中心に、「ホントカ。」内の屋内広場やこどもとよかんを中心に子育て機能を活用しながら、市民・民間事業者・学校等と連携し、事業の企画、活動を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	13
総合計画ページ		P.37	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	2	子育て支援の充実
施策の基本方針	■ 子育てを支援する地域社会づくりの推進 ■ 子どもの貧困への支援 ■ 保育サービスの充実 ■ 保育施設の適正配置の推進 ■ 放課後児童クラブ(学童保育)への支援 ■ ひとり親家庭への支援 ■ 関係機関との連携による児童虐待とDVへの対応	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
保育施設の適正配置推進による保育園及び認定こども園の定員数に対する入園児数の割合	%	73.5	69.7	69.1	69.1	63.5	80.0	79.4	教育・保育課
学童クラブ(通年型)設置数	団体	10	11	11	11	12	12	100.0	教育・保育課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
保育サービスの充実 【教育・保育課/健康・子育て応援課】	早朝・延長保育、一時保育、土曜日の延長保育、病児病後児保育、通園費補助、医療的ケア児の支援体制の検討	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【教育・保育課】 ・早朝保育、土曜日を含む延長保育(利用実人数:423人) ・一時保育(保育園:預かり児童延人数521人) ・医療的ケア児支援連絡会を行い、情報共有を行った。 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室 病児病後児保育室を利用してもらい、子育てと仕事の両立をサポートした。 ・わんパーク 乳幼児一時預かりを利用してもらい、保護者の私用やリフレッシュの時間が確保できた。	【教育・保育課】 ・早朝保育、土曜日を含む延長保育や一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援している。 ・園費補助により、保護者の経済的負担の軽減を図っている。 ・引き続き、関係機関と情報共有を行いながら、医療的ケア児に対する対応方法を検討して行く必要がある(現在は対象児童なし。) 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室 登録者数は102名、利用者数は延べ103名でR5年度に比べて登録者数が24名、利用延べ人数が39名減少した。R5年度は新規利用者が増加したが、R6は同じ方の利用が多かった。 ・わんパーク 利用者は延べ356人であった。R5年度に比べて80人減少した。このうち、おぢやつみ〜Smile&Family〜で配付した一時預かり利用券の利用が23人だった。	【教育・保育課】 ・引き続き、早朝・延長保育の一部無償化による子育て支援を行う。 ・関係機関との情報共有を行い、医療的ケア児の支援体制を検討していく。 【健康・子育て応援課】 ・病児病後児保育室 広報、ホームページ、保育園、認定こども園、わんパーク等での周知を行う。今後予想されるニーズの高まりに備えて、受入体制を整える。 ・わんパーク 引き続き、施設について周知を行い、適切な利用方法を知ってもらう。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業【教育・保育課】	施設整備費補助、運営費補助(再掲)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。 ・特別保育事業補助金 7件 ・保育対策総合支援補助金 4件 ・特定教育・保育施設健康管理費補助金 3件 ・認定こども園設備整備事業費補助金 1件	国や県の補助金を有効活用するとともに、私立認定こども園との情報共有を行い、安定的な運営を継続することが必要である。	引き続き、国や県の施設整備や運営費に係る補助制度を有効活用できるよう、情報提供するとともに、国や県、市による認定こども園に対する運営費補助を行い、認定こども園の安定的な運営を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
保育施設の適正配置の推進 【教育・保育課】	保育施設の適正配置の推進、保育サービスの向上	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
保育園適正配置基本方針や地域別・年齢別の児童数に基づき、適正配置実施計画について検討を行った。	学校のあり方検討委員会が行われており、今後、地域の考え方が示される。地域との関係も踏まえた計画策定が必要である。	保育施設の老朽化が進んでいるため、地域別・年齢別児童数の推計に基づき、保育園の適正配置を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
放課後児童健全育成事業 【教育・保育課】	設置団体への運営費補助、空き教室等の活動場所の確保支援、放課後子ども教室との連携	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・通年開設12クラブ ・長期休業期間のみ開設1クラブ	西小千谷地区において、クラブの規模に対して利用人数が多いことから、受入体制の確保と保育の質を高めていくことが必要である。	受入体制を確保するため、令和7年4月より西小千谷地区に通年開設クラブを1クラブ開設し、東山地区にも開設を予定している。引き続き、学童クラブの設置団体へ運営費の補助を行うとともに利用者の環境整備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
ひとり親家庭支援事業 【健康・子育て応援課】	児童扶養手当の支給、医療費助成、就労支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
受給者への手当の支給及び医療費の助成を行った。	ひとり親世帯は時間的・経済的負担が大きく、加えて今般の物価高騰の影響を大きく受けている。就労者は多いが、子育てするにあたり、経済的な支援を必要としない程度まで自立している方は少ない。	就労支援やキャリアアップのための制度周知に加え、ひとり親にとって重要な養育費の確保に関する国や県の支援制度の周知に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
児童虐待・DV防止ネットワーク事業 【健康・子育て応援課】	小千谷市こどもを守る地域連絡会参画団体の連携強化	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・小千谷市こどもを守る地域連絡会 代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別検討会議 2回 ・児童虐待防止研修会 参加機関 33、参加者 56名 ・虐待発生前通告義務説明チラシ作成	児童が所属する認定こども園や保育園、小中高等学校等の関係機関と連携し、虐待を受けている可能性のある児童の早期発見に努めている。また、相談内容も複雑化・多様化してきていることから関係機関職員の対応能力の向上にも努め、相談支援体制を強化していく必要がある。	関係機関の組織変更や人事異動を考慮し、各種会議等を通じて、小千谷市こどもを守る地域連絡会の周知や関係機関の連携強化に引き続き努める。

事業名【担当課】	事業概要	
子どもの貧困対策 【教育・保育課/福祉課】	就学援助制度、子どもの学習支援・生活支援事業	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【教育・保育課】 就学援助について、児童生徒が就学するために必要な費用を負担することが困難な方に対して、学用品費などを支給した。 【福祉課】 貧困の連鎖の防止のため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども3人に対し、延べ39回支援を行った。	【教育・保育課】 生活困窮家庭に対して就学に必要な学用品費などを支給し、教育の機会均等を図っている。 【福祉課】 事業によって支援した子どもが進学するなど、一定の成果を上げている。今後、関係機関と連携しながら、さらなる事業の周知を図ることが必要である。	【教育・保育課】 引き続き、生活困窮家庭に対して学用品費等の支給を行い、子どもの貧困支援を行う。 【福祉課】 引き続き、支援が必要な子どもに対し事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。関係機関と連携し、支援が必要な子どもの把握や事業の周知に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	14
総合計画ページ		P.40	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	1	健やかな体づくりの推進
施策の基本方針		■ 健康づくりの推進 ■ 生活習慣病予防対策の推進 ■ 母子保健事業(乳幼児期・学童思春期)の推進 ■ 食育の推進 ■ 歯科保健の推進 ■ 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
特定健康診査実施率	%	57.7	58.8	60.8	60.8	60.6	65.0	93.2	健康・子育て応援課
特定保健指導実施率	%	35.9	27.0	27.7	28.3	26.3	45.0	58.4	健康・子育て応援課
がん検診受診率(胃がん)	%	24.7	20.6	20.5	18.9	19.4	28.0	69.3	健康・子育て応援課
がん検診受診率(大腸がん)	%	35.9	30.5	31.1	29.6	30.6	37.0	82.7	健康・子育て応援課
がん検診受診率(肺がん)	%	50.2	39.6	39.6	38.6	39.9	55.0	72.5	健康・子育て応援課
がん検診受診率(子宮頸がん)	%	37.4	35.6	35.1	32.7	31.0	39.0	79.5	健康・子育て応援課
がん検診受診率(乳がん)	%	44.7	46.1	41.2	40.5	42.2	46.0	91.7	健康・子育て応援課
朝食を毎日食べる成人の割合※	%	83.4	-	81.2	-	-	90.0	-	健康・子育て応援課
1年間に治療や健診で歯科医院を受診した人の割合(20歳以上)※	%	44.3	-	45.3	-	-	50.0	-	健康・子育て応援課

※基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康づくり推進事業 【健康・子育て応援課】	健康福祉まつり、町内健康づくり事業、保健推進員・食生活改善推進委員の活動支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・市民の健康づくりのきっかけとして、令和6年11月24日(日)にサンプラザにおいて「おちや健康フェスタ」を実施し、延べ203人の来場があった。 ・保健推進員自主活動を46回実施し、延べ1105人が参加した。	・体験型イベントについては好評を得ている。 ・保健推進員自主活動では、健康に関する広いテーマで開催し、健康づくりの啓発の機会となっている。	・体験型イベントについては、引き続き、小千谷市健康づくり推進協議会と検討を行いながら、実施する。 ・引き続き、地域における健康増進の機会として取り組んでいく。

事業名【担当課】	事業概要	
健康教育事業【健康・子育て応援課】	生活習慣病予防・糖尿病予防・歯科疾患予防・健康ポイント事業(フレイル・ロコモ予防)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・糖尿病予防事業等各種事業のほか、保健推進員自主活動や出前講座等の機会を利用して健康づくりに関するテーマで実施した。 ・健康こいこいポイント事業では、体力測定会にあわせて運動教室を開催することで、運動習慣定着に向けた実践・啓発を行った。	引き続き、健康に関心を持ち、実践に向けた行動がとれるよう働きかけていく必要がある。	健康増進や生活習慣病予防の実践が図れるよう、媒体等も工夫しながら各種事業に取り組んでいく。

事業名【担当課】	事業概要	
健康相談事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査結果説明会、糖尿病予防相談会	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・特定健診結果説明会は個別相談として実施した。指導率は経年で見ると、微増傾向にある。 ・指導率向上のため、健診結果送付時に受診者全員に特定健診結果説明会の案内を同封し、参加勧奨を行った。	健康相談は生活習慣を見直すための意識づけとなる大事な機会であり、行動変容のきっかけとして効果的である。また、早期受診や重症化予防にもつながることから、指導率の更なる向上に向けた取組が必要である。	特定健診結果説明会での指導率向上のため、健診結果送付時に受診者全員に特定健診結果説明会の案内を同封し、参加勧奨をする。

事業名【担当課】	事業概要	
訪問指導事業【健康・子育て応援課】	各種健診結果の要指導者等への訪問指導	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・生活習慣病予防のための要医療者訪問や健診未受診者訪問、がん検診要精検者訪問など、生活改善や受診勧奨のための訪問指導を行った。 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施し、75歳以上で健診結果が要医療となった方等に対して訪問による保健指導を行った。	・訪問での受診勧奨により、がん検診要精検者の受診率が維持され、医療受診につながっている。継続した保健指導が必要なケースは、臨時看護師による定期訪問につなげている。 ・健診後の家庭訪問後、医療機関の受診や生活習慣の改善につながった者がいる。	・健診後の事後フォロー体制として、家庭訪問等において生活改善や適切な受診行動がとれるよう指導する。 ・精密検査未受診者等には必要に応じて再訪問や電話等での受診勧奨を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
健康診査事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査、血糖検査、肝炎ウイルス健診、骨粗鬆症健診、人間ドック	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・特定健康診査は受診者数は減少しているが、診療情報提供事業などにも取り組むことで実施率を維持している。 ・肝炎ウイルス検診と骨粗鬆症検診を同時受診が可能な休日検診を設けた。 ・肝炎ウイルス検診や骨粗鬆症検診は、フレイル予防のための運動器科学講座や健康ポイント事業とタイアップして実施した。 ・人間ドックは、30歳以上の希望する市民を対象に費用の一部を助成した。	・特定健診はレディース健診(胸部レントゲン検査、特定健康診査)の申込者数が増加傾向にあり、ニーズが伺える。 ・肝炎ウイルス検診と骨粗鬆症検診を同時受診可能な休日検診を設けることで、受診のしやすさや骨粗鬆症検診の普及啓発につながった。 ・人間ドックは年間を通した受診体制を確保しており、R6年度は2,262人(前年度比△66人)が受診した。	・特定健康診査はR6年度と同様、レディース健診の枠を設けて受診しやすい体制とする。 ・骨粗鬆症検診と肝炎ウイルス検診は働き盛り世代の受診率向上を目指し、同時受診が可能な休日検診日を設ける。 ・人間ドックはR6年度と同様に、多く市民が受診しやすい体制を維持する。

事業名【担当課】	事業概要	
がん検診事業【健康・子育て応援課】	胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・肺がん検診は、山間部の地域で単独実施日を設けることで受診しやすい体制設備を行った。 ・乳がん検診や子宮頸がん検診は、無料クーポン対象の未申込者に対して再通知を行ったことで、新たに乳がん検診13人、子宮頸がん検診6人が受診し、無料クーポン券全体では乳がん検診51人、子宮頸がん検診24人の受診につなげることができた。	・全てのがん検診で休日検診を実施しており、69歳以下の受診者の割合が高い。平日の検診へ行きづらい働く世代の受診機会になっている。 ・がん検診の受診率は減少傾向にあることから、保健事業を通じて一次予防や検診受診の必要性を継続して普及啓発する必要がある。	引き続き、日曜検診や総合健診、がんセット検診、肺がん検診・乳がん検診の単独検診を実施することで、受診しやすい体制整備を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
母子健康事業(乳幼児期・学童思春期)【健康・子育て応援課】	乳幼児期・学童思春期の健康づくり、メディアコントロール意識啓発	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・乳幼児検診では、健康状態のほか育児環境や生活習慣を把握し保健指導を行っている。 ・園児期、学童思春期においても生活習慣アンケートを実施した。 ・子どもの健康づくり連絡会や学童思春期保健連絡会において、関係機関と実態を共有し、生活リズムの改善に向けて子どもや保護者に啓発した。	・子どもの朝食摂取率は減少傾向にあり、適正体重児の割合も減少している。子どもの健康づくり連絡会においては、保健所管理栄養士をアドバイザーとして関係者間の理解を深めた。 ・メディアの利用時間による生活習慣への影響も大きく、引き続き改善に向けて取り組んでいく必要がある。	・将来に向けた健康づくりの推進のため、引き続き、乳幼児期から生活習慣の確立に関する啓発に関係機関とともに取り組んでいく。

事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【健康・子育て応援課】	食生活改善運動、食生活改善推進委員の育成、食に関する実態把握及び普及啓発、地産地消の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・望ましい食習慣に向けて、食育月間に園や学校と連携し、減塩をテーマにした共通メニューを提供した。 ・保健所と協働し、園の保護者向けに食育講座を実施した。 ・食生活改善推進委員活動として、フレイル予防や減塩に関する講話を、デイホームや保健推進員活動と協力して行った。	・食育に関する意識や望ましい食習慣(朝食摂取、野菜摂取、減塩の取組)を実践している割合が低い若い世代に向けたアプローチを行っている。 ・高齢者においては、フレイル・低栄養予防に引き続き取り組む必要がある。 ・食生活改善推進委員が減少傾向にあることから、会員数の維持や活動の充実にに向けて取り組む必要がある。	・引き続き各事業を通じて、食育の推進(望ましい食習慣の理解・実践)に向けて取り組む。 ・食生活改善推進委員協議会活動は、やりがいをもって活動が継続できるよう取り組んでいく。

事業名【担当課】	事業概要	
歯科保健事業【健康・子育て応援課】	幼児歯科検診、妊婦歯科検診、成人歯科検診、後期高齢者歯科健診、むし歯予防教室	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・2歳児歯科検診における歯科衛生士からの歯みがき指導や、むし歯予防教室における年長児対象の染め出しを行い、具体的に適切なブラッシング方法について保健指導を実施した。 ・生涯を通じた歯科健診の推進のため、妊婦や成人、後期高齢者の歯科検診を実施した。	・成人歯科検診受診率の特に低かった60歳代に重点をおいて受診勧奨を行ったが、受診率は低下した。	・生涯を通じた歯科保健の推進のため、R7年度から成人歯科検診の対象者に20歳、30歳を追加し実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
感染症予防事業【健康・子育て応援課】	予防接種、結核健診、新たな感染症への防疫対策、インフルエンザ予防接種助成事業の拡充	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・厚生労働省、デジタル庁と協同で予防接種のデジタル化を開始した。 ・定期予防接種の対象者に通知を送り、接種勧奨を行った。 ・5種混合ワクチンが定期予防接種に追加された。 ・子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種対象者に、接種勧奨のはがきを送付した。	接種勧奨通知を送ることや予防接種のデジタル化によるプッシュ通知で、接種時期を逃すことがないようお知らせができています。	引き続き、対象者には接種勧奨の通知を送付する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	15
総合計画ページ		P.43	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	2	健康長寿の推進
施策の基本方針		- 健康保持・増進対策の推進 - 地域支援事業の推進 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 - 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
特定健康診査受診率(75歳以上)	%	24.3	23.6	25.9	27.6	26.2	25.0	104.8	健康・子育て応援課
インフルエンザ予防接種率(65歳以上)	%	52.1	53.0	53.0	52.1	48.1	67.0	71.8	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康増進事業【健康・子育て応援課】	健康寿命延伸・フレイルとロコモ予防医学講座、健康診査、がん検診、健康教育、健康相談、訪問指導、人間ドック	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
- 健康寿命の延伸に向け、「フレイル予防運動器科学講座」に加え、新たに「地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座」の寄附講座を開設した。 - 糖尿病性腎症重症化予防対策の一環として糖尿病治療中断者への訪問を行い、受診勧奨や生活指導を実施した。	- 寄附講座の取組により、保健事業や介護予防・医療介護連携推進事業などの充実が図られている。各種講演会は市民への重要な啓発の機会となっている。 - 引き続き、健診後の事後フォローとして特定健診結果説明会や訪問指導、特定保健指導などの機会において、要医療者への受診勧奨や重症化予防のための保健指導を行う必要がある。また、健診未受診者に対して訪問やはがきなどによる受診勧奨を行い、健康管理の意識づけが必要である。	- 引き続き関係課と連携しながら、各講座の取組を推進していく。 - 健康増進事業、高齢者の保健事業及び介護予防の一体的な実施により、全ての年代に切れ目なく生活習慣病予防事業を実施し、健康寿命延伸や介護予防を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業【福祉課】	一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業、認知症施策、生活支援体制整備事業（地域支え合い事業）	
①R6年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R7年度の進め方 （取組・改善策等）
・介護予防普及啓発事業を実施した。R6年度は新たに「生き生き長寿講座」でACP（人生会議）について講話を行った。 【各種介護予防講座】 148回 延人数2,316人 ・要支援認定者及び事業対象者を対象とし、訪問型及び通所型介護予防サービスや、住民主体による支援などを実施した。 【体しゅっきり教室】 実人数35人 延人数372人 【アクアチャレンジ教室】 実人数2人 延人数12人 【口腔機能向上事業】 実人数25人 延人数 55人 【住民主体の支援】 実人数13人 延人数 343人 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組むため、デイホームでフレイル予防についての講座や介護予防相談会を実施した。 3会場 6回 延人数 67人 ・市内地域支え合い組織の一覧表「地域支え合いマップ」を更新し、関係機関や市民への普及啓発を行った。 ・地域支え合いの理解と組織立ち上げを支援するために第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、町内会等の各種団体への啓発やネットワークづくりを行った。	・高齢者については、加齢によるフレイルや複数の疾患をもちあわせる等の高齢者の特性を踏まえた支援が重要である。 ・介護予防事業については、理学療法士や歯科衛生士等、各分野の専門職が指導を行うことで、対象者の介護予防に寄与した。 ・地域の実状に応じて、高齢者の生活ニーズに則した買い物や移動支援サービス等を行っている。 ・地域支え合い組織について、認知度や理解促進に向けた取組が必要である。	・引き続き、介護予防事業や認知症対策事業を実施する。 ・高齢者の重度化防止のため、介護予防事業だけでなく生活習慣病対策等の保健事業とも連携した事業展開を行う。 ・高齢者の生活ニーズに対応するため、地区組織や介護、障がい等の関係機関と連携を図る。 ・地域支え合い組織の認知度向上に向けて、市民や関係機関に支え合い活動の周知を図る。また、支え合い組織未設置の町内への働きかけや支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	16
総合計画ページ		P.45	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	3	心の健康づくりの推進
施策の基本方針	■ 精神保健対策の推進 ■ 自殺予防対策の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
ストレスを感じる人の割合	%	94.3	-	-	-	-	65.0	-	健康・子育て応援課
ストレスの解消ができています・何とかできています人の割合	%	61.5	-	66.5	-	-	70.0	-	健康・子育て応援課
各種相談会を知っている人の割合	%	32.4	-	62.6	-	-	50	-	健康・子育て応援課

※基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

市民、家族、関係者などと一緒に、検討や学びの機会をもち、ひきこもり支援のための当事者の居場所の設置に向け取り組んだ。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
精神保健事業【健康・子育て応援課】	精神障がい地域包括ケア連絡会、心の健康講演会、精神保健福祉相談会、訪問指導	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の実進方 (取組・改善策等)
・精神障がい地域包括ケア連絡会を3回開催し、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を検討した。長期入院を防ぐため、医療機関との意見交換や長期入院者との面談を行った。 ・ひきこもり状態にある人の支援をテーマに心の健康講演会を開催し、76人が参加した。 ・臨床心理士による相談会を3回開催し、5件の相談に対応した。また、保健師による電話相談84件、来所面談26件、訪問327件に対応した。	・心の不調による相談内容が多様化しているため、基幹相談支援センターや保健所職員、医療機関などと協力しながら支援が必要である。 ・早期に相談や解決につながるよう、相談窓口や社会資源などを周知していく必要がある。	・ひきこもり支援のひとつとして、社会とつながるきっかけとなるように、当事者の居場所を開設する。 ・心の健康相談会やひきこもり支援場所について、必要な人に情報が届くよう、多方面から周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
自殺対策強化事業【健康・子育て応援課】	いのちとこころの支援連絡会、地域見守り体制の推進、ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の実進方 (取組・改善策等)
・いのちとこころの支援連絡会において、現状や課題を共有し、今後取り組むべき対策について検討しながら、第2期自殺対策計画を策定した。 ・地域の健康づくりを推進する役割を担う保健推進員と協力し、ゲートキーパー講座を開催し、76人が受講した。また、子どものSOSへの気づきや適切な声かけができる人材養成として、教職員のほか、青少年補導員も対象にした講座を実施し、18人が受講した。	・高齢者の自殺者の割合が高まってきているため、孤立を防ぎ、地域で見守る体制づくりが必要である。	・いのちとこころの支援連絡会において、現状や課題を共有しながら、第2期自殺対策計画に基づく取組を推進する。 ・自殺者の多い高齢者を支援する関係者と協働して自殺対策に取り組む。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	17
総合計画ページ	P.47		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	3	医療体制の充実
施策	1	地域医療の充実
施策の基本方針		■ 地域医療の充実 ■ 診療所の開設等支援 ■ 感染症予防対策の推進 ■ 新たな感染症対策の推進 ■ 夜間・休日診療の確保 ■ 在宅医療と介護の連携の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
診療所の新規開設数(計画期間中の累計)	件	—	0	2	3	3	1	300.0	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
中核医療機関支援事業 【健康・子育て応援課】	厚生連小千谷総合病院への運営費助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院の安定的な運営及び病院機能の充実(医師及び看護師、医療技術者の確保)のための助成を行った。 また、厚生連の経営危機を受け、県厚生連に対する財政支援を行った。	病院開設以来25診療科を維持し、地域の中核医療機関として医療提供体制を維持しているが、厚生連の経営危機に対する単年度の財政支援だけでは経営の安定化が見通せないため、継続的な支援について検討の必要がある。	引き続き、厚生連小千谷総合病院の病院機能の充実強化による安定的な医療提供体制維持のための助成を行うとともに、厚生連の経営安定化に向けた財政支援について検討を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
救急医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	救急医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における救急医療専用病床6床の確保を支援し、運営費を助成した。	救急医療専用病床の確保により、今後も地域医療の充実と市民が安心できる医療体制を確保する必要がある。	救急医療体制の充実のため、厚生連小千谷総合病院への支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
小児医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	小児医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における小児専用病床7床の確保を支援するため、運営費を補助した。	地域医療の充実や安心して子供を産み育てていく上で必要な小児の医療提供体制を確保していく必要がある。	小児医療専用病床を確保するため、支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
医師・医療従事者の人材確保 【健康・子育て応援課】	大学寄附講座による医師派遣、実習生の受け入れ及び指導者研修	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟大学との協定に基づく寄附講座を新規開設し、既存の寄附講座を更新した。 【地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座】 ・期間:2024.4.1～2028.3.31 ・寄附金額:60,000千円(3年間) 【フレイル予防のための運動器科学講座】 ・期間:2024.10.1～2027.9.30 ・寄附金額:60,000千円(3年間)	・地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座は、講座の方向性や研究などについて協議を進めている。 ・フレイル予防のための運動器科学講座は、多職種による連携会議で情報共有を行い、フレイル予防の取組を進めている。	担当医師と意思疎通や情報共有を図りながら、各寄附講座における取組を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
診療所開設等支援事業 【健康・子育て応援課】	診療所の新規開設等への支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内において、診療所の新規開設はなかった。	診療所開設などの事例が毎年実績として現れることは難しいため、制度周知を図り、情報を提供していく必要がある。	引き続き、診療所の開設支援を継続するとともに、制度の周知に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅医療・介護連携推進事業 【福祉課】	在宅医療介護連携協議会、多職種連携研修会、在宅医療・介護連携に関する相談支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・在宅医療介護連携協議会(2回)や実務者会議(6回)を開催した。「おちや入退院支援連携ガイド」の活用に向けたワーキング部会(3回)を開催し、介護支援専門員や入退院支援に関わる医療職に入退院支援に関する調査を実施した。 ・多職種連携研修会(76人参加)を開催し、入退院支援連携に関する調査結果の報告、ガイドの見直し案の提示と情報交換を行った。 ・R5年度に作成した「わたしの思い生き方ノート」を活用し、介護福祉施設やデイホーム、介護支援専門員を通して、本人や家族にACP(人生会議)の啓発を行った。 ・在宅医療に関する実態把握を実施した。調査人数(本人及びその家族) 658人 ・在宅医療・介護連携相談支援の業務を委託して実施した。相談件数22件	・「おちや入退院支援連携ガイド」の作成と活用を通して、多職種間での顔の見える関係づくりや連携の促進につながっている。 ・在宅医療と介護の一体的な連携を推進するため、各種会議を通じた関係者との情報共有や意見交換、活用事例などを学ぶ研修会等を継続していく必要がある。 ・高齢や病気になるっても自分らしい生活ができるように、ACP(人生会議)について、市民への啓発を行っていく必要がある。	・在宅医療介護連携協議会や実務者会議、多職種連携研修会、入退院支援連携勉強会を引き続き開催し、連携の強化に取り組む。 ・在宅医療・介護に関するテーマで市民講演会を開催する。 ・安心して生活の場に戻る入退院支援の連携体制における課題を把握し、「おちや入退院支援連携ガイド」への反映や関係者との共有を図る。 ・高齢者が自分の意思を家族や周囲の支援者と共有できるように、引き続き、「わたしの思い生き方ノート」を活用して、ACP(人生会議)の啓発を行う。

事業名【担当課】		事業概要	
感染症予防事業 【健康・子育て応援課】		予防接種、結核検診、新たな感染症への防疫対策	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)	
令和6年10月1日から5類感染症に移行された新型コロナウイルスワクチンの定期接種が開始された。	・新型コロナウイルスワクチンの定期接種者は1,215人(接種率10.1%)であった。 ・インフルエンザワクチンの定期接種者は5,767人(接種率48.1%)であった。	引き続き情報収集を行い、市民への接種機会の確保・情報提供等を適宜実施する。	

事業名【担当課】		事業概要	
小児救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】		中越子ども急患センターの運営支援、普及啓発	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)	
小児救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内小児の急患の重症化防止につながった。	小児救急に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、小児救急診療の運営を支援する。	

事業名【担当課】		事業概要	
休日夜間救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】		長岡休日・夜間急患診療所への運営支援、普及啓発	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)	
休日・夜間の救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内の急患の重症化防止につながった。	平日夜間や休日に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、休日・夜間の救急診療の運営を支援する。	

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	18
総合計画ページ		P.49	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	1	障がい者福祉の充実
施策の基本方針		■ 障がい者計画及び障がい(児)福祉計画の推進 ■ 相談支援体制の強化 ■ 就労支援体制の推進 ■ 障がい者施設整備に対する支援 ■ 障がい者理解の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
障がい者施設の整備数(計画期間中の累計)	件	—	1	1	1	2	3	66.7	福祉課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業【福祉課】	居宅介護、生活介護、就労移行支援、就労継続支援、施設入所支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
障がいのある人に必要な介護や自立した生活のために、障がい福祉サービスの利用計画に基づき、適正なサービス提供を行った。 【実績】※実利用者数 ・居宅介護:35人 ・生活介護:98人 ・就労移行支援:7人 ・施設入所支援:55人 ・就労継続支援:A型8人、B型125人	関係事業所との連携等により、障がい福祉サービスの利用計画作成やサービス提供を行うことができたが、サービス提供事業所において、適正な人員を確保することが課題となってきた。引き続き、適切な障がい福祉サービスの提供ができるよう、サービスの提供体制を確保していく必要がある。	障がいのある人の介護や自立した日常生活を支えるため、関係機関との連携や、人員確保策の検討を行うなど、障がい福祉サービスの提供体制の確保に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域生活支援事業【福祉課】	相談支援、日中一時支援、移動支援、日常生活用具給付支援、コミュニケーション支援事業、成年後見制度利用支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・障がいのある人の自立支援及び福祉の増進を図るため、各種地域生活支援事業を実施した。 ・基幹相談支援センターを核とし、市内相談支援事業所と連携しながら、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援等を実施した。 ・日常生活用具給付等事業については、必要となる方への給付を行った(547件)。 ※R6相談実績 ・市内事業所:11,939件(前年度+523件) ・基幹相談支援センター:2,158件(前年度-56件)	・相談支援について、相談内容の複雑化や件数増加の傾向があるが、基幹相談支援センターが中核となり、市内相談支援事業所との連携や相談支援専門員のスキル向上を図ることにより、必要な対応ができている。 ・引き続き、相談内容の複雑化や相談件数の増加傾向に対応できるように、相談支援体制を維持する必要がある。	・障がいのある人が住み慣れた地域で自立した生活を送るために、各種事業を継続する。 ・複雑化・増加する相談支援ニーズに対応するため、市内相談事業所との連携を強化し、相談支援体制の整備に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅障がい者支援事業【福祉課】	外出支援サービス(タクシー券利用助成等)、住宅改修費補助、通所サービス事業 所通所費助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・在宅障がい者を支援するため、各種事業を実施した。 ・タクシー券について、申請のあった対象者に対してタクシー券を交付した(361人利用率:53.16%)。	・障がい者が在宅で生活できるように、各種事業を引き続き実施する必要がある。 ・対象者に支援が行き渡るように、制度の周知が必要である。	・引き続き、各種事業を実施する。 ・サービスガイドブックやホームページ、広報おぢやを通じて制度の周知に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
障がい福祉施設整備事業費補助事業【福祉課】	施設整備費補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内で新たに開設する児童発達支援施設に対して、施設整備費補助を行った。 ・実績:R6年度1件	これまで市内になかった児童発達支援事業所が新たに開設したが、不足している障がい福祉サービスがまだあることから、施設整備費補助事業を継続する必要がある。	不足している障がい福祉サービスの充足を図るために、当該補助事業を継続するなど、施設整備に必要な環境整備に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
健康福祉まつり【福祉課】	障がい福祉サービス事業所・団体の活動PR、障がい者の作品展示、自主作品の販売	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の流行を機に、開催の見直しが行われ、主管課(健康・子育て応援課)において、R6年度以降も健康福祉まつりを開催しないことを決定した。	健康福祉まつりは開催されなかったが、市内各種団体が実行委員会を組織して開催した「2024ハートフルフェスタ」において、市内の障がい福祉施設の活動紹介や作品展示の場を設けた。今後も、障がいや障がいのある人への理解を深めるとともに、障がいのある人の社会参加のための機会の確保に努める必要がある。	・R7年秋に開催予定の「2025ハートフルフェスタ」を、障がいや障がいのある人に対する理解を深めるための場として活用する。 ・障がい福祉サービス事業所等と連携して、活動紹介や自主製品の販売の機会の確保に努めるとともに、広報誌や市ホームページで障がいや障がいのある人への理解に関する啓発を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
意思疎通支援事業【福祉課】	手話通訳者(奉仕員)・要約筆記者(奉仕員)派遣、手話奉仕員養成講座	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・聴覚障がい者の意思疎通を円滑にするために、手話奉仕員と要約筆記奉仕員の派遣事業を実施した。また、手話奉仕員の育成支援を行った。 ・市役所本庁舎に加えて、R6年2月から健康・こどもプラザあすえ〜の窓口で意思疎通支援のための「みえる通訳」を設置した。 【R6 意思疎通支援事業実績】 個人派遣72回、実利用者11人、講演会派遣7回 【R6 手話奉仕員養成講座】※入門課程修了者8人 【R6 みえる通訳活用実績】 利用者6件	・R5年度に新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響により、意思疎通支援事業の利用実績が53回から72回と増加した。 ・「みえる通訳」の設置により、相談や説明等、窓口における意思疎通支援の充実を図ることができた。 ・聴覚障がい者の円滑なコミュニケーションのため、事業を継続する必要がある。	・聴覚障がい者のコミュニケーションを支援するため、手話奉仕員等の派遣や「みえる通訳」の設置を継続する。 ・手話奉仕員養成講座の実施や要約筆記奉仕員養成講座の受講支援を行うなど、意思疎通支援を実施するための人材の育成と確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	19
総合計画ページ		P.52	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	2	生活困窮者への支援
施策の基本方針	■ 包括的支援の推進 ■ 早期支援の実施 ■ 地域支援体制の確保	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
(掲載項目なし)									

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
自立相談支援事業【福祉課】	生活困窮者の実情把握及び個々の支援プラン策定による包括的支援の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行うとともに、生活困窮者に対する支援のあり方について各分野(弁護士、ハローワーク等)の専門委員で構成される生活困窮者支援調整会議を4回開催し、支援状況について多角的な視点と深い知見による助言・指導をいただいた。	生活困窮者は複合的な問題を抱えていることが多いことから、今後も関係機関と連携して支援に取り組む必要がある。	引き続き、自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行う。また、定期的に生活困窮者支援調整会議を開催し、支援状況やあり方について助言・指導をいただく。

事業名【担当課】	事業概要	
住居確保給付金の支給【福祉課】	離職による住居及び就労の確保に向けた支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
延べ3人に対して、給付金の支給及び就労支援を実施した。	事業の申請者数の推移は、横ばいとなっている。今後も法令に基づき適切に支援を実施する必要がある。	引き続き、法令に基づき適正に事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
就労準備支援事業【福祉課】	就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
就労に向けた第一歩として、本人のやる気を取り戻し、ひきこもりを防止するため、農業管理センターで内職作業に取り組んでもらい、延べ533人に対して支援を実施した。	支援の結果、一般就労につながったケースもあったが、障がい等の理由により就労が難しい場合は障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携して本人の状況に応じた支援を行っていく必要がある。	・引き続き、就労準備支援員を配置し、就労に向けた支援を実施する。 ・障がい等の理由により一般就労が難しいケースについては、障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携して対応する。

事業名【担当課】	事業概要	
家計改善支援事業【福祉課】	家計収支に関する課題の評価・分析及び必要な情報提供・助言等の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
債務問題解決のために、延べ10人に対して家計の再建支援を行った。	生活困窮者は債務問題を抱えているケースが多いことから、社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携を図る必要がある。	・引き続き、家計改善支援員を配置し、生活困窮者に対する家計の再建支援を行う。 ・社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携して支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
子どもの学習・生活支援事業(再掲) 【福祉課】	生活困窮世帯の子どもの学習支援、生活習慣・育成環境の改善に関する助言等の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
貧困の連鎖の防止のため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども3人に対し、延べ39回支援を行った。	・支援した子どもが進学したり学習習慣が定着したりするなど、一定の成果を上げている。 ・関係機関と連携しながら事業の周知を図っているが、子どもの同意が得られずに事業の利用に至らないケースがある。	・引き続き、支援が必要な子どもに対して事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。 ・関係機関と連携し、情報共有を行い、広く事業が利用されるための環境整備に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
生活保護受給者等就労自立促進事業 【福祉課】	ハローワークと連携した就労支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
ハローワークと連携して「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施し、就職の目標者数22人に対して20人が就職した。	ハローワークとの連携による「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施し、就労支援を効果的に実施している。ハローワークと連携した就労支援は有効であり、今後も継続する必要がある。	ハローワークとの連携により、生活保護受給者や生活困窮者への就労支援を効果的に実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	20
総合計画ページ		P.53	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	3	高齢者福祉の充実
施策の基本方針		■ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進 ■ 生きがい対策の推進 ■ 地域包括ケアシステムの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
デイホーム団体数	団体	10	10	10	10	10	10	100.0	福祉課
デイホーム会場数	会場	27	27	28	26	25	29	86.2	福祉課
デイホーム延べ利用人数	人/年	19,443	17,318	17,919	18,485	17,698	21,000	84.3	福祉課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生きがい対策事業【福祉課】	生きがい対応型デイサービス、ふれあいいきいきサロン事業補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
・高齢者の閉じこもり予防や介護予防のための「デイホーム」を地域に委託して実施した(10団体25会場)。 ・市内37会場で実施された「ふれあいいきいきサロン事業」の事業費を補助した。	・デイホームやふれあいいきいきサロンは、介護予防や健康づくりなどを目的とした地域主体の高齢者の通いの場、集いの場である。定期的な外出や交流が閉じこもりや介護予防、認知症予防につながっている。 ・山間地において利用者の減少により開催会場数を縮小した団体がある。	・高齢者の閉じこもり予防、介護予防のための「デイホーム」を引き続き実施する。 ・フレイル予防のために高齢者の通いの場で健康教育及び健康相談を実施する。 ・「ふれあいいきいきサロン事業」の円滑な事業運営のために事業費を補助し、活動を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅生活支援事業【福祉課】	通院等支援サービス事業、介護手当、高齢者住宅整備事業補助金	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り、介護者の精神的・経済的負担を軽減するため、各種事業を実施した。 ・通院等支援サービス券交付 337人 ・介護手当支給 398人 ・高齢者住宅整備事業補助金 1件	・高齢者が在宅で生活することを後押ししている。 ・介護者の精神的及び経済的負担の軽減が図れている。	・広報紙や介護支援専門員会議や地域包括ケア会議などを通じて各種在宅生活支援サービスを周知し、必要なサービスを提供する。 ・引き続き、介護保険証の発送時(新規・更新)に「高齢者福祉サービス一覧」を同封し、各種在宅生活支援サービスの周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
活動支援事業【福祉課】	老人クラブ活動への補助、敬老会への補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・高齢者の社会参加活動や健康づくり事業など、各種活動費に補助を行った。(市内61の単位老人クラブと市老人クラブ連合会に補助) ・高齢者を敬い、地域との繋がりや高齢者が集う場所や機会を確保してもらうことを目的として各町内会等が開催する敬老会に補助を行った。(市内67会場、7,184人)	・担い手不足もあり、年々単位老人クラブ数が減少している。 ・高齢化に伴い、敬老会対象者(75歳以上)が増加している中で敬老会運営側も高齢化している。 ・新型コロナウイルス感染症の収束により集合開催を実施する町内が増加している。	・事業費を補助し、高齢者が生きがいづくりや仲間づくり、健康づくりなどの活動を通じて、地域貢献など多様な社会活動へ参加する機会を支援する。 ・できるだけ多くの地域で敬老会が開催されるように、敬老会への補助を行うとともに、申請手続きについてわかりやすく案内する。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(包括的支援事業)【福祉課】	地域包括支援センターの運営、認知症施策の推進、生活支援体制整備事業(地域支え合い事業)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・地域包括支援センターの運営と認知症施策を推進した。(相談延件数:2,644件 相談実人数:688人) ・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や出前講座、認知症カフェ、認知症予防と介護の市民講座、徘徊模擬訓練などを開催し、認知症の対応や理解促進を図った。 ・各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、関係機関や市民への周知啓発を行った。 ・生活支援コーディネーターが町内組織や民生委員・児童委員などの関係者と高齢者の生活の困り事について共有し、解決に向けた話し合いを行った。また、組織の立ち上げを希望する町内との情報交換や支援を行った。	・地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談窓口として、介護保険サービスや認知症に関する相談など、様々な相談に対応している。近年、高齢者を取り巻く環境の多様化から複合的な課題が多く、解決には多職種との連携強化が必要になっている。 ・現在20団体の地域支え合い組織ができて、地域の高齢者の生活支援ニーズに合わせて、ごみ出しや買い物代行やコミュニティバスでの買い物支援など、できることから取組を行っている。 ・サポーターの高齢化やニーズと支援のマッチングができない等の状況もあり、支え合いの理解促進と担い手の確保が課題となっている。	・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、関係者との会議や研修をととした連携強化を図る。また、身近な地域での見守りや助け合いの意識啓発を引き続き行い、相談支援体制の充実を図る。 ・高齢者のニーズに対応するため、地区組織や介護、障がい分野の関係機関と連携を図り、担い手の確保につなげる。 ・地域支え合い組織の認知度向上に向けて、市民や関係機関に支え合い活動の周知を図る。また、支え合い組織未設置の町内への働きかけや支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(任意事業)【福祉課】	高齢者見守り相談サービス事業、成年後見制度利用支援事業	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り続けられるように、各種事業を実施した。 ・高齢者見守り相談サービス利用 124台(3月末時点設置数) ・成年後見制度市長申立件数 1件 ・成年後見制度利用支援事業(補助金) 3件	・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送ることができている。 ・認知症高齢者やひとり暮らし高齢者が増加傾向であり、成年後見制度の利用が増加していくことが予想される。	・高齢者見守り相談サービス事業については、民生委員・児童委員がひとり暮らしの高齢者宅に訪問する機会を活用して普及啓発を行う。 ・成年後見制度利用支援事業については、庁内関係課等で構成する成年後見制度利用支援ネットワーク連絡会を活用し、権利擁護が必要な高齢者の制度利用につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	21
総合計画ページ		P.56	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	1	商業の振興
施策の基本方針	■ 商業の活性化支援 ■ 起業や開業に対する支援 ■ 小千谷産品の開発やブラッシュアップに対する支援 ■ 市場開拓と販路拡大に対する支援 ■ ふるさと納税制度の活用による小千谷産品の販路拡大	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	27	27	10	270.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	13	18	20	90.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(商品開発や品質向上など)	件	4	5	9	10	15	12	125.0	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	9	15	60.0	商工振興課
ふるさと納税リピーター数	人	4,187	8,408	10,674	13,010	15,501	6,000	258.4	企画政策課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【商工振興課】 ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:3事業所、2回目:5事業所) ・ふるさとものづくり支援事業 片貝花火打ち上げ筒をモチーフにした地場産品の開発支援(4,702千円)
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
商店街空き店舗活用支援事業 【商工振興課】	商店街の空き店舗を活用した起業や開業における初期投資に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:2件	R6年度、東大通、中央通、平成の各商店街において店舗利活用状況調査を行い、創業希望者へ提供する空き店舗情報の整備を行った。	R5・6年度に実施した本町、東大通、中央通、平成の各商店街における店舗利活用状況調査結果を活用し、商店街の空き店舗における開業件数増加を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
商店街にぎわいづくり支援事業 【商工振興課】	商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:2件 ・本町商店街(連携) ・本町商店街(単独)	多くの商店街が本事業を活用し、にぎわいの創出へつなげる事業を実施している。 (H30年度事業開始) R4年度:2件、R5年度:1件、R6年度:2件	今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。

事業名【担当課】	事業概要	
開業促進事業【商工振興課】	市内での起業や開業に関する相談や初期投資に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度相談支援件数:27件 R6年度初期投資支援件数:5件 起業スクール:1回開催(参加者14名) 起業セミナー:1回開催(参加者8名)	起業家育成支援事業「BALLOON」を開始するなど、市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き、創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
地場産品開発支援事業【商工振興課】	小千谷産品の新規開発や品質向上などに対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:5件 ・商品開発:5件(R5年度1件) ・商品改良:0件(R5年度0件)	食品製造事業者への事業案内等により、新規申請先を含む地場産品開発を支援することができた。引き続き、地場産品の認知度向上や販路開拓の支援が必要である。	引き続き、広報やメルマガでの事例紹介による商品開発促進の機運醸成を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業【商工振興課】	新商品にPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:9件 ・海外0件、国内9件 (R5年度支援件数:11件)	R5年度と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと納税推進事業【企画政策課】	ふるさと納税制度の返礼品の充実拡充による小千谷産品のPRと販路拡大に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
返礼品ページ改修、広告運用の見直し等を実施した。 件数、寄附受入額ともに過去最高となり、小千谷産品のPRと販路拡大につなげることができたが、目標額は達成できなかった。	・米の在庫不足等により寄附機会損失が生じ、目標としていた8億円には到達しなかった。 ・米の在庫確保、米以外の返礼品のラインナップ充実、プロモーション強化等、寄附拡大に向けて更なる取組が必要である。	・行政改革の一環として、関係部署と連携し返礼品の拡充等に取り組む。 ・公募型プロポーザルにより選定した中間事業者と連携し、在庫確保対策や事務の効率化、プロモーションの強化に取り組む。

事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R7年3月末時点): 24件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定件数 ・セーフティネット保証:8件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。	現在、市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	22
総合計画ページ		P.56	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	2	基幹産業の強化
施策の基本方針	■ 技術継承のための人材育成 ■ 新技術開発と経営基盤の強化 ■ 販路開拓や拡大に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数 (平成21年度以降の累計)	人	172	192	202	214	222	230	96.5	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	3	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	9	15	60.0	商工振興課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業 【商工振興課】	高い熟練技術の継承を目的とした人材育成を行うテクノ小千谷名匠塾の活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:8名(R5年度:8名) (名匠塾における累計合格者数:222名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R4年度:10名、R5年度:8名、R6年度:8名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ支援事業 【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:0件 (R5年度支援件数:0件)	R6年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R4年度:0件、R5年度:0件、R6年度:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して新技術研究に取り組み製品開発を進める事業に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:0件(R5年度:0件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られているが、R6年度において補助制度の利用はなかった(R元年度より支援)。R4年度:1件、R5年度:0件、R6年度:0件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学金官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
R6年度企業訪問件数:89件(R5年度:60件) ・セミナー開催:19回	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲)【商工振興課】	新技術、新製品のPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:9件 ・海外0件、国内9件 (R5年度支援件数:11件)	R5年度と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業(再掲)【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R7年3月末時点):24件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定件数 ・セーフティネット保証:8件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。	現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	23
総合計画ページ		P.61	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	3	企業立地の推進
施策の基本方針	■ 企業立地用地などの確保 ■ 企業立地の促進 ■ 新たな労働形態への対応	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
産業団地造成箇所(累計)	か所	1	1	1	1	1	2	50.0	商工振興課
産業団地への誘致件数(累計)	件	2	2	2	2	2	3	66.7	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

テレワークステーションおぢや内へのサテライトオフィス進出件数(累計): 2件
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
新産業団地造成事業【商工振興課】	新たな産業団地の計画、造成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
造成事業における事業主体の見直しや民間開発を促進するための施策整備を進めた。	事業リスクの低減を図るため、引き続き、市内外の企業のニーズ把握や民間活力の活用を検討を進める必要がある。	引き続き、市内外の企業における立地動向の情報把握に努め、民間開発を促進するための施策整備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
企業立地促進事業【商工振興課】	固定資産税の課税免除、用地取得と就業者雇用に対する補助金交付、空き工場などの情報提供	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
固定資産税課税免除: 4件	当課メルマガ及びホームページで周知を行っているが、支援策を活用する事業者が限られており、引き続きプッシュ型の周知が必要である。	引き続き、企業の設備投資などの情報把握に努め、適切な支援を実施していくとともに、プッシュ型の支援制度周知により設備投資を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
テレワーク環境整備事業【商工振興課】	新たな働き方に対応する受入環境の調査、検討、情報発信など	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
テレワークステーションおぢや延べ利用者数: 2,486名	施設利用登録者数は増加しているものの、限られた方の利用に留まっているため、引き続き周知が必要である。また、継続して施設を利用いただけるよう、施設利用者やイベントなどの参加者のニーズを把握する必要がある。	引き続き、SNSやホームページなどを活用した情報発信や、定期的なイベントなどの開催により利用促進を図るとともに、施設利用者やイベントなどの参加者のニーズを把握し、施設運営に生かしていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	24
総合計画ページ		P.63	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	1	担い手の育成と経営の安定
施策の基本方針	■ 新たな担い手の育成 ■ 地域における営農体制の構築 ■ 地域特性を活かした複合化・多角化経営の推進 ■ 農畜産物の高付加価値化の推進 ■ 多様な農産物生産と加工、販売の強化 ■ 農業機械導入に対する支援 ■ スマート農業の推進 ■ 環境保全型農業の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
担い手などの農地利用集積面積	ha	1,723	1,855	1,989	2,066	2,122	2,100	101.0	農林課
重点園芸作物の栽培面積	ha	35.6	35.1	33.9	33	32.8	40.0	82.0	農林課
重点園芸作物の栽培者数	人	112	102	101	92	97	120	80.8	農林課
スマート農業の累計取組件数(本市の補助事業を活用したもの)	件	2	21	24	26	30	13	230.8	農林課

※重点園芸作物:カリフラワー、メロン、すいか、にんじん、ささげ豆、さといも、花卉(かき)、養液トマト

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
担い手育成総合支援事業【農林課】	農業経営に関する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・農業経営に必要な研修会や個別相談会等の情報を農業者に周知案内し、参加を促した。 ・鳥獣被害対策研修に4名が参加した。	多様な研修会が設けられており、農業経営に必要な知識等が習得できる体制が整っている。	引き続き、農業者への研修機会の周知案内を行い農業経営に必要な知識等の習得を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業【農林課】	新規就農者に対する助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした新規就農者3名に対して、経営支援及び資金を交付した。	認定新規就農者に対する就農後の支援を行い、定着を図る必要がある。	・関係機関及び団体等と連携して積極的に就農相談を行う。 ・事業要件を満たす新規認定就農者には資金事業等を活用し、次世代を担う農業者を育成する。

事業名【担当課】	事業概要	
農地中間管理事業、機構集積協力金交付金事業【農林課】	農地中間管理機構と連携した農地の集積、集約に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
機構集積協力金の支援実績がなかった。	機構集積協力金のうち、これまで支援実績のあった経営転換協力金の交付要件が厳しくなったため、対象者がいなかった。	引き続き、農地中間管理事業の周知を図り、農地の集積や集約を推進して支援につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
米政策支援事業【農林課】	経営所得安定対策、新たな米政策などに対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
農業者の経営所得安定のために、小千谷市農業再生協議会を通じて、農業者の取組に対する支援を行った。	・全国で主食用米の在庫不足の状況が続いている。 ・農業者の経営所得安定のため、地域においても需要に応じた米生産が求められていることから、継続した支援が必要である。	引き続き、全国的な主食用米の在庫過多の状況に対応した支援が必要となっている一方で、今後の米の市場動向等を注視し、地域にとって必要な施策を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
農林水産業総合振興事業【農林課】	農業生産機械、施設などに対する整備支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
4つの経営体に対して生産機械の導入支援を行った(田植機1台、籾乾燥機2台、コンバイン1台、トラクター1台)。	国や県の補助要件を満たすことができない農業者からの相談案件が多い。	補助要件を満たし、中心的な地域の担い手が事業活用できるよう、支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
農業経営基盤強化支援利子助成補助金【農林課】	農地の取得や農業機械の購入に対する利子助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
農業経営改善計画の達成に必要な長期投資の利子助成を7件行った。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減が図られている。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減のために事業を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
環境保全型農業直接支払交付金事業【農林課】	有機農業や堆肥を利用した土づくりなど環境保全型の営農活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
1団体の環境保全型農業の取組に対して助成を行い、22人の農業者が活動した。	取組者数の変動は少ないものの、昨今の気象変動(高温、倒伏等)に伴い、取組終了者が減少の傾向にある。	・引き続き、環境保全型農業に取り組む農業者に対して支援を行いつつ、環境に配慮した農業の意義等を周知していく。 ・R9年に制度移行が予定されており、その準備を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	25
総合計画ページ		P.66	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	2	農業生産基盤整備の推進
施策の基本方針	■ ほ場の整備促進 ■ 農業用施設の機能回復支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
水田の区画整理整備率(30a以上)	%	59.4	60.9	60.9	61.4	61.8	61.0	101.3	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ほ場整備事業【農林課】	県営ほ場整備事業に対する負担金	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
上片貝、若栃、塩殿、前島宮島、芋坂時之島、栗山において県営事業が実施された。	ほ場整備計画地区は複数あるが、事業要件等により事業化できない地区がある。	県営事業以外による事業実施を検討していく。

事業名【担当課】	事業概要	
基盤整備促進事業【農林課】	水利施設整備に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区及び小千谷西南土地改良区が実施した施設設備の補修等に対して補助金を交付した。	老朽化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、国庫補助事業に対して上乗せ助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
土地改良施設維持管理適正化事業【農林課】	農業用施設の機能回復や整備などに対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区、小千谷西南土地改良区及び信濃川左岸土地改良区が実施した施設設備の補修等に対して、補助金を交付した。	老朽化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、新潟県土地改良事業団体連合会の適正化事業の採択を受けた事業に対して助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
多面的機能支払交付金事業【農林課】	農業用施設の長寿命化の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
1広域協定、3組織の農業用施設長寿命化の活動に対して補助金を交付した。(取組面積1,794ha)	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	当該事業を活用することが多い県営ほ場整備実施済みの地区に対して、働きかけを行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	26
総合計画ページ		P.67	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	3	農村の振興
施策の基本方針	■ 農村の多面的機能の維持と活用 ■ 中山間地域の農業の維持 ■ 農用地利用計画の見直し ■ 農村の環境整備にかかわる人材の確保	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
農地維持活動面積	ha	1,953	2,045	2,057	2,066	2,065	2,050	100.7	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
多面的機能支払交付金事業(再掲) 【農林課】	農地を維持するための共同活動の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
1広域協定、4組織の農地維持活動に対して補助金を交付した(取組面積2,065ha)。	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	当該事業を活用することが多い県営ほ場整備実施済みの地区に対して、働きかけを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
中山間地域等直接支払事業 【農林課】	耕作放棄地の増加抑制や人材確保のための活動に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
6広域協定、5集落協定の農業生産活動に対して補助金を交付した(取組面積1,148ha)。	取組面積は年々拡大してきており、新規の事業活用を検討している地区もある。	引き続き、事業活用を検討している地区に対して情報提供などの支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	27
総合計画ページ		P.69	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	4	森林の維持
施策の基本方針	■ 森林の維持、保全 ■ 特用林産物の生産体制の確立 ■ 緑化推進活動に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
森林整備意向調査実施面積	ha	0	13.6	13.6	13.6	13.6	100.0	13.6	農林課
緑化活動団体	団体	4	9	3	3	4	5	80.0	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
治山事業【農林課】	荒廃地の復旧や災害予防、保全対象地の保護	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・真人町ほか4地区で下刈りを実施した。 ・南荷頃で洗掘防止工を実施した。 ・小栗山で大型土のう設置工及び谷止工を実施した。	治山施設の老朽化が進んでおり、修繕等の必要箇所が増加傾向にある。	引き続き、危険箇所や施設の破損等の情報を速やかに県に報告し、事業化につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
森林整備地域活動支援事業【農林課】	適切な森林整備活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
実施なし。	間伐の取組は減少傾向にある。	民間の森林整備活動に対する支援のあり方について検討を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
特用林産物生産支援事業【農林課】	きのこ生産事業の品質向上と低コスト化を推進する事業に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
実施なし。	H28年度に低コスト化の施設整備に対する支援を行っており、生産者の要望は毎年確認している。	引き続き、生産者に対して情報提供を行い、支援の実施につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
緑化運動推進事業【農林課】	公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会などが行う緑化推進活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
4団体が植樹を実施した。また、9団体の植樹維持管理に対して資材費を支援した。	全町内会に植樹等要望調査を実施した結果、実施団体が増加傾向にあることから、予算不足が懸念される。	引き続き、全町内への要望調査を行い、予算の範囲内で取組を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	28
総合計画ページ		P.71	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	1	独創性・創造性豊かな産業の育成
施策の基本方針	■ 伝統産業のPR ■ 複合経営型アグリビジネスの構築促進 ■ 起業、第二創業に対する支援 ■ 産学金官の連携	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
アグリビジネス新規開発品目数	団体	14	16	16	16	18	19	94.7	農林課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	27	27	10	270.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	13	18	20	90.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	3	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	11	9	15	60.0	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【商工振興課】 ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:3事業所、2回目:5事業所) ・ふるさとものづくり支援事業 片貝花火打ち上げ筒をモチーフにした地場産品の開発支援(4,702千円)
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
伝統産業振興支援【商工振興課】	伝統工芸団体への運営、事業に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度における支援件数は4件(R5年度支援件数:4件)・織物同業協同組合・仏壇振興事業・地場産業振興事業・伝統的工芸品月間事業	引き続き、伝統産業の振興に係る相談や支援の継続が必要である。	引き続き、補助金等による伝統産業の振興に係る相談や支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
アグリビジネス育成支援事業【農林課】	地域資源を活用したアグリビジネスの商品開発や販路開拓に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
アグリビジネス創出の可能性を持つ農業関係団体等に対して、国県事業等の情報提供を行った。	農家の女性団体が行う小規模な取組や、法人等団体組織で行う意欲的な取組を後押しするために有効である。	農業者の法人化等の支援や農作物加工のできる農業管理センターの調理実習室の利用促進により、アグリビジネス創出の可能性を高める。

事業名【担当課】	事業概要	
起業・開業支援事業(再掲) 【商工振興課】	市内での起業や開業に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度相談支援件数:27件 R6年度初期投資支援件数:5件 起業スクール:1回開催(参加者14名) 起業セミナー:1回開催(参加者8名)	起業家育成支援事業「BALLOON」を開始するなど、市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き、創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ事業(再掲) 【商工振興課】	企業と学術機関が連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:0件 (R5年度支援件数:0件)	R6年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R4年度:0件、R5年度:0件、R6年度:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業(再掲) 【商工振興課】	起業や経営体と学術機関が連携して行う新技術の研究と製品開発に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:0件(R5年度:0件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られているが、R6年度において補助制度の利用はなかった(R元年度より支援)。 R4年度:1件、R5年度:0件、R6年度:0件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業(再掲) 【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学金官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度企業訪問件数:86件(R5年度:60件) ・セミナー開催:19回	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲) 【商工振興課】	新技術、新製品のPR、販路拡大を目的とする国内外の展示会、見本市などへの出展要請	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:9件 ・海外0件、国内9件 (R5年度支援件数:11件)	R5年度と比べて支援件数が減少しているため、展示会の案内及び本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	29
総合計画ページ		P.73	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	2	錦鯉産業の振興
施策の基本方針	■ 市の魚「錦鯉」のPR ■ 販路拡大に対する支援 ■ 鯉ヘルペスウイルス(KHV)病への対策強化 ■ 経営基盤の強化 ■ 教育や観光との連携	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
市内錦鯉海外輸出国数	ヶ国	22	20	21	23	25	26	96.2	農林課
市内錦鯉海外輸出件数	件	228	227	212	400	403	250	161.2	農林課
市内錦鯉海外輸出尾数	尾	215,484	390,724	312,096	273,892	260,124	570,000	45.6	農林課
市内錦鯉海外輸出金額	千円	509,400	804,000	723,718	1,003,550	1,484,390	700,000	212.1	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

・7月27日に「佐渡島(さど)の金山」が世界文化遺産に登録が決定したことを記念して、10月9日に小千谷市から佐渡市へ金と銀の錦鯉を寄贈し、佐渡市と小千谷市の事業連携が開始した。 ・10月26～27日に朱鷺メッセにおいて開催された「クールジャパンEXPO in NIIGATA」において、錦鯉の展示を行い、その魅力をPRした。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
市の魚「錦鯉」PR事業【農林課】	小千谷市錦鯉漁業協同組合が行う広報宣伝事業に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市の魚「錦鯉」制定10周年を記念して、長岡市とともに国営越後丘陵公園において錦鯉を展示し、家族連れをはじめとする多くの来園者にPR活動を行った。	・不測の事態が発生した場合においても安定した輸出ができる体制の整備が必要である。 ・錦鯉を通じた経済・文化の国際交流の促進等により、海外市場への販路拡大が必要である。	新潟県が出展する大阪・関西万博にあわせ(7月13日～17日)、大阪駅周辺を訪れる国内外の来訪者に対して、小千谷市産錦鯉のPR活動を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業【農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場に設置される錦鯉鑑賞池を活用した錦鯉のPR	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・TOKYOTORCH桜まつりにおいて、にぎわい交流課では観光PRブースを出展し、農林課では錦鯉すくいや錦鯉パンフレットを配布した。また、桜まつり同日に多くの訪日外国人旅行者が利用する「JAPAN RAIL CAFE TOKYO」(東京駅周辺)において、にぎわい交流課では観光PRブースを出展し、農林課では錦鯉の水槽展示や錦鯉パンフレットを配布した。 ・SNS等を活用し、当市の魅力や常盤橋イベントの発信を行った。	・東京常盤橋の「錦鯉が泳ぐ池」の認知度は、依然として低い。単独イベントを行うにしても、トーチタワーが建設中であるため、TOKYOTORCHPark等の利用客の動線を確保することが困難な状況にある。 ・完成予定のR9年度末までは、工事による影響を踏まえたPR活動を行っていく必要がある。	・引き続きにぎわい交流課と連携ながら、工夫のある情報発信に取り組む。 ・常盤橋関連イベントに継続して出展する。 ・関連団体への働きかけを行い、物販の拡充を図る。 ・地場産農産物の販売も視野に、農業者へ出店を提案する。

事業名【担当課】	事業概要	
養殖錦鯉魚病検査対策事業【農林課】	KHV病の検査費用に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度検査数 【輸出】前期31件、後期30件 【国内】前期8件、後期13件	KHV病への対策強化、まん延防止により、魚病対策への信頼性を保ち、出荷販売促進が図られている。	KHV病のまん延防止により、錦鯉の出荷や販売促進が図られることから、継続して実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
経営基盤強化事業【農林課】	品評会の開催や販路開拓や拡大事業に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
生産者による農地の一時転用について、手続き方法などについて助言した。	生産者の高齢化や後継者不足が懸念される一方で、海外市場において需要が高まっている。担い手確保のほか、一生産者が需要に応えられる生産基盤の確保、拡大が求められる。	・関係者との情報交換により、耕作放棄地などがある場所を把握し、養鯉業への有効利用につなげる。 ・養鯉業における職場体験について、生産者や学校側と意見交換を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	30
総合計画ページ		P.75	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	1	就業支援の強化と人材育成
施策の基本方針		■ 若者の就業機会の確保 ■ 情報通信技術を活用する採用活動に対する支援 ■ U・Iターンに対する支援 ■ キャリア教育に対する支援 ■ 中小企業における人材育成 ■ 再就職希望者に対する支援 ■ 就労支援情報の発信

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
新規就農者数(累計)	人	12	21	25	27	28	30	93.3	農林課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数※	人/年	調査なし	107	159	150	234	40	585.0	商工振興課
インターンシップ参加者の市内就職者数(累計)※	人	調査なし	32	40	59	64	30	213.3	商工振興課
15歳～29歳の転入者数	人/年	292	280	355	304	303	300	101.0	商工振興課
中小企業人材育成研修支援事業の対象者数	人/年	32	19	37	31	16	35	45.7	商工振興課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数(H21年度以降の累計)	人	172	192	202	214	222	230	96.5	商工振興課
シルバー人材センター会員数	人	389	378	382	383	377	407	92.6	福祉課
障がい者の一般就労への移行者数	人/年	2	0	3	5	2	5	40.0	福祉課

※【照会企業数】R6年度:161社(R5年度:162社) 【回答企業数】R6年度:94社(R5:128社)

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【商工振興課】

・長岡地域若者サポートステーションにおける若者の相談件数:7件(うち新規2件)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
「おぢや・夢・ミライ応援団」による就労支援事業【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・インターンシップ受入調査:市内企業162社 ・インターンシップ受入仲介:18名 ・おぢやしごと未来塾開催:1回	市外の高等教育機関へ周知を行ったことから、インターンシップの受入仲介がR5年度から7名増加した。	R6年度に引き続き、高等教育機関へ就職支援事業の周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・Iターン就労を促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・U・Iターン就職活動支援事業補助金申込:3件 ・長岡地域定住自立圏事業:4回 (マイナビ未来ビュー・インターンシップガイダンス・高校生のための企業フェス・就職ガイダンス)	・U・Iターン就職活動支援事業補助金の制度を拡充し、チラシ等を用いて周知を強化した。 ・長岡地域定住自立圏事業との連携により、広域的な市内企業の認知向上が図られた。	U・Iターン就職活動支援事業補助金の認知向上のため、企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSを活用して周知を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
キャリア教育推進事業【商工振興課】	小学生から高校生までを対象とした企業見学、職場体験などに対する支援と企業ガイドブックの配布	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・企業見学バスツアー開催:3回 ・企業ガイドブックの配布 ・就職支援サイトのリニューアル ・就職支援SNSアカウントの運営(Instagram、YouTube、TikTok) ・企業見学(市内中学校5校):3校	・各世代の学生に対して、企業ガイドブックの配布やバスツアーの開催などを行い、キャリア教育の推進が図られている。 ・企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSの活用により、市内企業の認知向上が図られている。	引き続き、市内企業の認知向上を図るため、各世代の学生に対するキャリア教育推進事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業(再掲)【農林課】	新規就農者に経営に対する助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした新規就農者3名に対して、経営支援及び資金を交付した。	認定新規就農者に対する就農後の支援を行い、定着を図る必要がある。	・関係機関及び団体等と連携して積極的に就農相談を行う。 ・事業要件を満たす新規認定就農者には資金事業等を活用し、次世代を担う農業者を育成する。

事業名【担当課】	事業概要	
中小企業研修支援事業【商工振興課】	中小企業大学校三条校、公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)が実施する研修の受講に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
研修受講者数:16名(R5年度:31名)	受講者数はR5年度と比べて減少した。	市内企業の研修補助による人的資源の強化を図るものであり、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業(再掲)【商工振興課】	高い熟練技術の継承と人材育成に取り組むテクノ小千谷名匠塾の活動に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:8名(R5年度:8名) (名匠塾における累計合格者数:222名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R4年度:10名、R5年度:8名、R6年度:8名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域若者サポートステーション 【商工振興課】	若者の就業による自立を目的とした「地域若者サポートステーション事業」の広報協力及び小千谷サテライト(出張相談)の開設協力	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・小千谷サテライトの実施:12回(月1回) ・市ホームページへの掲載	小千谷サテライトでの相談から進路(就職含む)決定につながる実績があった。	相談者の進路(就職含む)決定という実績も出ていることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内在住外国人に対して、生活に必要な情報の提供などを行った。	市内の外国人労働者の増加に伴い、企業側からの日本語学習の需要がかなり増えている。 R5 延べ156人 R6 延べ313人	公民館事業としては、市内に定住する外国人が主な対象者となることから、他課とそれぞれが担う役割について協議を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業(再掲) 【福祉課】	就労移行支援、就労継続支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
障がいのある方に対して、就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行った。 【実績】※実利用者数 ・就労移行支援:7人 ・就労継続支援:A型8人、B型125人	障がいのある方の就業期間の確保と、企業における障がいに対する理解の促進を図る必要がある。	市内の相談支援事業所や企業、総合支援学校と連携した情報発信等により、障がい者雇用の理解と推進を図り、実習先や就業機会の確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	31
総合計画ページ		P.78	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	2	労働環境の整備
施策の基本方針	■ 働き方改革の推進 ■ ワーク・ライフ・バランスの推進 ■ 勤労青少年の活動支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
労働環境の整備に関する情報提供のための企業訪問数	件/年	24	22	24	20	19	25	76.0	商工振興課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
労働環境の整備に関する情報の提供【商工振興課】	働き方改革やワーク・ライフ・バランスなど労働環境の整備に関する情報提供や労働相談窓口などの紹介	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・ワーク・ライフ・バランス広報(ホームページ及び広報おぢやへの掲載) ・企業訪問件数:19件	ホームページや広報誌への掲載だけでなく、企業訪問による周知強化を図っている。 企業訪問周知件数(R4年度:24件、R5年度:20件、R6年度:19件)	引き続き、企業訪問による周知強化に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年の自己啓発活動支援事業(再掲)【文化スポーツ課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・Iターン就労を促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
勤労青少年ホームでの講座や教室を全18講座(延べ82回)開催した。	・勤労青少年の利用者が減少している。 ・社会情勢の変化により、今後のあり方について検討が必要である。	・受講者の獲得を図るため、引き続き、SNS等を活用して広報や周知を行う。 ・近隣に新たに整備する(仮称)防災センターの機能を考慮しながら、今後のあり方を検討する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	32
総合計画ページ	P. 80		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	1	中心市街地の活性化
施策の基本方針	■ 小千谷市立地適性化計画の推進 ■ 市街地の都市機能整備 ■ 中心市街地への居住誘導 ■ 商業の活性化支援(再掲)	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
居住誘導区域の人口集積率※	%	56.9	57.3	58.0	58.1	58.3	58.2	100.2	建設課

※全人口に占める居住誘導区域の人口割合

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
立地適正化計画の推進【建設課】	立地適正化計画に基づく居住や都市機能の誘導方針による推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・居住誘導区域の人口集積率 58.3% ・都市機能:図書館等複合施設を供用開始するとともに(仮称)小千谷市防災センター整備事業(R8供用開始予定)の建設工事に着手	図書館等複合施設の整備や(仮称)小千谷市防災センターの整備による都市機能の誘導や、宅地開発支援による居住誘導の充実を行っている。	引き続き、関連する計画に位置付けられた施策などを着実に実行し、居住及び都市機能の誘導を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
都市機能集約事業【建設課】	西小千谷地区:図書館等複合施設整備事業、 東小千谷地区:防災拠点施設等整備事業((仮称)小千谷市防災センター整備事業)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」】 ・R6年9月28日に供用を開始した。 ・開館2日間で延べ1万人が来館した。 ・R7年3月上旬に当初の来館者目標である16.8万人を突破し、4月2日には20万人を達成した。 【(仮称)小千谷市防災センター】 ・実施設計が終了し、建設工事に着手した。 ・施設コンセプト「つながる 伝える 絆を紡ぐ 学びの広場」を決定した。 ・施設の管理運営方法について検討を開始し、サウンディング型市場調査を実施した。	【ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」】 ・毎月第1日曜には「ホントカ。市」を開催し、基本方針「賑わい・交流・憩いの創出」に向け、官民連携の事業を進めている。 【(仮称)小千谷市防災センター】 ・施設コンセプトや施設オープン後の具体的な事業展開を見据えて施設整備を進めるとともに、効率的な管理運営方法を検討している。	【ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」】 ・開館1周年事業を開催する。 ・引き続き官民で連携しながら、市民目線で柔軟な運営体制の整備を行う。 ・西脇順三郎の展示機能でもある「知アンカー」、小千谷らしさを活かした「博アンカー」、創造・ものづくりの「発アンカー」との融合を意識した施設運営行う。 ・R7年3月に着任した地域おこし協力隊は、子育て支援機能の「プレイリーダー」として、「ホントカ。」内に限らず、地域と子育て世代をつなぐ役割として取組を進める。 【(仮称)小千谷市防災センター】 ・引き続き施設整備を進めるとともに、施設コンセプトを実現するため、施設管理運営に関する準備を進める。 ・R8年度の供用開始に向けて、市民が施設活用のイメージをもてるように、情報発信を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅取得支援事業【建設課】	住宅取得に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数 82件(うち子育て世代66件) ・新築住宅 49件(うち転入18件) ・建売住宅 9件(うち転入1件) ・中古住宅 24件(うち転入8件)	・R5年度と比較して、補助金全体の申請件数は5件減少したが、中古住宅購入件数は2件増加した。 ・建築価格の上昇により、中古住宅の需要が増えている傾向にある。	・対象者へ確実に情報が届くよう、広報誌やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。 ・住宅に関する補助制度は多様化していることから、実態に即した端的な説明を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・補助金交付決定数:1件5区画(R7年度に繰り越し)	・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R7年度も本補助金の活用が見込まれている。	・引き続き、使いやすい補助金としてPR活動を行い、丁寧な事前相談を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
商店街にぎわいづくり支援事業(再掲) 【商工振興課】	商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度支援件数:2件 ・本町商店街(連携) ・本町商店街(単独)	多くの商店街が本事業を活用し、賑わいの創出へつながる事業を実施している。 (H30年度事業開始) R4年度:2件、R5年度:1件、R6年度:2件	今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	33
総合計画ページ		P.82	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	2	地域公共交通の充実
施策の基本方針	■ 路線バスの運行の維持 ■ 中山間地域における公共交通網の維持 ■ 鉄道の利用促進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
市内路線バス運行路線数	路線	10	10	10	9	9	10	90.0	にぎわい交流課
コミュニティバス運行路線数	路線	1	1	1	1	2	1	200.0	にぎわい交流課
乗合タクシー運行路線数	路線	2	2	2	3	3	2	150.0	にぎわい交流課
生活交通(バス・乗合タクシー)運行路線のうち小千谷駅停車路線数	路線	12	12	12	12	12	12	100.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生活交通確保対策事業 【にぎわい交流課】	過疎地域路線バス、廃止路線代替バス、循環バスの運行に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
廃止路線代替バスや循環バスの運行に対する補助を行った。	高齢者の移動支援対策や、廃止が予定されている循環バスの代替交通として、新たな交通手段(AIオンデマンド交通)の導入が求められている。	循環バスに代わる交通手段(AIオンデマンド)の導入及び利用促進に取り組む。

事業名【担当課】	事業概要	
コミュニティバス等運行支援事業 【にぎわい交流課】	コミュニティバス、乗合タクシーの運行に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・コミュニティバスや乗合タクシーの運行に対する補助を行った。 ・真人地区にコミュニティバスを新たに導入した。	中山間地域の公共交通の確保について、現状に合わせた移動手段の提供が必要である。	利便性向上に向けた取組を行い、運行を継続していく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	34
総合計画ページ		P.83	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	3	居住環境の向上
施策の基本方針	■ 宅地の供給 ■ 公園の整備と適正管理を推進 ■ 公営住宅の適正な戸数確保と長寿命化 ■ 空き家等対策の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	50	50	30	166.7	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地整備に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・補助金交付決定数:1件5区画(R7年度に繰り越し)	・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R7年度も本補助金の活用が見込まれている。	・引き続き、使いやすい補助金としてPR活動を行い、丁寧な事前相談を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
都市公園施設整備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・片貝ふれあい公園けやき園内にあるケヤキの剪定及び診断を行った。	・園内に植樹されているケヤキの老朽化が進んでおり、今後、ほぼ全てのケヤキを伐採する必要がある。	・特に早急な対応が求められている樹木について伐採を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
公営住宅施設設備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・屋上防水外壁改修工事(木津のぞみ団地住宅)	高齢者や障がい者が安心して暮らせる住宅の整備と雪国の暮らしに適さない老朽住宅の整理が必要である。	引き続き、老朽化した施設整備の更新と老朽住宅の整理を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家バンク運営事業【商工振興課】	空き家情報の提供と登録物件の斡旋	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・空き家活用のための家財道具等処分支援事業補助金を新設し、空き家バンクへの登録を促進した。 ・空き家新規登録物件:38件 ・空き家成約件数:29件	・移住や住替え要望が増加している。 ・高齢化や相続後の管理負担などを理由に、登録を希望する所有者が増加している。 ・購入した中古物件に大規模な改造を行うことで資産価値を高め、売却又は賃貸運営によって収益化していく投資が増加している。	引き続き、効果的な情報発信により物件の登録数の増加を図り、空き家利活用を促進させる。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家等対策事業【防災安全課】	危険な空き家に関する啓発と適正管理の促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・特定空家1件に対して行政代執行による解体工事を行った。 ・改正空家法を反映した空家対策計画の改訂を行った。 ・空家等の所有者等に適切な管理を促すため、管理不全空家等及び特定空家等を認定する際の「小千谷市管理不全空家等及び特定空家等の認定基準」を策定した。 ・危険空家所有者へ対応を促す文書を送付した。	今後も空家の増加が予想され、空家の解体や利活用、空き家バンクへの登録など、危険な状態になる前の対応を啓発する必要がある。	引き続き、市民への啓発を進めるとともに、危険空家所有者に対して状況改善を求める働きかけを継続的に実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	35
総合計画ページ		P.85	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	1	道路網の整備と維持管理
施策の基本方針	■ 市道・橋りょうなどの整備と維持管理 ■ 国・県道の整備促進 ■ 自動運転技術への対応	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
市道橋点検件数(累計)	橋	167	38	105	106	141	179	78.8	建設課
舗装修繕路線率※	率	-	2.5	10.3	19.1	26.1	33.1	78.9	建設課

※小千谷市道路舗装修繕計画に基づく、修繕を必要とする延長に占める修繕実施延長の割合

(R2年度に路面性状の再調査を実施したことから、R3年度以降の実績値で達成率を計算することとする。)

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
道路整備事業【建設課】	市道の新設・改良、国・県道の整備を促進するための働きかけ	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・幹線である旭町東栄線と山谷吉谷線の道路改良工事を実施した。 ・冠水対策として、城川7号線の側溝流末改良工事に着手した。	・円滑な交通と歩行者の安全確保が必要である。 ・異常気象に伴う道路側溝の溢水箇所が増加していることから、道路整備や排水路の断面確保等の対策が急務である。	・市道においては、幹線道路の拡幅や溢水箇所の対策を実施する。 ・国県道については、引き続き県や国と連携しながら、市内のインフラ整備の促進に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
道路舗装修繕事業【建設課】	舗装路面の劣化が著しい市道の点検と修繕	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
舗装修繕計画に基づき、城川9号線を含めた主要4路線について、舗装の打ち換えや切削オーバーレイを実施した。これにより、車両の段差事故を防止出来た。また、消雪パイプ路線においては、消雪効果が向上した。	R2年度に計画的な修繕が必要と定めた路線について、路面性状調査を実施した。その結果、健全度が基準値を下回る路線が延長ベースで全体の60%あることが判明した。	舗装修繕計画に基づき、修繕費の平準化を図りながら、劣化・損傷の著しい路線の修繕を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
橋りょう長寿命化修繕事業【建設課】	市道橋の定期的な点検と修繕	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市管理の橋梁177橋のうち、35橋の点検と修繕実施設計を実施した。	橋梁長寿命化修繕計画に沿って点検と修繕を実施している。	橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	36
総合計画ページ		P.87	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	2	自然と調和し災害に強い河川の整備
施策の基本方針	■ 一級河川の整備促進 ■ 準用河川と普通河川の整備 ■ 水辺の環境美化活動に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
河川整備事業実施箇所(準用河川)	箇所	0	1	2	0	0	2	0.0	建設課
河川整備事業実施箇所(普通河川)	箇所	0	0	0	1	1	1	100.0	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
一級河川の整備促進(国、県管理河川) 【建設課】	信濃川や表沢川などの整備事業の促進、茶郷川の河川整備計画策定の促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・表沢川については、上流工区の一部護岸工事と支障物件であった鉄塔の移設補償が実施された。 ・茶郷川については、県の河川整備計画が国で認可され、関係者への報告を行った。これにあわせて、治水協議会や県などの関係者と事業促進に向けた取組を行うとともに、国・県との継続協議と地権者の合意形成に努めた。	・表沢川については、上流工区が残っており、完工には複数年度を要する見込みである。 ・茶郷川については、県の河川整備計画に基づく早期着工に向けて、国・県との協議を継続するとともに、引き続き地権者の合意形成に努める必要がある。	・表沢川については引き続き、県と連絡を密にし、早期完工を要望していく。 ・茶郷川については引き続き、国・県との協議と地権者・関係者合意形成に向けた協議を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
河川整備事業(市管理河川)【建設課】	準用河川と普通河川の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
地元要望に基づき現地の詳細確認を行い、河川整備を1箇所実施した。	表沢川について、R11年度までに一級河川表沢川の河川改修が完了する予定であり、完了後、市管理分の普通河川表沢川の整備を行う。	改修まで時間を要することから、要望箇所に変状がないか確認を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
環境美化活動支援事業【建設課】	河川環境の保全や美化活動に自主的に取り組む団体に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
一級河川及び準用河川について、関係町内や関係団体等が除草を実施した。	河川環境の保全や美化に取り組む町内や団体を増やし、河川環境の保全や美化活動に対する市民の意識啓発に努める必要がある。	引き続き、河川環境の保全や美化活動に対する市民の意識啓発に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	37
総合計画ページ		P.89	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	3	都市ガスの安定供給
施策の基本方針		■ 家庭用燃料電池の導入可能性の検討 ■ 需用家サービスの向上 ■ 震災に強い施設整備の推進と保安対策の徹底 ■ ガス事業の民営化の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
ガス管の耐震化率	%	45.8	46.6	47.4	47.8	48.2	47.8	100.8	上下水道局

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

R7.4.1ガス事業譲渡が完了した。(譲渡先:北陸ガス株)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ガスの需要拡大【上下水道局】	PR活動の強化、進出企業への営業などによる需要の拡大	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
チラシによるガス機器販売フェア(特別価格による販売)を小千谷管工事協同組合協力のもと、10月から11月までの間開催した。	ガス事業は、R7.4.1北陸ガス株へ譲渡したことから、今後は同社による営業活動の強化とガス需要の拡大が期待される。	

事業名【担当課】	事業概要	
需要家サービス向上【上下水道局】	顧客ニーズの把握と即応体制の強化	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
ガス衣類乾燥機料金の割引に関する相談を受け付けるなど、サービスの向上に努めた。	事業を引継ぐ北陸ガス株が持つ営業力により、サービスの向上が期待される。	

事業名【担当課】	事業概要	
ガス供給設備整備事業【上下水道局】	本支管耐震化工事、需要家保安対策(経年内管更新の推進)	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・L=1,039mの本支管耐震化工事を実施した。 ・需要家工事等の工事により、38本の老朽内管を削減した。	事業を引継ぐ北陸ガス株により、本支管耐震化工事や老朽内管の削減等の保安対策が進むことが期待される。	

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	38
総合計画ページ		P.91	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	4	上水道の安定供給
施策の基本方針	■ 震災に強い施設整備の推進 ■ 安定取水の確保 ■ 資産の適切な管理	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
水道本支管の耐震化率	%	21.3	21.8	22.4	22.8	23.1	23.4	98.7	上下水道局

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設耐震化事業【上下水道局】	主要施設の耐震化工事	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
焼田川水管橋の耐震化工事をR7年度に行うため、国の補助金を活用して実施設計を策定した。	地震などの災害に強い施設の整備を図るため、計画的に施設の耐震化を進める必要がある。	地震などの災害に強い施設の整備を図るため、計画的に施設の耐震化を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設整備事業【上下水道局】	配水管布設、老朽化管路布設替	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
安定給水の確保と経年管削減のため、L=1,155mの水道管布設替・新設を実施した。	老朽化に起因する事故の防止や安定給水の確保のため、本支管の計画的な整備と更新が必要となっている。	本支管の整備と更新を計画的に進め、安定給水を確保する。

事業名【担当課】	事業概要	
安定取水確保【上下水道局】	信濃川取水箇所付近の河床調査	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
近年、信濃川の水位が低下していることから、安定取水のため、取水塔廻りの浚渫作業を実施した。	各地点において河床の変動が見られることから、安定取水を確保するため、引き続き監視を行う必要がある。	安定取水を確保するため、引き続き監視を行い、状況に応じて必要な対策を講じる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	39
総合計画ページ		P.92	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	5	下水道施設の適正な維持管理
施策の基本方針	■ 下水道施設の適正な維持管理 ■ 水洗化率の向上 ■ 合併処理浄化槽の普及促進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
公共下水道事業の水洗化率	%	94.6	95.6	95.9	96.1	96.2	95.0	101.3	上下水道局
農業集落排水事業の水洗化率	%	97.4	97.5	97.5	97.9	98.0	97.5	100.5	上下水道局
合併処理浄化槽の設置数(累計)	基	332	311	312	315	321	348	92.2	環境共生課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
流域下水道事業【上下水道局】	流域下水道維持管理負担金	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県流域下水道施設の維持管理費について、当市分を負担した。	近隣自治体との共同処理により、コスト低減を図っている。今後、流域下水道施設の老朽化による更新工事の増加に伴い、更なる負担の増加が懸念される。	県及び近隣自治体と共同処理している流域下水道について、関係機関と連携を図り、より一層のコスト低減に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
公共下水道整備事業【上下水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
- 開発行為などにより下水道管渠の整備が必要となった箇所について、下水道管布設工事を実施した。 - H29年度作成のストックマネジメント計画に基づき点検を実施した。	事業は概成しているため、新たな整備計画はないが、施設の維持管理を効率的に実施していく必要がある。	長寿命化計画に基づき、施設の維持管理を効率的に実施するとともに、整備区域内における水洗化率の向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
農業集落排水整備事業【上下水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
- 新たな汚水管の布設及び補修工事は無かった。 - 最適整備構想により処理場の更新工事を計画的に実施した。	- 事業は概成しているため、新たな整備計画はないが、施設の維持管理を効率的に実施していく必要がある。 - 施設の広域化や共同化について、検討を進めていく必要がある。	- 長寿命化計画に基づき施設の維持管理を効率的に実施するとともに、整備区域内における水洗化率の向上を図る。 - 吉谷処理区について、R12年度における公共下水道への接続準備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
合併処理浄化槽整備事業【環境共生課】	合併処理浄化槽設置補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
衛生班長会議での説明や広報おぢやへの掲載などにより、合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を行ったものの、補助金申請はなかった。	既存住宅の取壊しや下水道への接続、新規住宅着工棟数の減少に伴い、合併処理浄化槽を新規で設置する住宅は減少している。	引き続き、広報等を活用して合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を行い、下水道事業計画外エリア等での新規設置や単独浄化槽からの切替を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	40
総合計画ページ		P.94	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	1	都市計画の推進
施策の基本方針	■ 都市計画マスタープランの見直し ■ 快適に暮らせる宅地の供給促進 ■ 都市計画道路の整備	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	50	50	30	166.7	建設課
都市計画道路の改良率	%	69.1	71.8	71.8	71.9	72.3	71.3	101.4	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画マスタープランの中間見直し【建設課】	都市計画基礎調査による都市の現況や都市化の動向などを把握及び社会情勢の変化に対応した見直し	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・都市計画マスタープランの中間見直しを実施した(R6改定)。	・R6改定に基づく進捗確認に加えて、人口減少社会をはじめとした急激な社会情勢の変化に応じた対策や方針を検討していく必要がある。	・R6改定に則した進捗状況の確認を行う。 ・今後の社会情勢の変化に応じた対策や方針の検討を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金交付決定数:1件5区画(R7年度に繰り越し)	・R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 ・良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 ・R7年度も本補助金の活用が見込まれている。	・引き続き、使いやすい補助金としてPR活動を行い、丁寧な事前相談を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画道路整備事業【建設課】	本町小栗田線の整備促進、木津小千谷停車場線などの整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・木津小千谷停車場線事業が完了した(歩道整備、消雪パイプ布設替、道路改良)。 ・本町小栗田線残区間の歩道整備を県に要望した(継続)。	事業完了により、快適な利用が見込まれる。	引き続き、地域の必要性に応じた街路網の整備を検討する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	41
総合計画ページ		P.96	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	2	国土調査の推進
施策の基本方針	■ 計画的かつ効率的な調査の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
地籍調査進捗率	%	26.48	26.69	26.77	26.84	26.97	27.02	99.8	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

・地籍調査の成果から修正された登記簿と、現代の測量技術を用いて作成された公図(地籍図)が法務局に備え付けられることにより、土地境界の保全や課税の公平性、公共事業の計画・推進が期待される。さらに近年では、災害復旧の迅速化が図られることで、有用性が高まっている。 ・土地の取引が比較的多い地区の地籍調査を実施することにより、将来の土地の利活用において土地の測量調査の省力化や効率化が期待できる。
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国土調査事業【建設課】	国土調査法に基づく地籍調査	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・第33計画区(千谷川1～2・城内1～2・本町1・元町の一部)の原図や地籍簿、地籍図を作成し、成果を確認した。 ・第35計画区(城内2)の現地境界立会や測量を行った。 ・第34計画区(千谷川2・4の一部)の事前調査により調査図等を作成した。 ・R6能登半島地震発生前の測量成果データを使用するためには再度検証測量を実施する必要があり、第31-2計画区(土川1・平成1～2・本町2の一部)及び第32計画区(本町1・城内1・元町・日吉2の一部)について、座標補正・検証測量業務を実施した。その結果、全ての点が許容範囲であったため、測量成果データを使用して国県の認証請求を申請することが可能になった。	・能登半島地震発生前の測量成果データの検証測量業務を実施したことにより、調査済みの第31-2計画区・第32計画区・第33計画区について順次、国県へ認証請求を行う必要がある。 ・検証測量を実施した3地区は現地測量をR3～5年中に実施しているため、現在まで所有者等の変更が多々生じており、国の認証承認完了後、登記替えの手続きをする際に、最新の登記情報に合わせて申請する必要がある。 ・地積の小さい土地が多い市街地における調査であるため、進捗率の伸び率が小さい。	・国が策定した国土調査事業十箇年計画に基づき、県が作成する事業計画のもと、確実な事業進捗を図る。 ・第31-2計画区・第32計画区・第33計画区における国県への認証請求の申請を順次行う。 ・次期十箇年計画の策定に向けて、東小千谷地区の具体的な計画策定を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	42
総合計画ページ		P.98	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	1	危機管理体制の強化
施策の基本方針		■ 中越大震災の経験と教訓の継承 ■ 防災意識の啓発と組織強化 ■ 風水害に備える意識の啓発と情報発信 ■ 大規模災害の緊急応急対策や復旧作業のための体制強化 ■ 原子力防災知識の向上 ■ 各種計画・各種マニュアルの見直し ■ 防災施設整備の検討 ■ 耐震改修の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
自主防災会による訓練実施数	回	29	14	22	22	24	40	60.0	防災安全課
緊急情報メール配信サービス登録者数	件	4,824	5,412	5,494	5,541	5,586	5,500	101.6	防災安全課
戸建住宅の耐震化率	%	74.6	75.6	75.7	75.9	76.0	85.0	89.4	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
防災訓練実施事業【防災安全課】	総合防災訓練・地区別防災訓練・原子力防災訓練の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・自主防災会や消防団、防災関係機関の相互の連携強化と自助や共助による災害初動体制の強化を目的とした総合防災訓練(主会場:小千谷総合病院)を実施した。 ・降雪時の原子力災害を想定し、冬季に広域避難を伴う原子力防災訓練を実施した。	訓練参加者が自主防災組織の役員に偏る傾向があり、若者の参加を促す必要がある。 また、住民参加で避難所開設の実動訓練に取り組む必要がある。	自主防災会や消防団、防災関係機関の相互の連携強化と自助や共助による災害初動体制の強化を目的とした地区別防災訓練(吉谷地区)を実施する。
中越大震災ネットワークおぢや研修事業【防災安全課】	中越大震災ネットワークおぢやを通じた住家の被害認定調査などの研修の実施による災害時の対応力の向上と相互支援が可能となるネットワークの構築	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
6月と10月に会員向け研修会を開催した(実地研修会に152名、防災担当者研修会に41名が参加した。)。被災地において研修の成果が発揮されている。	会員数が91団体となり研修会の需要は高まっているが、事務負担が大きく、通常業務に影響を及ぼしている。	一部業務の外部委託を含め、負担軽減策を検討しつつ、例年の規模により研修会を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
(仮称)防災センター整備事業 【防災安全課】	備蓄倉庫や支援物資の集配場所、避難所、防災学習の機能を備えた防災施設の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・建築基準法第48条第3項ただし書き許可に関する公聴会を行い、県に申請し許可を受けた。 ・実施設計が完了し、着工した。	・工事は計画どおり進捗している。 ・備蓄倉庫の物資及びそなえ館部分の展示物のレイアウトや施設の運営体制を決定しなければならない。	・施設整備では、引き続き本体工事の期限内完成を目指すとともに、外構及び備品の整備を同時に進める。 ・運営面では、そなえ館を含む運営体制の検討を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
木造住宅耐震診断・改修・設計等補助事業【建設課】	木造住宅耐震診断費補助、耐震改修設計・工事費補助、部分補強費補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助事業申請件数 7件 (耐震診断5件、耐震改修設計・工事費補助2件)	・申請件数は過去5年間で最も多く、能登半島地震の発生による住宅への安全意識の向上がみられる。 ・対象建築物の所有者の多くが高齢者であり、耐震化への意欲が低いことや資金面が要因となり、耐震化率の急激な上昇までにはつながっていない。	耐震性が不足している可能性がある木造住宅の所有者に対して、耐震補助制度について周知するなど、木造住宅の耐震化に向けた働きかけを行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	43
総合計画ページ		P.101	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	2	消防・救急体制の充実
施策の基本方針		■ 消防車両、装備、消防施設の充実と関係機関との連携 ■ 住宅防火対策の推進 ■ 救急体制の強化 ■ 消防団員の確保と活動しやすい環境の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
火災出火率／1万人	件	4.26	2.64	2.67	2.42	2.47	2.56	-	消防本部
出火件数	件	15	9	9	8	8	9	-	消防本部
死傷者数	人	4	2	1	2	2	0	-	消防本部
死傷者数(死者数)	人	0	1	0	0	0	0	-	消防本部
住宅用火災警報器設置率	%	87.0	81.0	85.0	77.0	84.0	98.0	85.7%	消防本部
住宅用火災警報器設置率(条例適合設置率)	%	65.0	62.0	58.0	60.0	62.0	95.0	65.3%	消防本部

※住宅用火災警報器設置率は、条例適合設置と一部設置を含むものをいい、条例適合設置率は火災予防条例に基づき設置が義務付けられている住宅部分すべてに設置されているものをいう。

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
消防施設整備事業【消防本部】	消防車両などの充実、通信指令施設の更新、消防水利施設の設備、広範囲大規模火災対応訓練の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・消防団積載車(塩殿)1台、消防団ポンプ車(船岡)1台、災害対応特殊消防ポンプ自動車(消防本部)1台を更新した。 ・耐震性貯水槽(元中子)1基を新設し、消防力の充実を図った。	広範囲大規模火災対応のため、長岡消防との合同訓練や小千谷市総合防災訓練を実施したことで、自主防災会、消防団、魚沼地区生コン組合及び小千谷重機との防災力の強化を図ることができている。	・引き続き、長岡消防との合同訓練を実施し、広域災害に備える。 ・小千谷市地区別防災訓練(西地区:吉谷)では、地元自主防災会と消防団が連携した訓練を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅防火対策推進事業【消防本部】	住宅用火災警報器の適合設置率の向上、住宅防火モデル地区の指定、高齢者に対する防火指導	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・住宅用火災警報器の条例適合設置率の向上に向け、住宅防火モデル地区(上ノ山)に対して説明会を実施した。 ・市ホームページや広報誌、「わが街NAVI」等を活用し、普及啓発活動を行った。	・住宅用火災警報器の設置率向上が急務である。 ・設置から10年以上経過している機器の更新や定期的な点検について、市民に対して周知する必要がある。	北陸瓦斯株式会社と「火災予防啓発の連携に関する協定」を締結し、更なる条例適合設置率の向上のため、市ホームページへの掲載や出前講座等を活用した普及啓発活動を展開する。

事業名【担当課】	事業概要	
救急業務高度化推進事業【消防本部】	救急車・高度救命資器材の充実、救急(救命)講習の推進、救命サポート事業の促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・救急講習会(普通救命講習13回241名、救急講習42回796名)を開催した。 ・救命サポート事業については、市内120事業所から賛同をいただいている。	・救急講習会の開催回数及び受講者数が増加した。 ・救命サポート事業登録事業所数は、R5年度と同数を維持しているが、当該事業の趣旨について、再度各事業所等に周知する必要がある。	・更なる救命率の向上のため、正しい知識と技術を習得できるように各種講習会を開催し、応急手当普及啓発に取り組む。 ・市ホームページへの掲載等により、救命サポート事業の普及促進を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
消防団整備事業【消防本部】	消防団員の加入促進、活動環境の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・2ヶ年計画で消防団員活動服を15年ぶりに更新した。高視認性活動服の導入により、夜間活動時等の安全性が向上し、消防団員のイメージアップにもつながった。 ・消防団員実員数562名 (R7年3月31日時点、前年比23名減)	消防団員数の減少に歯止めがかからず、地域防災力の低下が懸念されるため、PR活動によるイメージアップや事業内容等の見直しを実施し、団員の負担軽減を検討する必要がある。	・SNSや市役所、大型商業施設の電子掲示板を活用して、消防団員のPR活動を実施する。 ・R8年度から施行される第五次消防団整備計画に向けて、条例定数や組織編成、事業内容等の見直しについて計画を策定する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	44
総合計画ページ		P.103	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	3	交通安全と防犯の推進
施策の基本方針	■ 交通安全の推進 ■ 交通安全施設の整備 ■ 防犯の推進 ■ 消費者行政の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
交通事故発生件数	件	54	47	29	41	45	50	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(死者)	人	3	0	0	1	0	0	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(傷者)	人	62	57	37	46	49	60	-	防災安全課
消費生活相談の開設日数	日	240	240	240	240	240	240	100.0	市民生活課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
交通安全推進事業【防災安全課】	交通安全運動の実施、交通安全教室の実施などの啓発活動	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全運動や交通安全教室を実施し、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を促進した。	R6年に発生した交通事故のうち、高齢者の死傷事故が4割以上を占めているため、今後も高齢者に対する交通安全活動に注力する必要がある。また、自転車乗車用ヘルメット着用の努力義務化について、周知啓発する必要がある。	各種交通安全運動などの機会に周知啓発を実施するほか、引き続き交通安全教室を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
交通安全施設整備事業【防災安全課】	カーブミラー資材支給、道路区画線整備、ガードレール設置・修繕	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全協会各支部から延べ14件のカーブミラー資材支給申請があり、支給を行った。	引き続き、交通安全協会等関係機関と連携し、危険個所の改善を行う必要がある。	交通安全協会等関係機関と連携し、カーブミラー資材支給等を通して、危険個所の改善を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
防犯対策事業【防災安全課】	防犯灯設置のための補助、通話録音装置の貸与、犯罪被害防止のための啓発活動	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施し、犯罪被害の防止のための啓発を進めた。 ・犯罪被害者等見舞金支給制度を実施した。	特殊詐欺被害の防止に努めているが、新たな詐欺手口について知識を得ることや周知をしていくことが求められている。	引き続き、防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施する。また、市内で不審電話等が発生した際にSNSやHPを活用し、迅速な注意喚起に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
消費者行政事業【市民生活課】	消費生活相談・無料法律相談の開設、消費生活被害防止のための啓発活動	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・70件の消費生活相談に対応した。 ・高齢者を対象とした啓発講座をいきいきサロンやデイホームなどで7回開催した。 ・市内の高校生及び「おぢやつつみwithWISH.」事業利用の若年層を対象に啓発冊子の配付を行った。	・相談件数はほぼ横ばいで推移している(R4年度78件、R5年度63件、R6年度70件)。 ・SNS広告をきっかけにした通信販売の相談が増加している。 ・高齢者や若年層といった脆弱な消費者への啓発に引き続き注力する必要がある。	・新たなWeb相談フォームも含め、消費生活相談窓口のさらなる周知を行う。 ・高齢者や若年層の被害防止のための啓発活動に加え、相談件数の多かった40代や50代等の中間年齢層への啓発にも取り組む。 ・通信販売の利用方法やSNSによる詐欺被害防止の啓発に取り組む。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	45
総合計画ページ		P.105	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	1	自然環境との共生
施策の基本方針		■ 自然や生態系の保全と啓発 ■ 快適な生活環境の保全と創造 ■ 環境に関する調査・監視の実施 ■ 地球環境に関する啓発 ■ 有害鳥獣対策の推進 ■ 省エネルギーの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
森林の保全運動参加者数	人	349	295	350	316	354	300	118.0	農林課
省エネ設備(LED照明)導入施設数	施設	9	9	9	10	11	11	100.0	建設課
多自然型水路の整備延長	m	2,813	2,835	2,835	2,835	2,835	2,900	97.8	建設課
小千谷猟友会会員数	人	18	18	19	21	20	18	111.1	環境共生課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	環境基本計画の年次報告作成と公開、環境意識の啓発	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・年次報告書「小千谷市の環境」を小千谷市環境審議会委員の意見を踏まえて作成し、公表した。 ・広報誌や出前講座を通じて、環境に対する意識啓発を図った。	「小千谷市の環境」等において現状分析を行い、課題を明確にしたうえで、適切な媒体を活用した意識啓発を図る必要がある。	引き続き、環境基本計画に基づき関係課による環境保全や環境意識の啓発等の事業を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
省エネルギー設備導入推進事業【環境共生課】	公共施設における省エネルギーの推進、低燃費・低排出ガスの公用車の導入	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R6年度は総合体育館の照明のLED化を進めた。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる省エネの取組が必要である。	・順次、公共施設の照明のLED化を進める。 ・低燃費、低排出ガスの公用車導入については、車両更新時に電気自動車への更新を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
環境うるおい事業基金事業 【企画政策課】	信濃川の河川環境の維持向上など、環境との調和を図るための事業の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市民生活と環境との調和を図るため、基金を活用して環境保全対策事業などを実施した。 ・事業数:10事業	河川環境をはじめとした自然環境の維持向上や環境との調和を図るために、必要な事業を実施することができている。	引き続き、基金を活用して環境保全対策事業等を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
有害鳥獣対策事業 【農林課/環境共生課】	関係機関との連携による、有害鳥獣の捕獲、駆除を行う人材の確保・育成に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【農林課】 ・わなや銃器による駆除を行い、イノシシ21頭、サギ類1羽、カラス54羽を捕獲した。 【環境共生課】 人材の確保や育成に対する支援としてR5年に創設した「小千谷市有害鳥獣捕獲担い手緊急確保事業補助金」に1件の申請があった。	【農林課】 ・目撃情報及び被害情報の件数と比較して、捕獲、駆除の件数が少ない。 ・イノシシなどによる農作物被害が懸念される。 【環境共生課】 補助金の創設が新たな担い手の確保につながっているが、若手の人材確保や育成には時間を要する。	【農林課】 引き続き、関係機関との連携により適正かつ計画的な有害鳥獣の捕獲や駆除を行う。また、研修機会の提供等を図り、今後も継続して人材の確保や育成に努める。 【環境共生課】 ・関係機関との連携のもと、R5年度に創設した補助金について継続的に周知を行い、更なる人材の確保や育成に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	46
総合計画ページ		P.108	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	2	資源リサイクルの推進
施策の基本方針	■ ごみの減量化と再資源化の推進 ■ 不法投棄対策の推進 ■ 衛生施設の適正管理と今後の基本方針策定	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標		単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
ごみ 排出 量	燃やすごみ	t	11,050	10,881	11,156	10,623	10,437	7,988	-	環境共生課
	埋め立てごみ	t	838	849	804	771	705	574	-	環境共生課
	資源ごみ	t	2,149	1,982	1,960	1,808	1,740	2,589	-	環境共生課
	計	(A) t	14,037	13,712	13,920	13,202	12,882	11,151	-	環境共生課
資源物 集団 回収 量	古紙類	新聞	t	170	129	134	99	86	29.1	環境共生課
		雑誌・チラシ	t	245	183	183	132	122	28.6	環境共生課
		ダンボール	t	98	86	89	71	66	38.6	環境共生課
		牛乳パック	t	1	0	0	0	2	0.0	環境共生課
		計	t	514	398	406	302	274	30.6	環境共生課
	金属類	アルミ	t	2	1	1	1	1	33.3	環境共生課
		スチール	t	1	1	1	1	2	50.0	環境共生課
	計	t	517	400	408	304	276	900	30.7	環境共生課
古紙 分別 回収 量	新聞	t	119	133	122	122	115	202	56.9	環境共生課
	雑誌・チラシ	t	237	218	207	206	186	403	46.2	環境共生課
	ダンボール	t	115	125	120	126	116	195	59.5	環境共生課
	計	t	471	476	449	454	417	800	52.1	環境共生課
一人1日あたり排出量※1		g	1,099	1,109	1,140	1,095	1,091	900	-	環境共生課
リサイクル率※2		%	18.4	17.1	16.5	16.0	15.1	23.0	65.7	環境共生課

※1 一人1日あたり排出量...ごみ排出量(A)÷年度末人口÷年間日数

※2 リサイクル率...資源化量÷ごみ排出量(A)×100

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ごみ減量化・再資源化事業【環境共生課】	3R運動、古紙の分別回収、おちやのごつつお食べ切り運動、資源物集団回収に対する支援、生ごみ処理機器の購入に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・資源物集団回収の登録団体数は33団体で、延べ100回活動し、古紙類274.2t、金属類1.4tの計275.6tを回収した。 ・3R運動については、ごみそのものを減らすため、様々な媒体で取組を周知している。 ・古着や靴、鞆、食器類等のリサイクル回収を2回行い、古着類を12.2t、食器類を5.1t回収した。 ・おちやのごつつお食べ切り運動は、旅館組合及び飲食連合会合へのポスター掲示依頼と、市HPでの啓発により実施した。 ・生ごみ処理機器購入費補助については、電動生ごみ処理機17台と堆肥化容器4台の購入に対して補助金を交付した。 ・不要品をリユースに出すことによる廃棄物の抑制を目的に、マーケットエンタープライズと連携協定を締結した。	・資源ごみも含めたごみ排出量は2年連続で減少した。 ・資源物集団回収では、R5年度と比べ登録団体数が1件増えたものの、回収量は1割近く減少している。古紙分別回収量も1割近く減少し、その背景に高齢化・デジタル化による新聞・雑誌離れが考えられる。 ・古着等のリサイクル回収は古着、食器とも前年に比べて増加した。 ・生ごみ処理機器購入費補助金の申請件数は前年度に比べ、16件増加した。補助対象要件の緩和や小売店のPRなどが効果があったと考えられる。	・ごみの増減については、社会情勢や人口動態によっても左右されるため、引き続き、ごみの減量化とリサイクルの推進につながる意識啓発を様々な媒体を活用して実施する。 ・「紙離れ」も考えられることから、リサイクルの品目や収集の方法について研究し、よりリサイクルを推進する。 ・事業系ごみが減少しないことがごみ総排出量の底上げにつながっていることから、事業所に対する啓発を強化する。

※3R運動…Reduce(リデュース:ごみの発生を抑えること)、Reuse(リユース:物を繰り返し使うこと)、Recycle(リサイクル:ごみを資源として再利用すること)に取り組むこと

事業名【担当課】	事業概要	
環境衛生向上事業【環境共生課】	ごみ収集場所の整備に対する補助、不法投棄やごみの野焼きの監視、ごみゼロ運動	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・ごみ収集場所5か所に対して補助金を交付した。 ・不法投棄巡回パトロールを実施したほか、衛生班長連絡協議会と連携して不法投棄実態把握調査を実施し、原状回復に努めた。 ・野焼きに関して、禁止の啓発や関係機関と連携して現場指導を行った。 ・4月と5月の最終日曜日(一斉清掃行動日)にごみゼロ運動を実施し、5,875人の参加があった。また、その他の日(4～11月まで)にも4,173人の参加があり、年間で合計10,048人の参加があった。	・環境衛生向上のために様々な手法で意識啓発を図り、環境美化につなげることができている。 ・大小問わず、不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、関係機関と連携し、減少につながる取組を実施する必要がある。 ・転入者や外国人が増加し、ごみの分別が正しく行われずごみ収集場所(ステーション)に置いて行かれたごみが山積み状況となり地元住民の負担やトラブルが増加している。	・不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、パトロールの強化や意識啓発を工夫する等、減少につながる取組を実施する。 ・ごみ分別マニュアルや、外国語版ごみ分別表を紹介しごみの出し方の広報を続けていく。

事業名【担当課】	事業概要	
衛生施設整備事業【環境共生課】	ごみ・し尿処理施設の設備更新、焼却灰などの最終処分委託、施設整備基本方針の策定	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・R元年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、焼却処理施設及び不燃ごみ処理施設の計画的な維持修繕を実施した。 ・し尿処理施設維持修繕については、H24年3月に策定した長寿命化計画に基づき、維持修繕を行った。 ・焼却灰や不燃残渣については、全量を県外の最終処分場に委託搬出した。 ・焼却処理施設基本構想に基づき、候補地選定を行った。	・日常的に各処理施設の設備の営繕に努め、概ね良好な状態を維持している。 ・老朽化が著しい衛生センター清流園の今後の施設整備方針について、検討する必要がある。 ・焼却処理施設基本構想に基づき、候補地選定を行ったが、地元住民への丁寧な説明を続ける必要がある。	・引き続き、長寿命化計画等に基づく施設維持に努める。 ・次期焼却処理施設基本構想に基づく候補地選定の結果を受け、候補地住民の同意を得るとともに、一般廃棄物処理基本計画等の策定を進める。 ・清流園の今後を検討するためにも、し尿処理基本構想を策定する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	47
総合計画ページ		P.111	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	3	再生可能エネルギーの推進
施策の基本方針	■ 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入 ■ 再生可能エネルギーによる地域産業の活性化 ■ 環境に関する意識の醸成	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
公共施設における再生可能エネルギー導入施設数	施設	1	1	2	2	3	3	100.0	環境共生課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
再生可能エネルギー導入推進事業 【環境共生課】	公共施設・地域産業における再生可能エネルギー設備の導入、環境に配慮した公用車の導入、雪冷熱を活用した地域産品ブランド化と都市間交流の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
ひと・まち・文化創造拠点「ホントカ。」に、地中熱と貯雪を利用する空調設備及び太陽光発電設備を導入した。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる再エネの導入が必要である。	地中熱利用設備の普及に向け、既設消費井戸を活用した地中熱利用システムの導入可能性調査を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	再生可能エネルギーに関する学習・教育機会の充実	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県と連携し、「しゃっこいまつり」でブースを出展し、参加者に脱炭素の意識啓発を行う予定だったが、台風によりイベントが中止となった。	・再エネ設備の導入効果を市民や事業者等にPRする必要がある。 ・個人でもできる脱炭素の取組を周知する必要がある。	・再生可能エネルギー設備の導入効果をPRし、理解促進を図る。 ・新潟県と連携し、市民に向けた啓発事業を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	48
総合計画ページ		P.113	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	1	冬期間交通の確保
施策の基本方針	■ 機械除雪体制の整備 ■ 消雪パイプリフレッシュ事業の推進 ■ 消雪パイプ整備事業の実施 ■ 流雪溝の安定使用のための対策の推進 ■ 雪崩危険箇所における安全対策の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
消雪パイプ布設替え延長(H21からの累計)	施設	14.2	16.0	16.6	17.2	17.4	19.0	91.6	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

消雪パイプのノズル等の修繕 23,227,193円

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
除雪機械更新事業【建設課】	ロータリ除雪車などの更新	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
更新は行わず、定期整備のみ実施した。	購入から30年が経過し、経年劣化が進んでいる除雪ドーザが2台あり、除雪作業及び維持管理に不安を感じている。	引き続き、除雪機械の更新計画を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
消雪パイプ整備事業【建設課】	消雪パイプ未整備路線における新設	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
新規布設532m 49,028,100円 (山本山本線、山寺幹線、岩沢菅沼線)	・利用組合等が新規に井戸を削井し、水量を確保した上で市が消雪パイプを布設している。 ・既設路線のうち、交差点部など雪の消えが悪い箇所のメインパイプを増設している。	交差点部など雪の消えが悪い箇所について、メインパイプ増設を実施する予定である。

事業名【担当課】		事業概要	
消雪パイプリフレッシュ事業【建設課】		経年劣化した消雪パイプの布設替え	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)		②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
布設203.9m 15,843,300円 (宮ノ下1号線、稲場4号線)		計画的に消雪パイプリフレッシュ事業(布設替)を実施している。	本町山本山線の消雪パイプリフレッシュ事業を実施する予定である。

事業名【担当課】		事業概要	
融雪施設整備助成事業【建設課】		消雪パイプの電気料や消雪用井戸の掘替えなどに対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)		②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
電気料 340件 46,746,000円 井戸掘替え等13件 27,184,000円		予算計上外の新規の井戸掘替え等の要望については、次年度に予算を確保し対応している。	予算の計上をしていない井戸のポンプ交換等の要望については、優先順位をつけて実施する。

事業名【担当課】		事業概要	
流雪溝安定使用対策事業【建設課】		取水障害対策や送水管更新などの促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)		②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・JR導水の空気弁不良箇所、エア抜き管を新設した。 ・漏水した土川揚水機場揚水管の管更生を行った。		耐用年数を超えてポンプや管路を使用しており、老朽化が進んでいるが、その取替えには高額な費用がかかるため、不具合の出た箇所を優先的に修繕している。	・ポンプや管路で不具合の出た箇所を修繕していく。 ・新しいひ生揚水機場が供用開始となるが、元町揚水機場において取水不良が生じていることを県に伝えて、早期建替えにつなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	49
総合計画ページ		P.115	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	2	雪国生活の充実
施策の基本方針	■ 雪と親しみ、雪と共生する意識の醸成 ■ 克雪住宅の普及促進 ■ 高齢者対応型投雪口の整備 ■ SOS雪おろし支援事業における作業会員の確保	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
※一戸建住宅数:9,946戸									
克雪住宅普及率(補助制度利用件数)	件	2,771	2,821	2,844	2,860	2,881	3,100	92.9	建設課
克雪住宅普及率	%	27.9	28.0	28.0	28.0	29.1	31.2	93.3	建設課
高齢者対応型投雪口設置数	か所	399	420	445	469	485	450	107.8	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
克雪フェア開催【建設課】	克雪フェアの継続実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
台風10号の影響で、イベントの開催は中止となった。	利雪や克雪に対する意識啓発をより促すイベント内容の検討が必要である。	・(仮称)防災センターの整備を行っているため防災公園における開催が困難である。おちやまつりとの相乗効果が得られるような会場の選定を行う。 ・利雪や克雪に対する意識向上をねらい、時勢のニーズにあったイベント内容の見直し、充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
克雪すまいづくり支援事業【建設課】	融雪型、落雪型、耐雪型などの住宅屋根の整備に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助申請件数:21件 (融雪式2件、落雪式17件、耐雪式2件)	暖冬小雪傾向にあるなか、屋根雪処理に対する意識が低下しており、豪雪時の屋根雪下ろしの危険性について周知を図る必要がある。	・屋根雪下ろし時の危険性を含め、克雪住宅化の必要性を発信する。 ・引き続き、制度の周知を図り、事業を推進していく。

事業名【担当課】	事業概要	
除雪支援事業【福祉課】	低所得者の高齢者世帯、母子世帯、障がい者世帯などに対する除雪サービス券の交付などの支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
【高齢者世帯】 ・高齢者世帯への除雪援助 対象世帯 374世帯 実施世帯 306世帯 延実施世帯 406世帯 【障がい者世帯、母子世帯】 社会福祉協議会での実施事業となる。 ・障がい者世帯への除雪援助 対象世帯 16世帯 実施世帯 13世帯 延実施世帯 19世帯 ・母子世帯への除雪援助 対象世帯 3世帯 実施世帯 2世帯 延実施世帯 2世帯	・民生委員や児童委員と連携し、支援が必要な世帯の把握に努める必要がある。 ・高齢者ひとり世帯や高齢者世帯は増加傾向にあり、引き続き除雪援助は必要である。 ・高齢者世帯等については、除雪業者一覧のリーフレットを作成し、配布した。除雪の依頼が可能な業者を周知することで、安全で安心な除排雪体制を拡充した。	・冬期間における生活の安全確保のため、自力で除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯、母子世帯などを対象として除雪支援を行う。 ・引き続き、高齢者世帯等に対して、作成した除雪業者一覧のリーフレットを配付する。
事業名【担当課】	事業概要	
高齢者対応型投雪口設置事業【建設課】	高齢者などが利用しやすい観音開き型の投雪口の設置	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
投雪口の設置調査を16箇所で行い、16箇所に観音開き型の投雪口を設置した。	近年、極端な降雪が続いており、設置要望が増えている。	設置基準を基に対象世帯を設定するとともに、各町内からの要望状況も踏まえて事業を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	50
総合計画ページ		P.118	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	1	移住・定住人口の拡大
施策の基本方針	■ 移住・定住情報の発信 ■ 移住に関するニーズの把握と移住者に対する支援 ■ U・Iターンの推進 ■ 地域おこし協力隊制度の活用	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
移住定住情報ポータルサイト閲覧件数	件/月	207	2,038	2,182	1,190	1,575	2,500	63.0	商工振興課
空き家バンク新規登録件数	件/月	7	10	11	17	38	10	380.0	商工振興課
空き家バンク成約件数	件/年	5	8	5	10	29	10	290.0	商工振興課
地域おこし協力隊受入者数	人	18	22	24	28	34	30	113.3	にぎわい交流課
地域おこし協力隊定住者数	人	15	17	19	21	25	25	100.0	にぎわい交流課
転入者に対する住宅取得補助件数	件/年	24	19	19	30	27	25	108.0	建設課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数※	人/年	-	107	159	150	234	40	585.0	商工振興課

※【照会企業数】R6年度:161社(R5年度:162社) 【回答企業数】R6年度:94社(R5:128社)

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
移住・定住PR事業【商工振興課】	移住定住情報ポータルサイトによる情報発信	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市ホームページ及びSNSを随時更新した(移住ポータルサイトはR3年度から市ホームページへ統合している。)	ニーズやターゲットに即した情報発信をすることや、ホームページの利便性の向上が課題となっている。	関連事業と連携しながら、ニーズに即した情報発信や使いやすいホームページへの改善を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
移住者・転入者支援事業【商工振興課】	移住サポーターの委嘱	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
移住サポーターを3名委嘱した(相談件数0件)。	・移住サポーター制度の周知が不足していることにより、制度の活用が進んでいない。 ・移住希望者の多様なニーズに即した支援体制や、役割の明確化などが課題である。	制度の必要性を検証するとともに、発信媒体(SNS)の見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
移住支援事業【商工振興課】	移住セミナー・移住相談会などの開催、移住希望者に対するマンツーマンでの対応	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
移住相談会・セミナーなどへの参加9回	移住検討者の移住目的は、地域性やインフラ、社会環境など、細分化かつ明確化されており、全国セミナーなどの総合相談会における成果や効果に課題がある。	U・Iターン施策の充実や就業支援施策の広報など、移住者目線での情報発信に努めるとともに、全国セミナー等参加の費用対効果を検証する。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家バンク運営事業(再掲) 【商工振興課】	空き家情報の提供と登録物件の斡旋	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・空き家活用のための家財道具等処分支援事業補助金を新設し、空き家バンクへの登録を促進した。 ・空き家新規登録物件:38件 ・空き家成約件数:29件	・移住や住替え要望が増加している。 ・高齢化や相続後の管理負担などを理由に、登録を希望する所有者が増加している。 ・購入した中古物件に大規模な改造を行うことで資産価値を高め、売却又は賃貸運営によって収益化していく投資が増加している。	引き続き、効果的な情報発信により物件の登録数の増加を図り、空き家利活用を促進させる。

事業名【担当課】	事業概要	
定住促進事業(再掲)【建設課】	転入者や子育て世代に対する住宅取得補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数 82件(うち子育て世代66件) ・新築住宅 49件(うち転入18件) ・建売住宅 9件(うち転入1件) ・中古住宅 24件(うち転入8件)	申請者数は目標値を超えた。引き続き、制度の周知に努めたい。	対象者へ確実に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。特に中古住宅購入者への周知が必要である。

事業名【担当課】	事業概要	
地域おこし協力隊推進事業 【にぎわい交流課】	地域おこし協力隊の活用による移住・定住促進事業	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・活動隊員11名 ・地域おこし協力隊退任後の定住率64.0% 【定住者16人/退任者25人(R7.3.31)】※企業連携型含む 【参考:全国平均68.9%(R6.3.31)】	隊員や受入れ団体と密なコミュニケーションを取り、良好な関係を築いている。	・引き続き、隊員が3年間の任期を全うするために、密なコミュニケーションを取る。 ・受入れ団体と相談しながら、募集内容の具体化を図る。 ・目に留まるPR活動を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
「おちや夢・ミライ応援団」による就労支援事業(再掲)【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・インターンシップ受入調査:市内企業162社 ・インターンシップ受入仲介:18名 ・おちやしごとと未来塾開催:1回	市外の高等教育機関へ周知を行ったことから、インターンシップの受入仲介がR5年度から7名増加した。	R6年度に引き続き、高等教育機関へ就職支援事業の周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業(再掲)【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関などとの連携により若者のU・Iターン就労を促進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・U・Iターン就職活動支援事業補助金申込:3件 ・長岡地域定住自立圏事業:4回 (マイナビ未来ビュー・インターンシップガイダンス・高校生のための企業フェス・就職ガイダンス)	・U・Iターン就職活動支援事業補助金の制度を拡充し、チラシ等を用いて周知を強化した。 ・長岡地域定住自立圏事業との連携により、広域的な市内企業の認知向上が図られた。	U・Iターン就職活動支援事業補助金の認知向上のため、企業ガイドブックや就職支援サイト、各種SNSを活用して周知を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	51
総合計画ページ		P.121	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	2	都市間交流の推進と関係人口の拡大
施策の基本方針	■ 関係人口の拡大 ■ 多様な都市間交流の推進 ■ 交流拠点の魅力の向上	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
教育体験旅行延受入者数	人/年	3,432	0	0	0	0	4,000	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行学校数	校/年	12	0	0	0	0	15	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行受入家庭登録世帯数	世帯	59	54	54	-	-	70	-	にぎわい交流課
小千谷クラインガルデンふれあいの里滞在型農園の利用区画数	区画	22	30	30	29	26	30	86.7	にぎわい交流課
市民の家年間利用件数	件	812	573	665	650	1,035	1,200	86.3	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	件	240	192	252	204	307	350	87.7	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	件	572	381	413	446	728	850	85.6	にぎわい交流課
市民の家年間利用者数	人	15,084	5,698	6,349	8,199	8,523	21,000	40.6	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	人	10,607	3,695	4,198	5,115	4,962	14,600	34.0	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	人	4,477	2,003	2,151	3,084	3,561	6,400	55.6	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷市支援団体設立支援事業【にぎわい交流課】	市内出身者やふるさと納税利用者などによる支援団体の設立、運営に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
おぢやLINK (instagramフォロワー867人、Xフォロワー164人)	杉並区などに住んでいる新潟県出身者となつなかりを作りながら、継続的に販売促進を行っている。	R5年度までは運営委託により支援していたが、R6年度からは(一財)小千谷市産業開発センターの自主事業として実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
農村都市共生事業【にぎわい交流課】	教育体験型交流やグリーンツーリズムによる都市との交流推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内の農業法人にて、明治大学生13名のファームステイ受け入れを行った。	受入態勢や受入サポートの強化	農業法人での体験受入等、実施可能な事業を継続していく。

事業名【担当課】	事業概要	
交流拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	市民の家やクラインガルテンふれあいの里の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度を進め方 (取組・改善策等)
施設の魅力維持のため、必要な設備等の更新や施設予約サイトの整備を実施した。	- 施設の老朽化に対応した計画的な修繕を実施する必要がある。 - 利用者に寄り添った運営方法を検討する必要がある。	長寿命化を図るため、設備更新を計画的に進めていく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	52
総合計画ページ		P.123	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	3	国際交流の促進
施策の基本方針	■ 国際交流団体との連携強化 ■ 国際交流による人材育成 ■ 在住外国人に対する支援 ■ 海外留学生との交流の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
国際交流促進振興関係補助制度の利用件数	件/年	1	0	0	4	4	5	80.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流推進事業 【にぎわい交流課】	国際親善交流事業や海外研修への参加に対する補助、ホストタウン事業の推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・市内国際交流団体主催事業への補助2件 ・海外留学を行う市内学生への補助1件13人	海外との行来が復活して事業が再開し、前年度(8人)と比べて、海外留学を行う市内学生が5人増加して13人となった。	引き続き事業を実施し、国際交流団体と連携しながら新たな取組の可能性を探る。

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業(再掲) 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内在住外国人に対して、生活に必要な情報の提供などを行った。	市内の外国人労働者の増加に伴い、企業側からの日本語学習の需要がかなり増えている。 R5 延べ156人 R6 延べ313人	公民館事業としては、市内に定住する外国人が主な対象者となることから、他課とそれぞれが担う役割について協議を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
海外留学生受入支援事業 【にぎわい交流課】	海外留学生の受入れに取り組む団体に対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市内に滞在する海外留学生が、小千谷市の情報発信を母国語で行う取組を実施した。	小千谷市の魅力を海外に発信する効果的な取組であり、継続的に実施する必要がある。	引き続き、事業を実施して小千谷市の文化を発信する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	53
総合計画ページ		P.125	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	1	市民協働のまちづくりの推進
施策の基本方針	■ 市民協働の意識啓発 ■ 中間支援組織の育成 ■ 事業実践における市民協働 ■ 公民館活動の充実	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
中間支援組織が支援する市民協働事業延件数	事業	3	0	0	0	0	12	0.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
市民協働意識醸成事業 【にぎわい交流課】	多様な広報媒体による意識啓発、市民協働ワークショップなどの開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・9月28日にオープンした「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」は、オープン2日間で延べ10,000人の来館者があった。 ・毎月第1日曜日には、「ホントカ。市」を開催し、市民の賑わいと交流の場を創り出している。 ・3月上旬には、当初の来館者目標である16.8万人を突破した。 ・可動式書架の特性をもつフロートエリアは、「ホントカ。市」や講演会、郷土資料の展示に活用され、市民の集いの場となっている。	・オープンから半年で、市や市民等が主催する事業の件数が20回、出店団体数(個人含む)が300団体を超え、このうち、市外からの事業出店者は6割であった。新たな小千谷市の賑わいの拠点に、市内外から人が集まり始めている。 ・駐車場数が限られており、イベント開催時の駐車場整理や誘導に課題がある。 ・にぎわいエリアと図書を楽しむエリアの差別化を望む声を始め、様々な市民の声を聴く機会が多くなっている。	・引き続き、リビングラボを活用し、施設プログラムや市民プロジェクトを展開していく。 ・「ホントカ。市」の出店やワークショップ開催等により、市民の主体的な参画を促し、市民の多様な活動を創出していく。

事業名【担当課】	事業概要	
中間支援組織支援事業 【にぎわい交流課】	地域づくり支援団体が協働の当事者を支援するための活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
補助制度や事業実施に関する相談を19件受けた。	地域活動を行う各種団体からの相談体制を維持する必要がある。	引き続き、にぎわい交流課に相談窓口を設置して事業を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業(再掲) 【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 ・講師に関する情報提供や事業内容の相談に応じた。	・分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 ・多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。	引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支え合い事業(再掲)【福祉課】	生活支援体制の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・地域の高齢者の生活の現状把握と地域ごとの組織の立ち上げを支援するため、町内組織や民生委員・児童委員など地域の関係機関と話し合いを行った。 ・地域支え合いの理解と組織立ち上げを支援するために第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、町内会等の各種団体への啓発やネットワークづくりを行った。 ・市内地域支え合い組織の一覧表「地域支え合いマップ」を更新し、関係機関や市民への普及啓発を行った。	・地域の実状に応じて、高齢者の生活ニーズに則した買い物や移動支援サービス等を行っている。 ・地域支え合い組織について、認知度や理解促進に向けた取組が必要である。	・高齢者の生活ニーズに対応するため、地区組織や介護、障がい等の関係機関と連携を図る。 ・地域支え合い組織の認知度向上に向けて、市民や関係機関に支え合い活動の周知を図る。また、支え合い組織未設置の町内への働きかけや支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	54
総合計画ページ		P.127	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	2	地域力を活かした市民活動の推進
施策の基本方針	■ 町内会などに対する支援 ■ 住民団体に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
中間支援組織に対して相談を行った市民団体数	団体	49	31	31	26	19	70	27.1	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
町内集会施設等整備事業 【にぎわい交流課】	町内集会施設などの新設や大規模修繕などに対する補助	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
施設修繕補助を実施した(9団体、計10回)。	町内会施設の老朽化に対応するため、施設維持を支援していく必要がある。	継続して支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
市民協働支援事業【にぎわい交流課】	地域課題を解決する活動や地域を活性化する活動に対する支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市民協働支援事業補助金利用:5件	市民協働支援事業補助金の更なるPRを図り、地域活性化活動の支援を強化する必要がある。	地域や任意団体が取り組む行事や活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	55
総合計画ページ		P.128	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	1	観光施設の整備と活用
施策の基本方針	■ 観光拠点施設の整備 ■ 山本山の資源連携推進 ■ 遊歩道の利活用	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
観光拠点施設の来場者数	人	270,134	153,299	197,270	188,625	391,294	300,000	130.4	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【にぎわい交流課】 R6.9.28～「ホントカ。」(ひと・まち・文化共創拠点) 供用開始による観光拠点施設の来場者数の増加。
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	サンブラザ、錦鯉の里、ちぢみの里、おちゃ～るの基幹的設備の更新	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
各施設の老朽化した設備等の入替を行い、施設の安定供給に努めた。 【ちぢみの里】 ・漏水箇所の修繕 ・パラペット等の躯体の修繕 ほか ※R6年は、温浴施設としての継続について検討を行ったため、既存施設の計画的な改修は実施しなかった。 【サンブラザ】 ・空調熱源設備入替工事 ほか 【錦鯉の里】 ・屋外鑑賞池漏水修繕工事 ほか	・各施設とも老朽化による設備の入替が順次必要な状況にある。 ・適正交換時期を超過しているものや故障した設備等を優先的に、緊急度の高いものから順次更新している。 ・適宜、小規模な修繕で対応しているものもある。	・引き続き、更新の優先順位を決めつつ、機能更新を検討しながら、効率的な設備改修に努める。 ・特にR7.3.31に営業終了となったちぢみの里については、施設のリニューアルについて検討を進めるとともに、適切に維持管理を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
山本山資源連携・誘客促進事業 【にぎわい交流課/農林課】	自然を活かした施設、資源連携強化と誘客情報発信強化	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
【にぎわい交流課】 山頂広場や沢山ポケットパークなどの見晴らしが良い場所において、草刈りを行った。また、山本山高原全体のホームページをリニューアルし、自然現象や花畑の開花状況の情報発信を強化したほか、おちゃめるやクラインガルテン等の施設をリンク付けし、誘客促進に努めた。 【農林課】 ・春季は約1.8haに菜の花を咲かせ、夏季は約2.4haにひまわりを咲かせた。誘客のために菜の花、ひまわりの最盛期に仮設トイレを設置し集客に努めた。(ひまわり開花期の来訪者 約11,000人/9日間) ・実証実験として実施した「天空のひまわり畑in山本山高原」では、シャトルバスの運行や市内飲食店と連携したクーポン付チラシの配付等を行った。	【にぎわい交流課】 山頂広場の有効活用や自然景観の維持管理を引き続き行う必要がある。また、魅力の発信を農林課やおちゃめる、クラインガルテンと連携して行っていく必要がある。 【農林課】 ・来訪者は増加している。今後も山本山の景観を生かす設備や取組を検討し、山本山の魅力発信に努める必要がある。 ・来訪者アンケートでは、花畑に対して好評の声もらい、誘客につながるコンテンツであると確認できた。今後も継続的に誘客促進事業を実施するには、市から観光協会又は実行委員会へ運営を移行する必要がある。	【にぎわい交流課】 引き続き、自然景観の維持管理を行い、農林課や関係各課と連携して山本山高原全体の魅力発信を強化していく。 【農林課】 ・山本山における菜の花やひまわり、そば畑の花等をPRし、誘客促進に努める。 ・ひまわり畑にインスタ映える撮影スペースを設置する。

事業名【担当課】	事業概要	
遊歩道活用事業【にぎわい交流課】	遊歩道整備とPR強化、遊歩道を活かした経済活動支援	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・各遊歩道の管理を地元団体へ委託し、安全管理と景観維持に努めた。 ・中部北陸自然歩道に指定されている箇所は、県と連携して修繕等保全を行った。	ウォーキングやハイキングが人気で利用者は多い。整備や維持管理による安全確保が必要であるが、昨今の大雪や自然災害等による看板等の老朽化や、関係団体の高齢化や担い手不足などが課題となっている。	・引き続き、地元団体と連携し、維持管理と点検を実施する。 ・看板等の修繕や撤去を積極的に行い、利用者の安全確保を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	56
総合計画ページ		P.130	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	2	祭りやイベントによる誘客推進
施策の基本方針		■ 誘客推進と観光ルートの設定 ■ 熱気球のパイロット養成と普及 ■ まつり行事と運営方法の見直し ■ 広域連携による祭りやイベント情報の発信 ■ 新たな観光情報発信と誘客推進 ■ 観光案内表示の整備推進 ■ 牛の角突き継承

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
観光入込客数	人	1,045,453	480,593	796,761	979,944	1,176,369	1,130,000	104.1	にぎわい交流課
観光ルート設定数	コース	4	9	9	9	10	6	166.7	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

※R6.9.28～「ホントカ。」(ひと・まち・文化共創拠点)供用開始による観光入込客数の増加。

3. 主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光プロモーション事業【にぎわい交流課】	関係機関との連携による誘客促進、SNSなどを活用した情報発信、観光ルートの増設と商品化、VRやARなどの動画コンテンツの制作と活用	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
- 小千谷市の観光PR動画を、関連事業や各種イベント会場でデジタルサイネージやVRゴーグルを利用して上映した。 - HPやSNS等を活用して、情報発信を行った。 - 外部団体や市内企業等に制作動画や画像の提供を行い、PRを促した。	- 関連事業やイベント等の機会が少なく、例年同じ場でのPRとなってしまう。 - VR動画や観光パンフレット等の画像が更新できていない。	- 大阪・関西万博に合わせて、大阪駅前のディーズスクエアにおいてPR活動を行う。 - 広域的なイベントの参加や観光パンフレットの更新等、より効果的な誘客促進に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
広域観光推進事業【にぎわい交流課】	関係機関や団体との連携による祭りやイベントなどのPR活動と情報発信	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
- おぢやまつりやおぢや風船一揆など、各関係団体と協力してイベントを実施した。 - 県や長岡固定住自立圏の構成市町村等と連携して、旅行者を対象とする市の観光施設のモニターツアーや商談会への参加を行った。	- イベント関係は、物価高騰や天候等に左右されるため、資金繰りが難しい状況である。 - 県広域で実施しているモニターツアーでは、紹介する施設や場所が限られており、ツアーのメインとして取り上げられず、通過型観光となっている。	- イベント関係は、天候に左右されない新たな内容等を模索し、収支にあった開催を目指す。 - 広域観光では、定番施設の見直しや新たな観光資源の開発を行い、県や県観光協会、他市町村に当市の見どころをPRしていく。

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業 （再掲）【にぎわい交流課/農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場を活用した地場産品や観光資源のPR活動実施	
①R6年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R7年度の進め方 （取組・改善策等）
・TOKYOTORCH桜まつりにおいて、にぎわい交流課では観光PRブースを出展し、農林課では錦鯉すくいや錦鯉パンフレットを配布した。また、桜まつり同日に多くの訪日外国人旅行者が利用する「JAPAN RAIL CAFE TOKYO」（東京駅周辺）において、にぎわい交流課では観光PRブースを出展し、農林課では錦鯉の水槽展示や錦鯉パンフレットを配布した。 ・SNS等を活用し、当市の魅力や常盤橋イベントの発信を行った。	・東京常盤橋の「錦鯉が泳ぐ池」の認知度は、依然として低い。単独イベントを行うにしても、トーチタワーが建設中であるため、TOKYOTORCHPark等の利用客の動線を確保することが困難な状況にある。 ・完成予定のR9年度末までは、工事による影響を踏まえたPR活動を行っていく必要がある。	・引き続きにぎわい交流課と連携ながら、工夫のある情報発信に取り組む。 ・常盤橋関連イベントに継続して出展する。 ・関連団体への働きかけを行い、物販の拡充を図る。 ・地場産農産物の販売も視野に、農業者へ出店を提案する。
事業名【担当課】	事業概要	
観光案内表示（公共サイン）整備事業 【にぎわい交流課】	誰にでもわかりやすい案内表示の整備	
①R6年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R7年度の進め方 （取組・改善策等）
目視による点検や降雪時の雪庇落とし等の維持管理を行い、安全確保に努めた。	設置による効果が低いものや標記デザインが見えにくいものがある。	・引き続き、安全確保のため、計画的に維持管理を行う。 ・効果の低い看板の撤去検討等を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
観光資源支援事業【にぎわい交流課】	文化財承継と事業運営団体支援、角突き牛確保支援	
①R6年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R7年度の進め方 （取組・改善策等）
牛の角突きは5月初場所開催後、11月の千秋楽まで計7回開催し、運営費や牛の購入費、牛の移動管理、勢子の育成促進について支援した。	・伝統文化の継承とともに、団体運営の自主財源の確保が必要となっている。 ・勢子の育成や牛持ちの減少など、後継者の確保が課題となっている。	闘牛会と連携し、後継者不足等の諸問題の解消に向けて、検討を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
熱気球のパイロット養成普及事業 【にぎわい交流課】	熱気球パイロットの資格取得や養成に対する支援、熱気球の普及のための試乗体験	
①R6年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R7年度の進め方 （取組・改善策等）
・おぢや風船一揆において熱気球試乗体験や各熱気球イベントに参加し、パイロット募集を実施した。 ・熱気球パイロット免許取得者を地域おこし協力隊として採用し、観光協会に配置した。	・気球団体の高齢化が進み、新規候補生の加入が少ない。試乗体験会や市内の学校等における普及活動など、若い人達をターゲットとする取組が必要である。 ・チーム内や団体間の連携、風船一揆を含めた熱気球事業の担い手（団体）育成や組織強化が課題である。	・観光協会に配置した地域おこし協力隊を中心に、試乗体験や体験学習等を通じて、若い世代や子ども達へ熱気球の魅力を伝える活動を展開する。 ・当市のPRの一環として、熱気球を活用した宣伝活動を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	57
総合計画ページ		P.133	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	1	持続可能な行財政運営
施策の基本方針	■ 行財政の効率化と市民サービスの向上 ■ 時代に即した行政組織の構築 ■ 人材育成と人事評価制度の効率的な運用 ■ 計画的な公共施設の管理 ■ 広報広聴機能の充実 ■ 情報システム基盤の整備	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
(掲載項目なし)									

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【企画政策課】 行政改革実施計画に基づき実施した取組 ①行政手続のデジタル化の推進、②スマート自治体の推進、③指定管理者制度の効果的な活用と公共施設の管理運営における民間活力の導入、④連携協定等による民間とのパートナーシップの推進、⑤行政課題に対応する組織の構築、⑥社会情勢に適応した人材の確保及び育成
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
行政改革の推進【企画政策課】	行政改革大綱に基づく実施計画の策定と進捗管理	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
行政改革実施計画に基づき、6つの取組項目を推進した(上記2(2)に記載)。併せて、令和7年度以降の新たな行政改革の大綱及びアクションプランを策定した。	取組項目の推進にあたり、行政改革推進委員会の開催や専門部会における中間ヒアリングなどにより進捗管理を行うことで、随時課題を整理しながら、取組を進めることが出来た。	・新たな行政改革大綱に掲げる4つの基本方針に基づいた4つのアクションプランを策定し、単年度での達成を目標に着実に進めていく。

事業名【担当課】	事業概要	
公共施設等総合管理計画の推進【企画政策課】	総合管理計画や類型別・個別施設計画に基づく公共施設の計画的な管理運営	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
個別施設計画の見直しを実施した。	一部の策定不能施設を除き、全施設の個別施設計画策定を完了した。	・個別施設計画の最終年度であるため、計画の改訂を実施する。 ・個別施設計画にあわせて総合管理計画も所要の改訂を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
定員適正化計画策定事業【総務課】	適切な人員管理のための計画策定	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R7～9年度に60歳に到達する職員を対象とした60歳到達後の働き方の意向調査結果や、R7年度の新採用職員数を踏まえ、R8年度の職員採用計画を策定した。	・一般事務職と専門職のいずれも採用試験の受験希望者が減少傾向にあり、必要な職員数の確保が難しい状況である。 ・現在の定員適正化計画について、定年引上げ制度を反映した計画を策定する必要がある。	・定年引上げを反映させた定員適正化計画の策定を行う。 ・社会情勢や業務量の変化、自己都合退職等の不確定要素も踏まえて、適切な人員配置ができるよう、R9年度の職員採用計画を策定する。

事業名【担当課】	事業概要	
市勢要覧作成事業【企画政策課】	本市の現状や将来構想をまとめた市勢要覧の作成	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度に作成した市勢要覧を転入者や市外からの行政視察来訪者などに配付した。また、市ホームページに日本語版と英語版の電子データを公開している。	小千谷を知らない方に歴史や文化、イベントを知っていただく機会となっている。他課との連携やインターネット(SNS)の活用で、さらに多くの方に目にしてもらう方法を検討する必要がある。	・転入者や視察来訪者への配付に加え、他課と連携して公務で市外・県外に出向く際に積極的に活用してもらうよう庁内で周知を行う。 ・インターネット(SNS)を活用して目にしてもらう機会を増やす。 ・R8年度中に付録資料の見直し(更新)が必要であるため、作成方法などを検討し、適切な予算計上を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
情報システム整備事業【企画政策課】	情報事務事業を効率的に遂行するための情報システム基盤の整備	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
市民サービス向上と窓口業務改善のため、ライフイベントに関係する手続きに「書かない窓口」サービスを導入した。システム間連携にRPAを活用することで、内部業務の改善を進めた。	窓口サービス向上のためには、事務の集約や各業務システムとのデータ連携について検討が必要である。 RPA、AI等のツール活用が進まず、業務効率化が十分ではない。	・窓口のワンストップ化可能な事務の検討 ・窓口改善のため、各システム間連携を検討 ・ツールを用いた業務改善の推進

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	58
総合計画ページ		P.137	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	2	効果的な広域連携
施策の基本方針	■ 広域的な自治体間連携の推進 ■ 効率的な一部事務組合などの運営	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
(掲載項目なし)									

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域定住自立圏による連携推進 【企画政策課】	長岡地域定住自立圏共生ビジョンの推進	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・圏域内の連携による取組項目に「地域おこし協力隊の合同研修」を追加した。 ・第4次共生ビジョンの策定に向けて、長岡市を中心とするワーキング部会や連絡調整会議、首長会議を実施し、相互の情報共有と連携を図った。	新規連携項目として「地域おこし協力隊の合同研修」が追加された背景として、着任後の人的ネットワークを拡げていく必要性があるが、着任先の区域内だけでは限りがあるため、広域に交流する機会の確保が課題として挙げられている。	・定住自立圏域内での地域おこし協力隊の合同研修等の実施により、交流の拡大や幅広い人脈を構築し、各市町の区域を超えた連携や、新たな活動の創出を進めていく。 ・新たに策定した第4次共生ビジョンのもと、各取組項目のKPI達成に向けて、各市町村と連携しながら推進していく。

事業名【担当課】	事業概要	
交流自治体連携フォーラムによる連携推進 【企画政策課】	杉並区を中心とする交流自治体との連携事業の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
群馬県東吾妻町で開催された9自治体による交流自治体連携フォーラムに参加し、首長による防災連携について意見交換を行った。	交流自治体連携については、各自治体の役割分担や緊急時にすぐ対応できる支援体制など具体的な連携方法の検討・実施が必要である。	災害時連携や地方創生の共通課題について検討・意見交換を行い、より強固な交流自治体のつながりを構築していく。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	59
総合計画ページ		P.138	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	3	人口減少対策
施策の基本方針	■ 少子化対策と子育て支援の推進 ■ 移住・定住対策の推進 ■ キャリア教育とU・Iターンの推進 ■ 本市出身者などで構成する組織との交流の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
(掲載項目なし)									

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【商工振興課】 「おちやつつみ WITH WISH.」送付事業 ・進学で親元を離れ市外で暮らす市内出身の学生を応援するため、小千谷産品を2回、653件送付した。 ・協賛企業一覧や企業ガイドブックなどの同封により、将来的なUターン者の増加を図った。 【建設課】 定住促進マイホーム取得補助金(R6:転入者27件(うち子育て世代23件)/全体申請82件) 【文化スポーツ課】 婚活支援事業(結婚希望者への出会いの場の提供) ・1組のカップルが成婚した。会員との面談では、きめ細やかなアドバイスを行った。 ・R5年度から十日町市のサポートセンターと広域連携を開始し、自治体の垣根を超えた①マッチング②イベント③情報発信を行ったことにより、会員の新たな出会いの機会を創出した。 ・イベントやマッチングを数多く行い、次年度へのアプローチを図った。 ※参考 R6年度:男女イベント4回、女子会・男性セミナー計6回、マッチング51回(うち十日町市との広域連携によるマッチング11回) R5年度:男女イベント5回、女子会・男性セミナー計7回、マッチング54回(うち十日町市との広域連携によるマッチング23回) R4年度:男女イベント6回、女子会・男性セミナー計8回、マッチング40回
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
(掲載項目なし)		
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R6	シートNo.	60
総合計画ページ		P.139	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	4	男女共同参画と人権の尊重
施策の基本方針	■ 男女行動参画の推進 ■ 男女共同の社会参画の活動支援 ■ 人権教育と啓発の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R6/R7)	担当課
「ハッピー・パートナー企業」登録企業数	企業	12	12	13	16	29	20	145.0	市民生活課
本市各種審議会などにおける女性委員割合	%	24.2	24.8	25.8	26.3	26.3	35.0	75.1	総務課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
男女共同参画推進事業【市民生活課】	(仮)第5次おぢや男女共同参画プランに基づく各種事業の実施、市民啓発講演会の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・9月29日に市民講演会「LGBTを理解する～日本社会の中でマイノリティであること～(講師:東 小雪氏)」を開催した(参加者89名)ほか、各種取組を実施した。 ・プロジェクト・チームOと連携し、「働きやすい環境の構築」を目指して、市民や企業の意識改革を促すセミナー(2回)や市内企業との交流会を開催した。また、女性が活躍しやすい職場環境づくりを推進するため、「ハッピー・パートナー企業認定制度」への登録を呼びかけ、女性活躍推進企業の見える化に取り組んだ。その結果、R5年度には16社だった認定企業数が、29社に増加した。	・男女共同参画の意識付けとなるような講演会やセミナー等を実施しているが、10～20代の若年層の参加者が少ないため、男女共同参画をより身近に、幅広い世代から関心を持ってもらえるようなテーマの選定や周知に取り組む必要がある。 ・女性活躍推進に対する企業や事業所の考え方は異なるため、市内企業全体の意識向上と改善の推進に引き続き取り組む必要がある。また、「ハッピー・パートナー企業認定制度」がR7年度で廃止され、新たにR7年4月から「新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度」が始まった。新制度の周知や認定に向けて関係機関と連携し、企業への働きかけを図る必要がある。	・男女共同参画事業として、6月28日に講演会、秋には地域セミナーの開催を予定している。引き続き、「おぢや男女共同参画プラン」に基づき関係機関や関係団体と連携しながら、取組を進める。 ・女性の活躍をさらに推進するため、庁内の関係課や市内企業と連携し、企業向けセミナーの開催を予定している。女性が働きやすく、活躍しやすい職場環境の整備に引き続き取り組むため、新たな制度の周知に努め、企業が認定を目指しやすいよう、伴走型の支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
人権教育・啓発推進事業【市民生活課】	市民啓発講演会の開催	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・12月7日に「2024人権講演と映画のつどい」を開催し、180人が参加した。第一部は「島崎藤村の『破戒』が生まれた背景～差別問題を考える～(講師:柳沢恵二氏)」と題した講演を行い、第二部は映画「破戒」を上映した。映画の上映会に先立ち、原作の解説の講演を組み合わせたことで、差別問題に関する聴講者の理解がより一層深まった。	・インターネットでの差別情報の拡散やLGBTQの方への人権侵害など、新たな人権課題が顕在化していることから、今後もより多くの市民に対して、周知や情報提供、学ぶ機会の提供等が必要である。	・「第2次小千谷市人権教育啓発推進計画(R6年度～R10年度)」に基づき、より多くの市民に対して、市民啓発講演会の開催など人権教育や啓発に向けた取組を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
人権教育・啓発推進事業【教育・保育課】	学校などにおける人権教育の実施	
①R6年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R7年度の進め方 (取組・改善策等)
・人権擁護委員による人権教室を実施し(小学校2校、中学校1校、保育園2園)、幅広い世代を対象に、それぞれの理解度に合わせた人権教育に取り組んだ。	・学校での人権教育や研修、様々な啓発事業等によって一人ひとりが人権に対する正しい知識を持ち、理解を深めるために関係機関や関係団体と連携しながら進めている。 ・インターネットの普及に伴い、差別情報や誹謗中傷の拡散による人権侵害等の問題が、児童生徒にも身近なものとなっている。	・人権擁護委員による人権教室を小学校や保育園で継続実施する。 ・「第2次小千谷市人権教育啓発推進計画(R6～10年度)」に基づき、園児や児童生徒が人権問題を正しく理解し、身近な問題として捉えられるよう、人権教育や啓発に向けた取組を行う。